## ３．結婚について

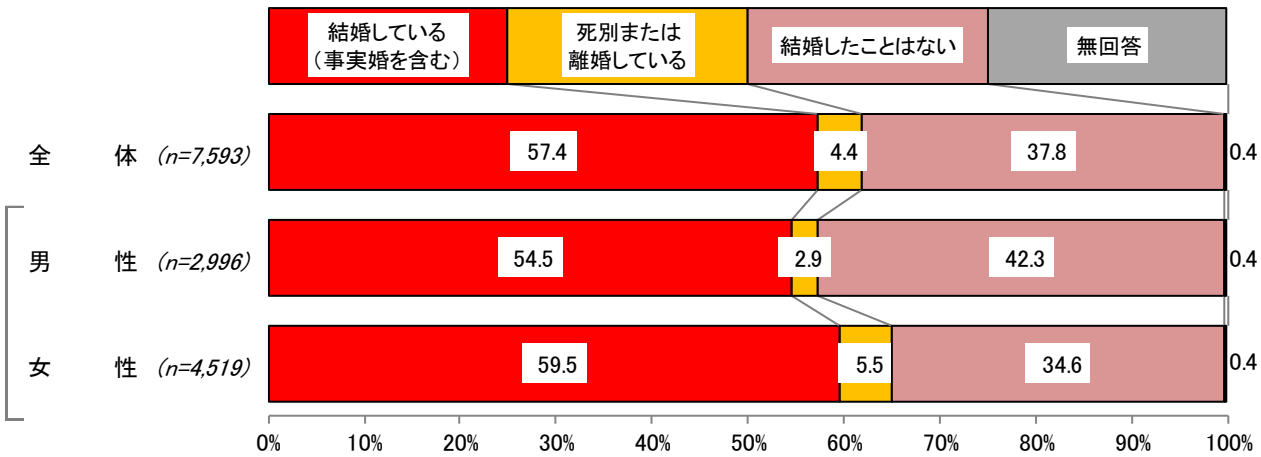
### （１）婚姻状況

【全員の方にお聞きします。】

問２５　あなたは、現在結婚していますか。あてはまるものを１つお選びください。

なお、このアンケートの中では、「結婚」には「事実婚」を含みます。

図表 3-1-1




現在の婚姻状況を聞いたところ（図表 3-1-1）、「結婚している（事実婚を含む）」が 57.4%、「結婚したことはない」が 37.8%、「結婚したが今は死別または離婚している」が 4.4%である。

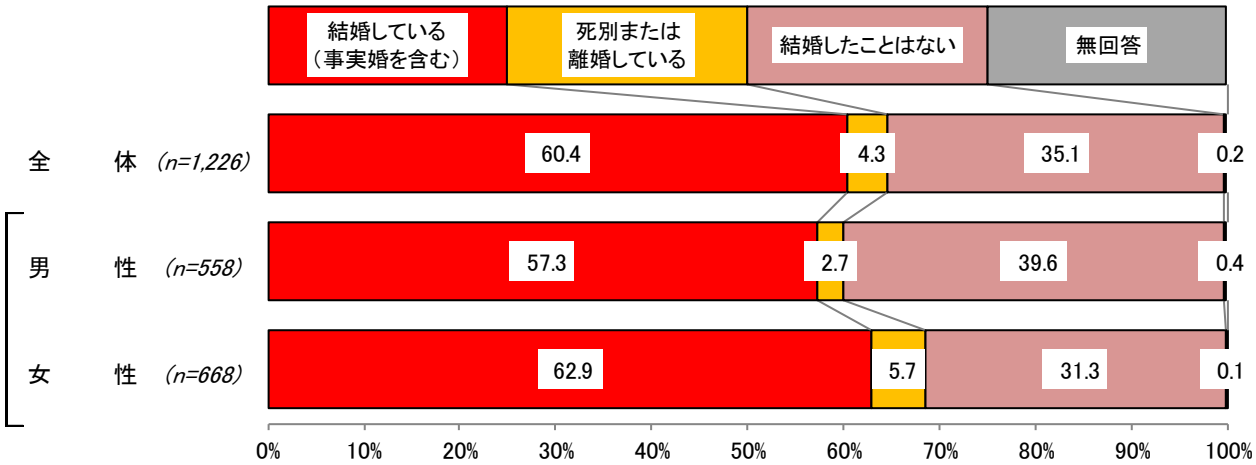
男女別にみると（図表 3-1-1）、「結婚している」（男性 54.5%、女性 59.5%）という者は女性が 6 割で、男性を 5 ポイント上回っている。未婚者である「結婚したことはない」者は、男性 42.3%、女性 34.6%である。

〈参考：全国調査〉

全国調査では、「結婚している（事実婚を含む）」が 60.4%で、府民調査よりやや多い。

男性の未婚者は 39.6%、女性は 31.3%である。

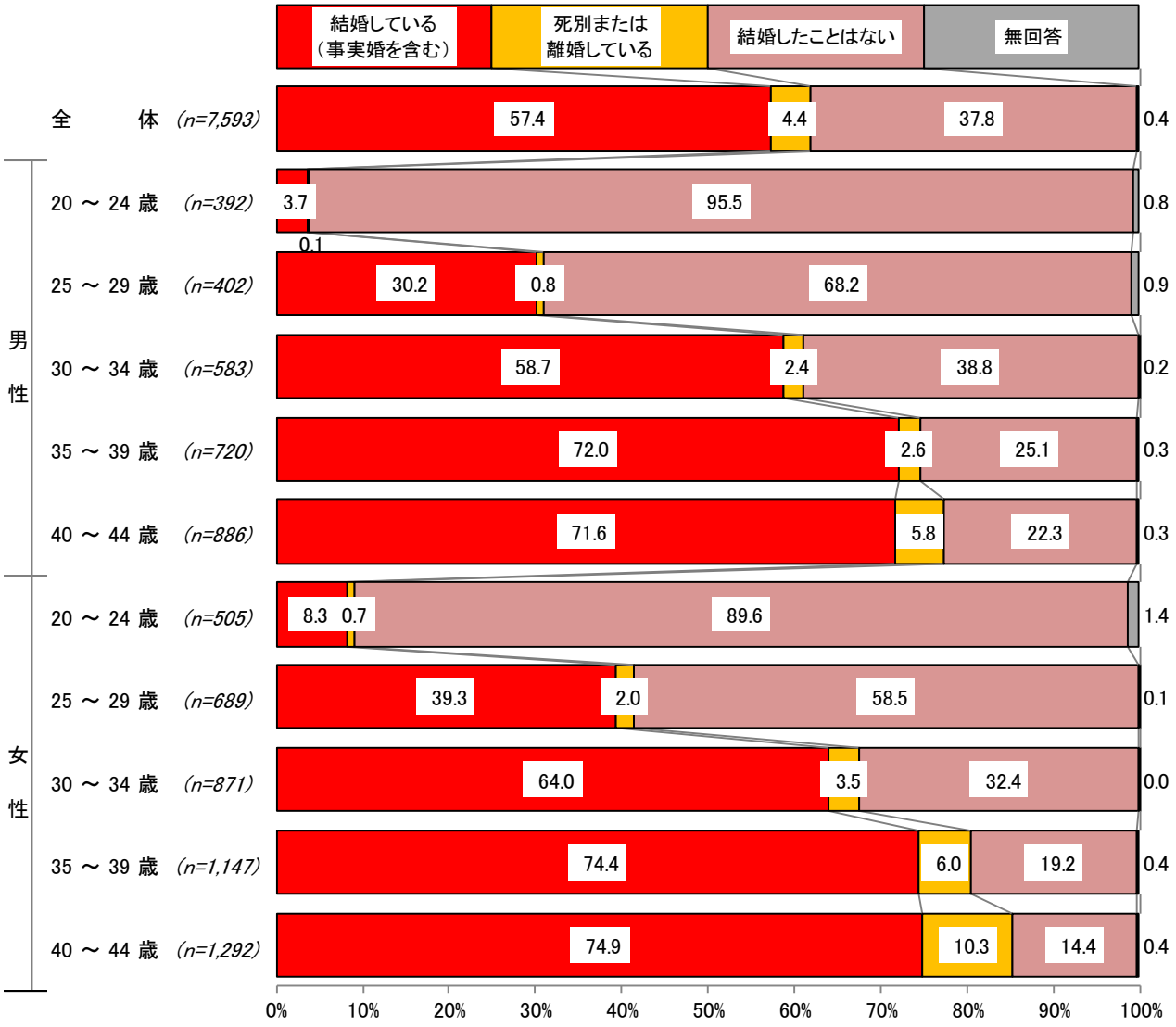
参考 3-1　婚姻状況



現在の婚姻状況について性・年代別にみると（図表 3-1-2）、男女とも 20～24 歳では「結婚している」（男性 3.7%、女性 8.3%）が 1 割に届かず、「結婚したことはない」者（同 95.5%、89.6%）が多数を占めている。

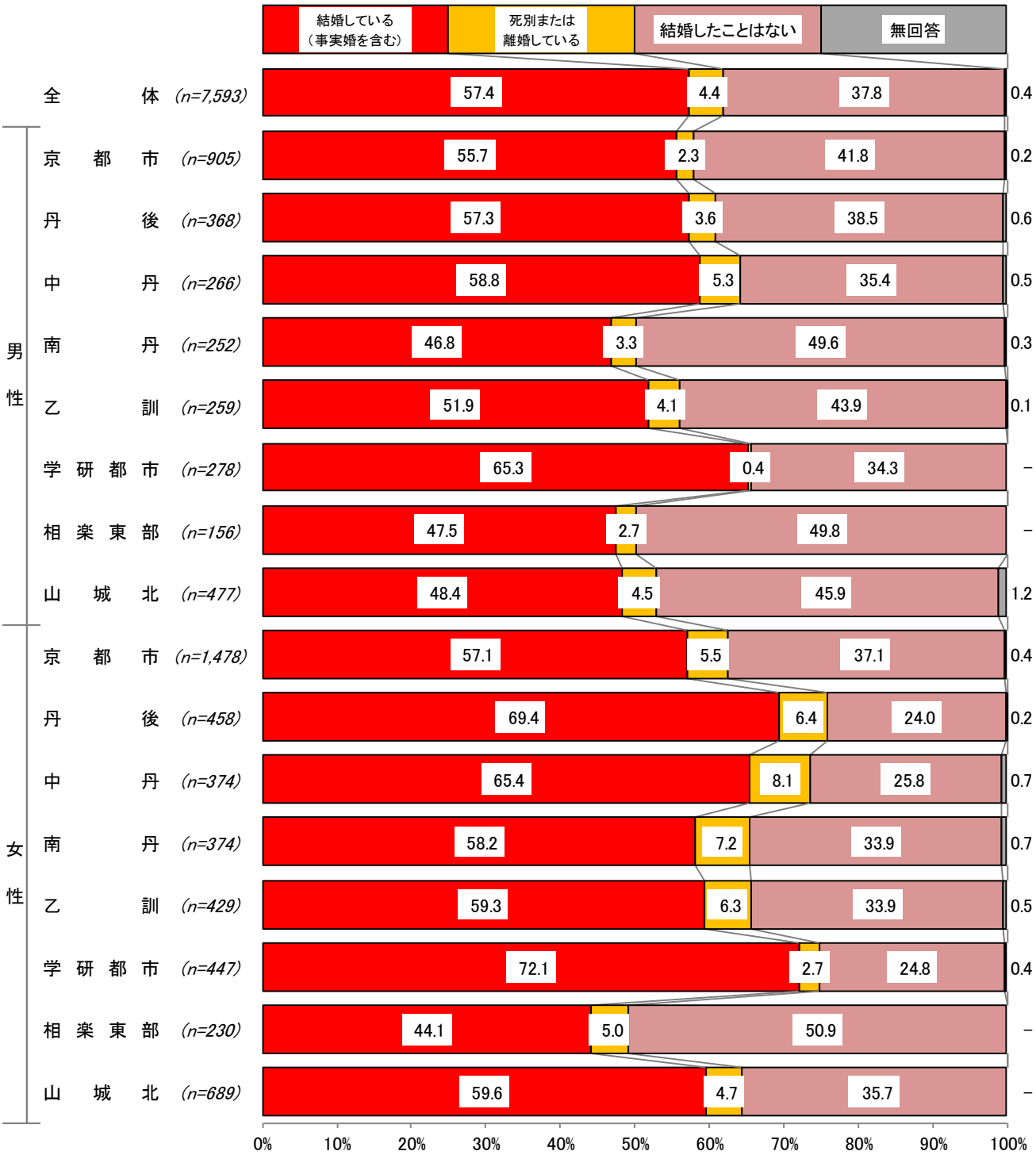
25～29 歳で「結婚している」者は、男性では 30.2%、女性では 39.3%と男女差がみられるが、35 歳以上になると、ともに 7 割以上となっている。

図表 3-1-2　婚姻状況（性・年代別）



性・地域別にみると（図表 3-1-3）、「結婚している」者は、男女とも学研都市居住者（男性 65.3%、女性 72.1%）で、他の地域より多くなっている。これに対して、男女とも相楽東部居住者では、「結婚したことはない」者（同 49.8%、50.9%）が 5 割前後で、「結婚している」者（同 47.5%、44.1%）を上回っている。男性の南丹居住者でも、「結婚したことはない」者（49.6%）がほぼ半数である。

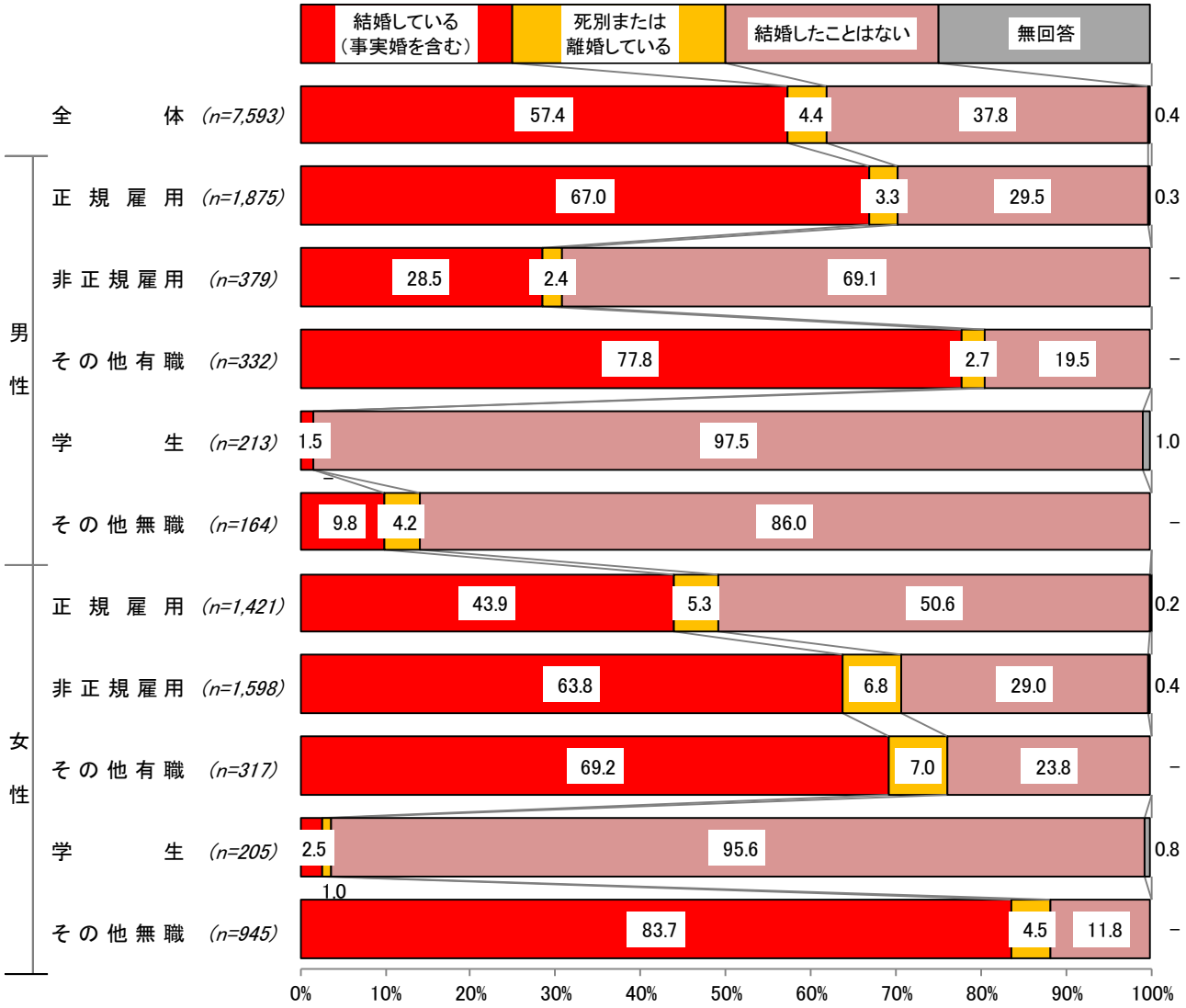
図表 3-1-3　婚姻状況（性・地域別）



現在の婚姻状況について性・就労状況別にみると（図表 3-1-4）、「結婚している」者は、男性では、自営業や内職を含むその他有職者（77.8%）で 8 割近く、次いで正規雇用者（67.0%）で 7 割近くなっている。これに対して、「結婚したことはない」者は、学生（97.5%）以外では、その他無職で 86.0%、非正規雇用者で 69.1%である。

一方、女性の正規雇用者で「結婚している」者は 43.9%で、「結婚したことはない」者（50.6%）の方が多い。これに対して、学生以外のその他無職（83.7%）、自営業や内職を含むその他有職（69.2%）、非正規雇用者（63.8%）では、「結婚している」者が多数を占め、男性と差がみられる。

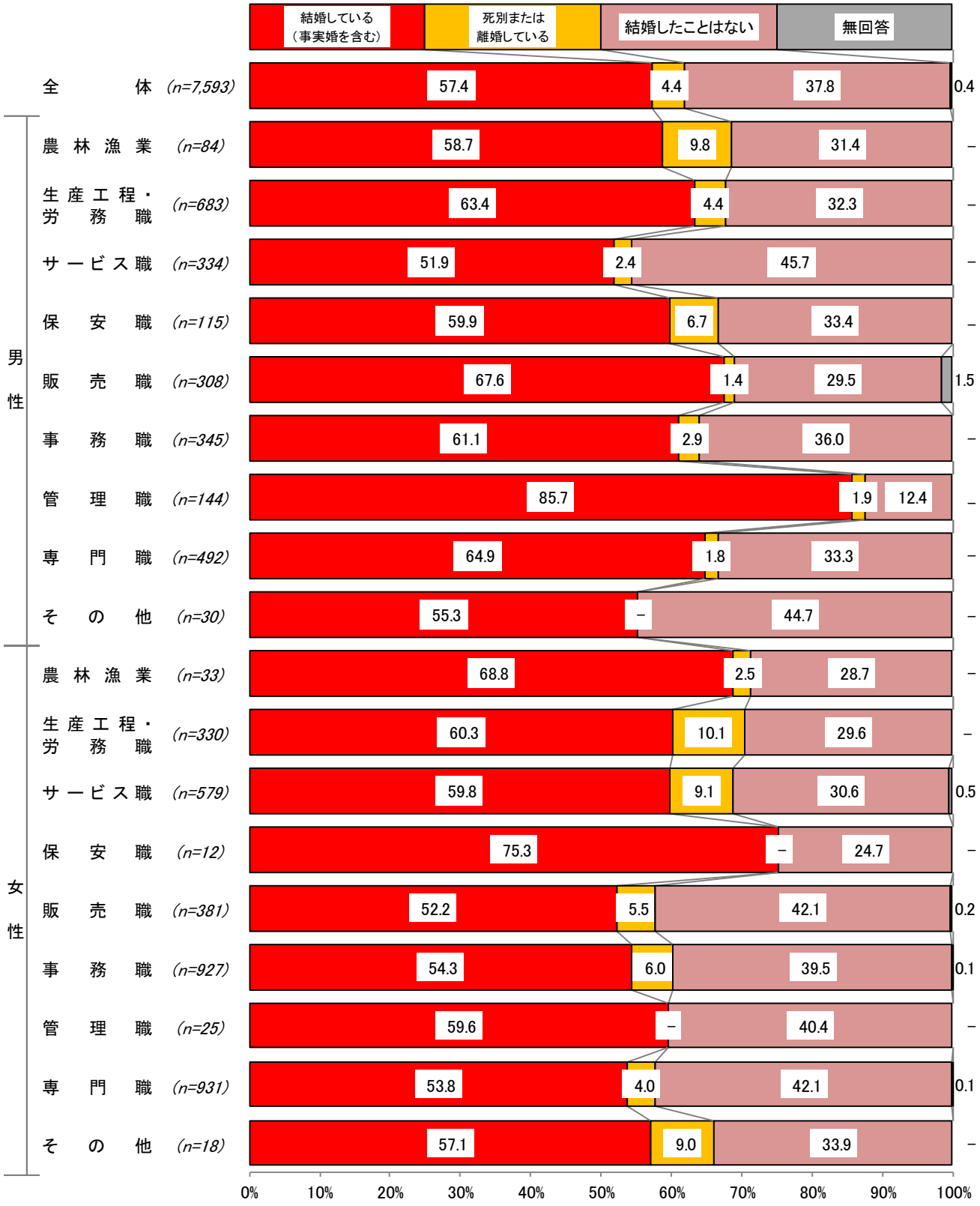
図表 3-1-4　婚姻状況（性・就労状況別）



性・職種別にみると（図表 3-1-5）、男性管理職の 85.7%は「結婚している」と回答している。

「結婚したことはない」者が多いのは、男性のサービス職（45.7%）、女性の販売職と専門職（ともに 42.1%）である。

図表 3-1-5　婚姻状況（性・職種別）

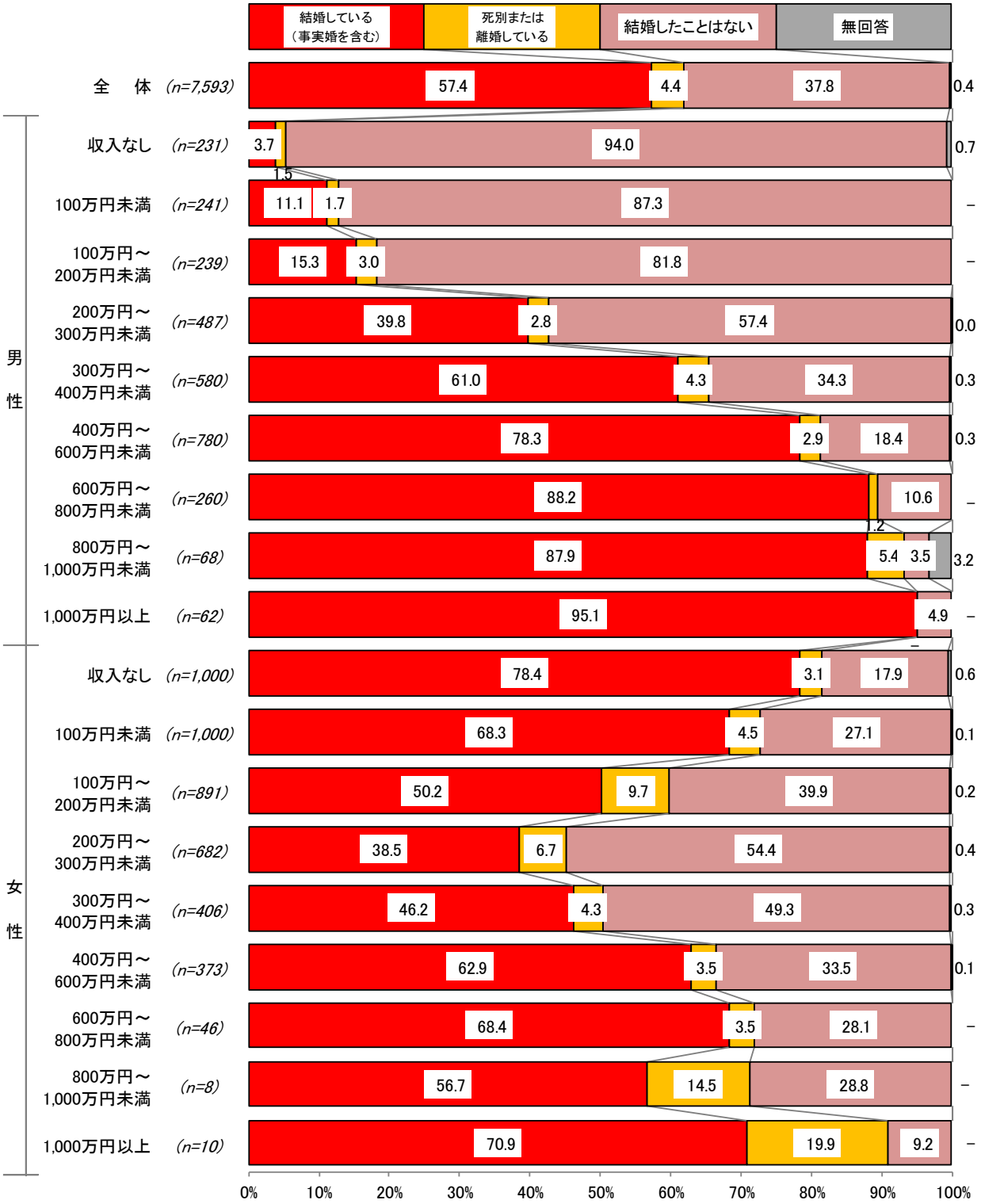


現在の婚姻状況について性・本人年収別にみると（図表 3-1-6）、男性では年収 200 万円未満までの層では「結婚したことはない」という未婚者が 8 割以上を占め、年収 200 万円～300 万円未満でも未婚者（57.4%）が 6 割近いが、300 万円以上になると「結婚している」という者が 6 割を上回り、600 万円～800 万円未満では 88.2%を占める。

一方、女性では、年収 200 万円～300 万円未満の層で「結婚したことはない」（54.4%）という未婚者が過半数で、年収 300 万円～400 万円未満でも 49.3%で「結婚している」（46.2%）という者をわずかに上回っている。

女性で、昨年個人年収がなかった者は、8 割近くが「結婚している」（78.4%）。

図表 3-1-6　婚姻状況（性・本人年収別）

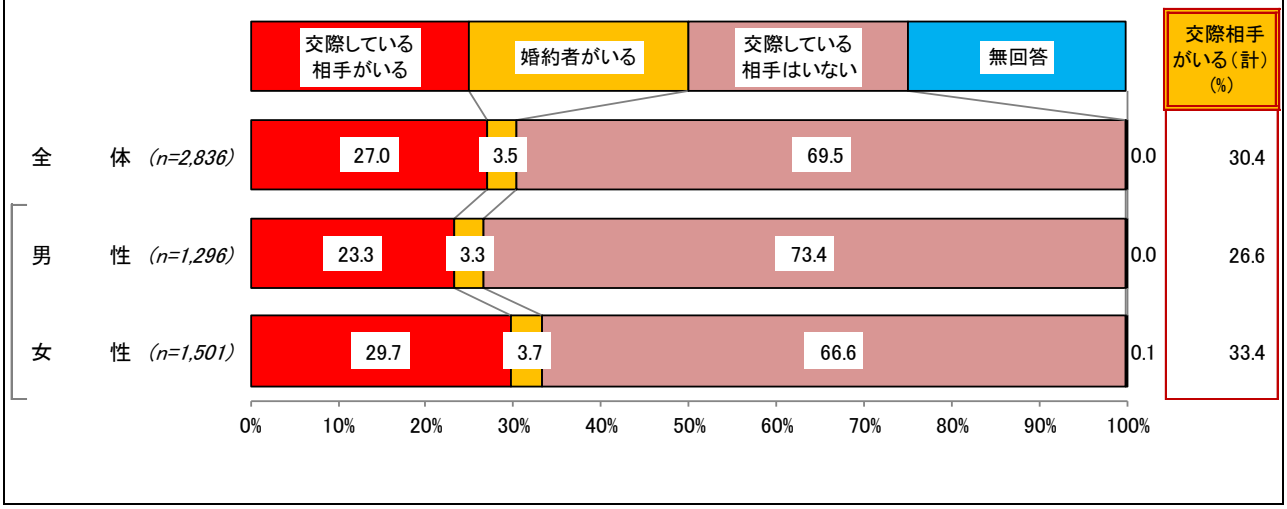


## （２）交際相手の有無

【問２５で「３　結婚したことはない」と答えた方にお聞きします。】

問２６　あなたには、現在、交際している相手がいますか。あてはまるものを１つお選びください。

図表 3-2-1




未婚者（2,836 人）に、現在交際相手がいるかどうかを聞いたところ（図表 3-2-1）、「交際している相手がいる」者は 27.0%で、「婚約者がいる」（3.5%）者を合わせると、3 割は『交際相手がいる』と回答している。

男女別にみると（図表 3-2-1）、「交際している相手がいる」者（男性 23.3%、女性 29.7%）は男性より女性に多い。

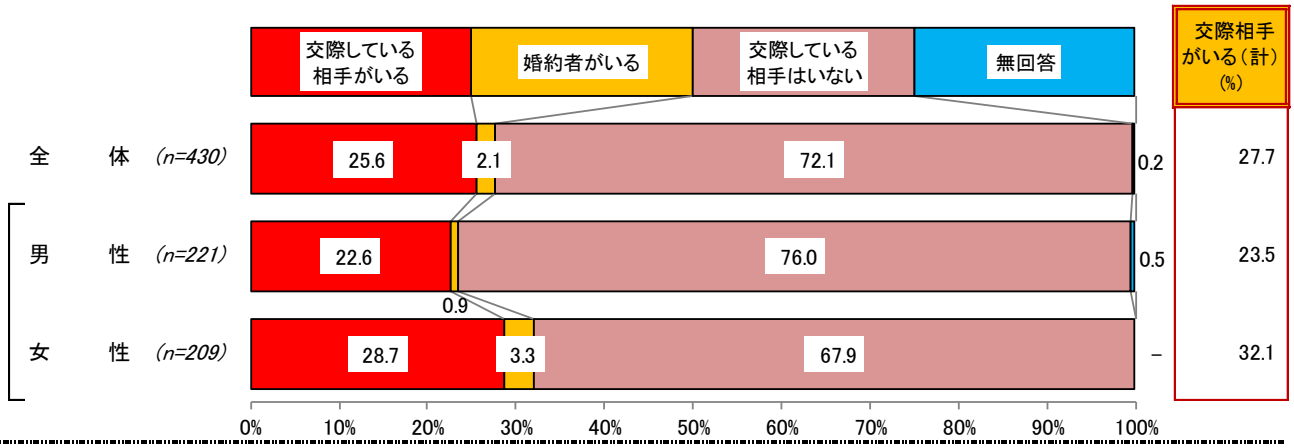
〈参考：全国調査〉

全国調査の未婚者（430 人）のうち、「交際している相手がいる」（25.6%）もしくは「婚約者がいる」（2.1%）という者は 3 割近くで、「交際している相手はいない」（72.1%）という者が 7 割を上回る。

男女別にみると、「交際している相手がいる」者（男性 22.6%、女性 28.7%）は、男性より女性に多い。

府民調査と比較しても、大きな差はみられない。

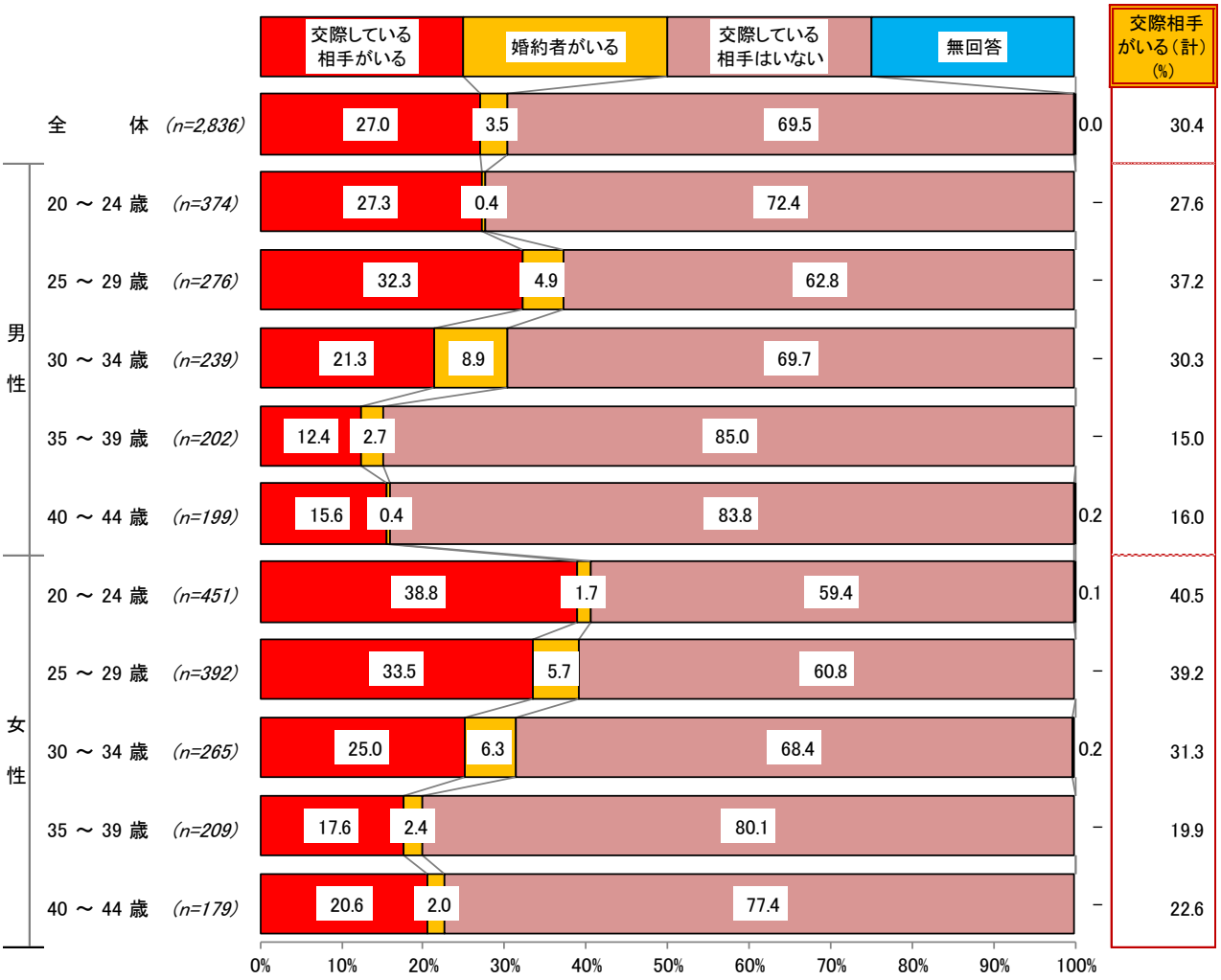
参考 3-2　交際相手の有無



未婚者の現在の交際相手の有無について性・年代別にみると（図表 3-2-2）、男性の 20～24 歳では「交際している相手がいる」は 27.3%だが、同年代の女性では 38.8%と男女差が大きい。25～29 歳の年代で「交際している相手がいる」男性は 32.3%、女性は 33.5%で、男女差がほとんどみられない。

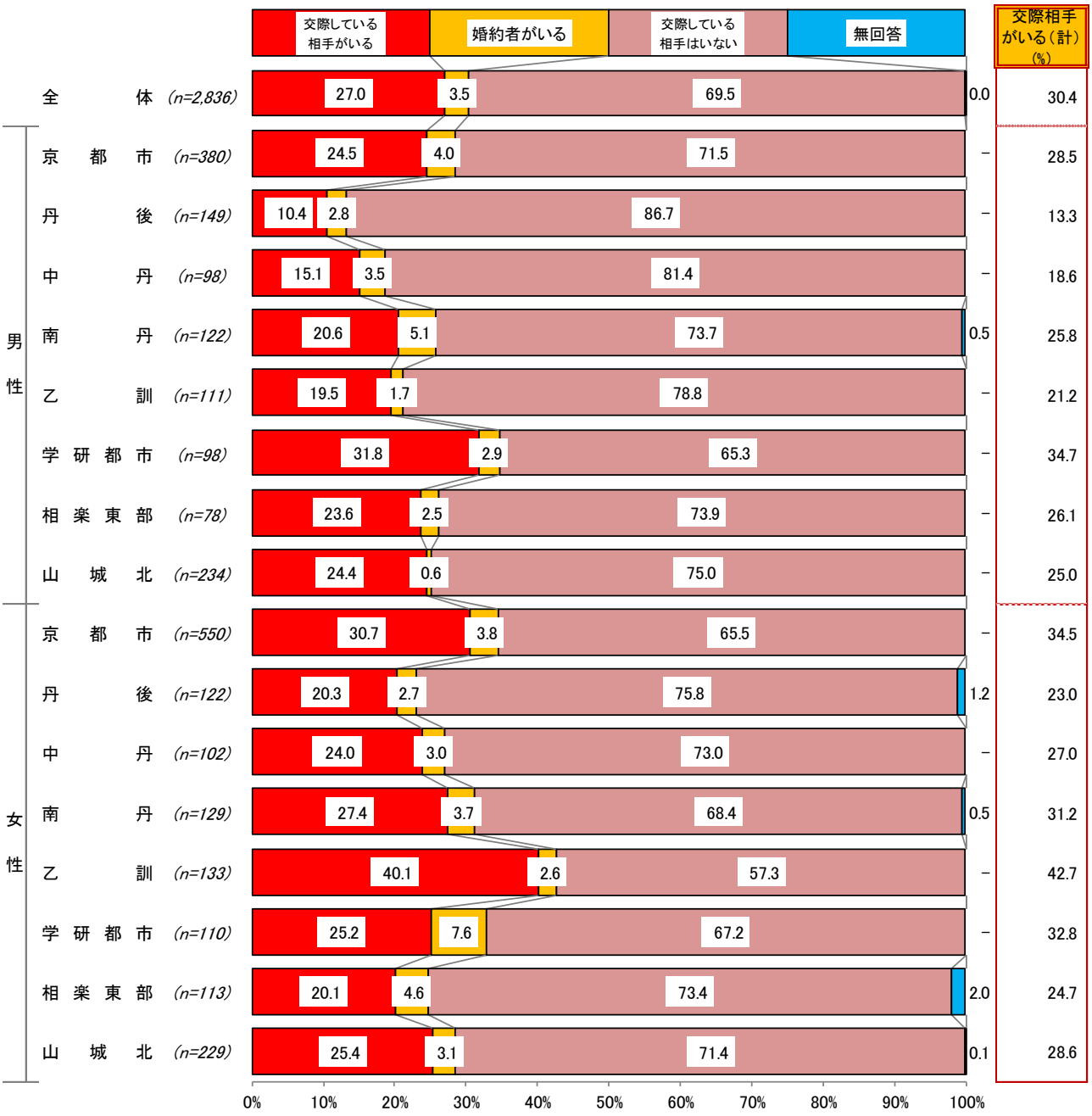
「交際している相手はいない」という未婚者は、男性の 35～44 歳（35～39 歳 85.0%、40～44 歳 83.8%）では 8 割を上回り、同年代の女性（同 80.1%、77.4%）でも 8 割前後となっている。

図表 3-2-2　交際相手の有無（性・年代別）



性・地域別にみると（図表 3-2-3）、男性の学研都市居住者は、「交際している相手がいる」（31.8%）という者が 3 割を上回っている。一方、女性では、乙訓に「交際している相手がいる」（40.1%）という者が多くなっている。

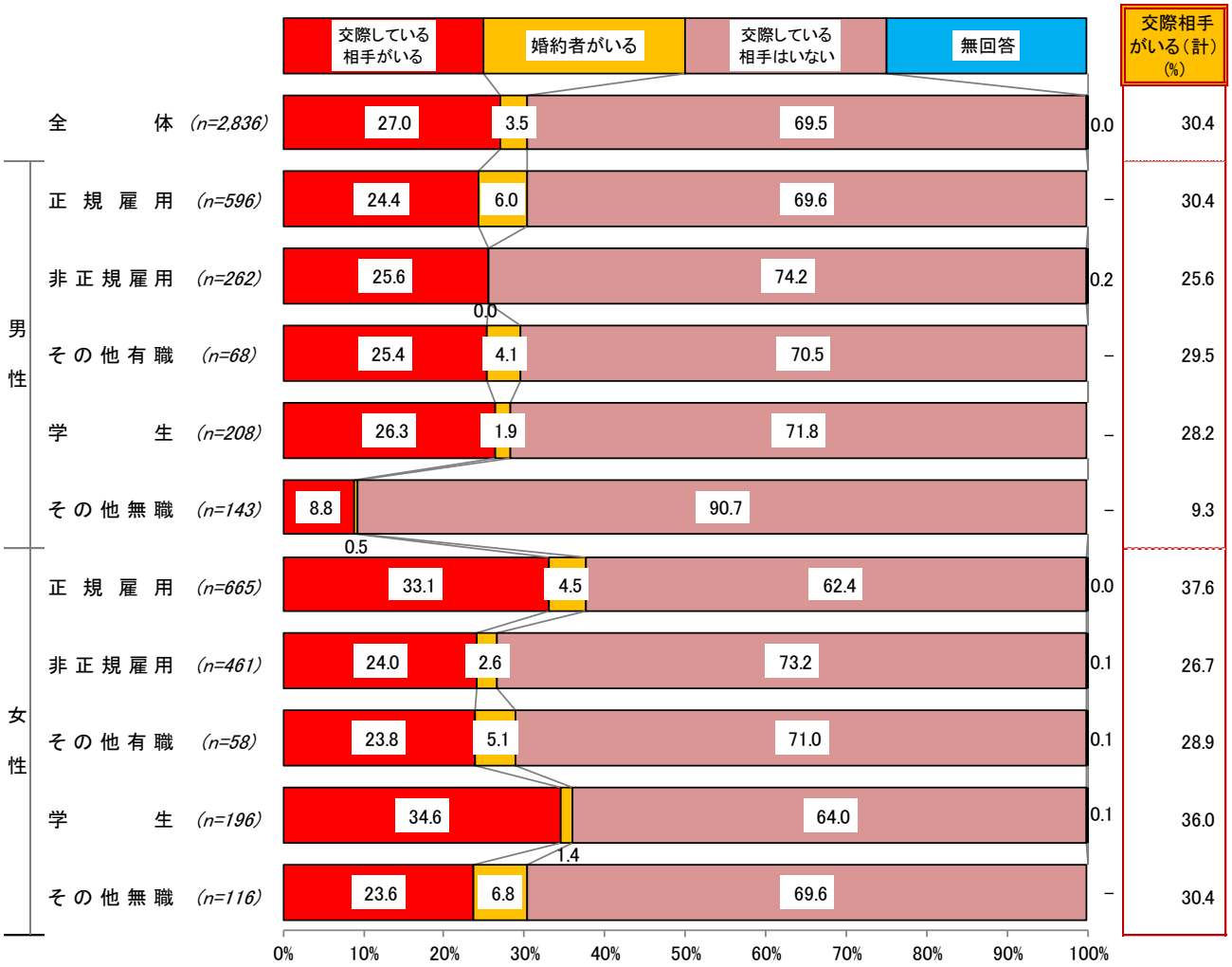
図表 3-2-3　交際相手の有無（性・地域別）



未婚者の現在の交際相手の有無について性・就労状況別にみると（図表 3-2-4）、男性では、学生以外のその他無職では「交際している相手はいない」（90.7%）という者が 9 割を上回り、「交際している相手がいる」（8.8%）という者は 1 割に満たない。

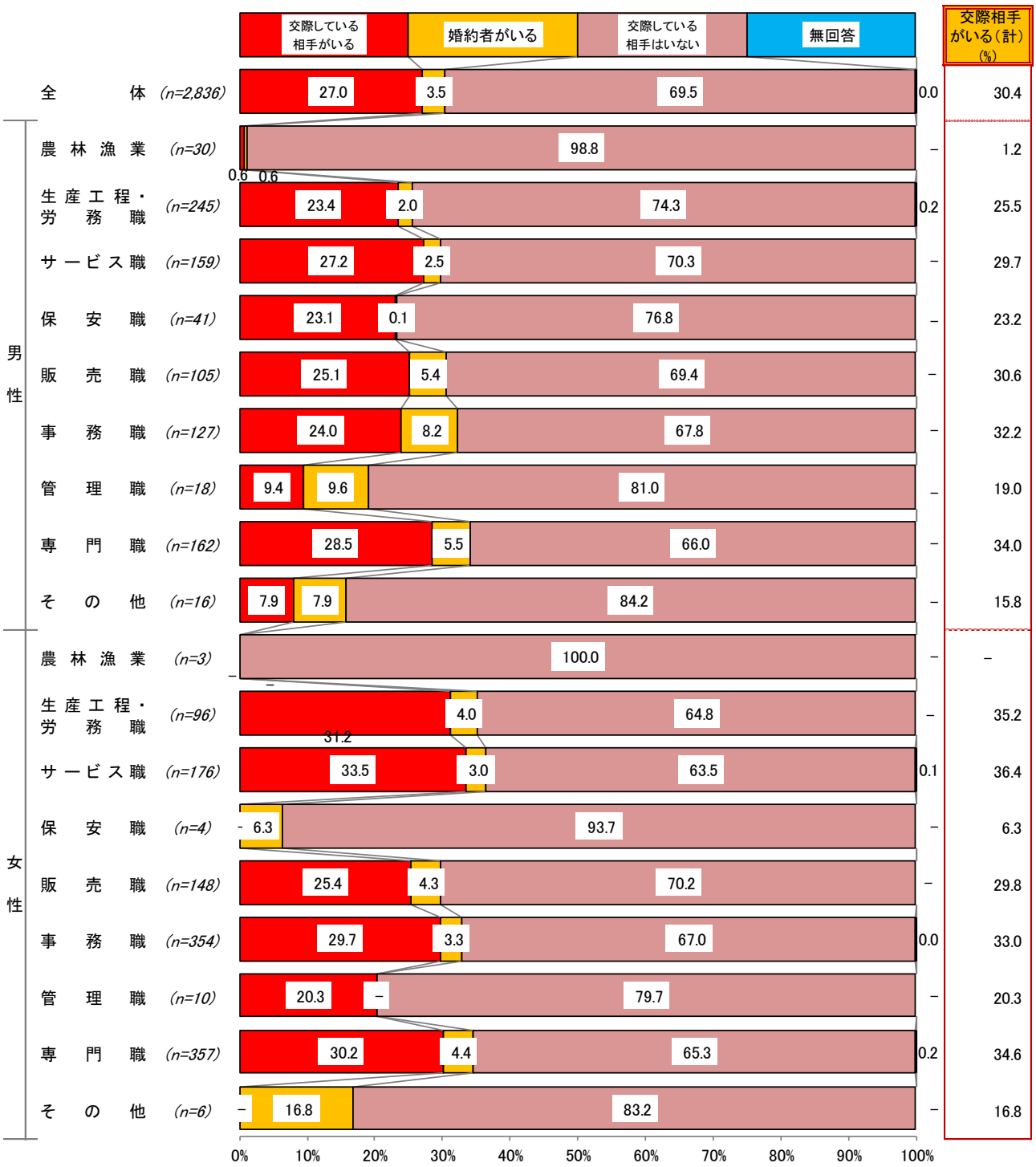
一方、女性で「交際している相手がいる」という者は、学生（34.6%）と正規雇用者（33.1%）に多く、「婚約者がいる」者（学生 1.4%、正規 4.5%）を合わせると、それぞれ 4 割近くに『交際相手がいる』。一方、女性の非正規雇用者では、「交際している相手はいない」という者が 73.2%と、他の就労状況層より多くなっている。

図表 3-2-4　交際相手の有無（性・就労状況別）



性・職種別にみると（図表 3-2-5）、「交際している相手がいる」もしくは「婚約者がいる」と回答した『交際相手がいる』者は、男性では専門職（34.0%）、事務職（32.2%）、販売職（30.6%）に、女性ではサービス職（36.4%）、生産工程・労務職（35.2%）、専門職（34.6%）、事務職（33.0%）に、それぞれ多くなっている。

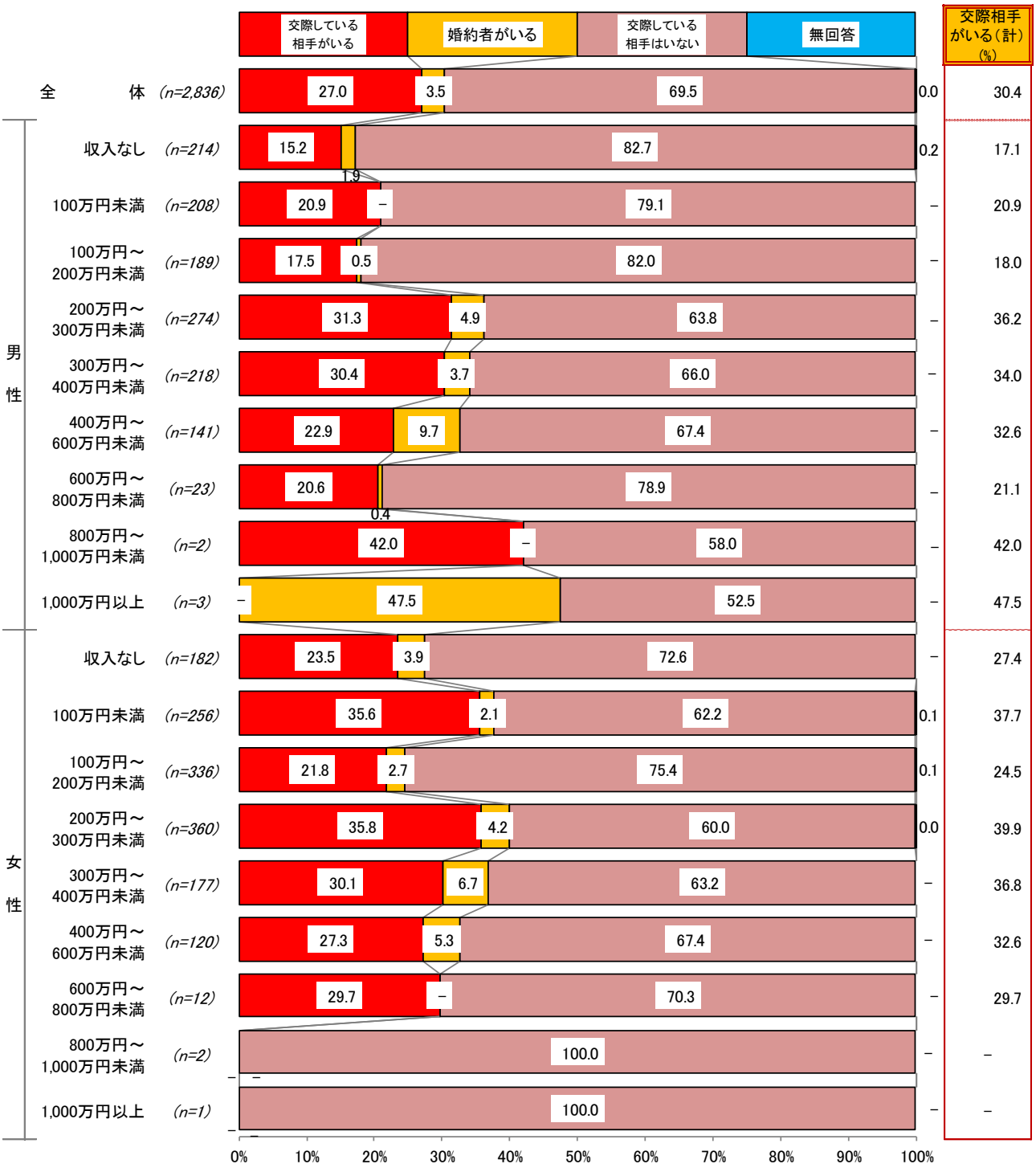
図表 3-2-5　交際相手の有無（性・職種別）



未婚者の現在の交際相手の有無について性・本人年収別にみると（図表 3-2-6）、年収 200 万円未満の層では「交際している相手はいない」という者が 8 割前後を占めているが、200 万円以上になると「交際している相手がいる」もしくは「婚約者がいる」と回答した『交際相手がいる』者が 3 割を上回っている。

一方、女性では、収入のない層と年収 100 万円～200 万円の層で、「交際している相手はいない」（収入無し 72.6%、100～200 万円 75.4%）という者が 7 割を上回っている。

図表 3-2-6　交際相手の有無（性・本人年収別）

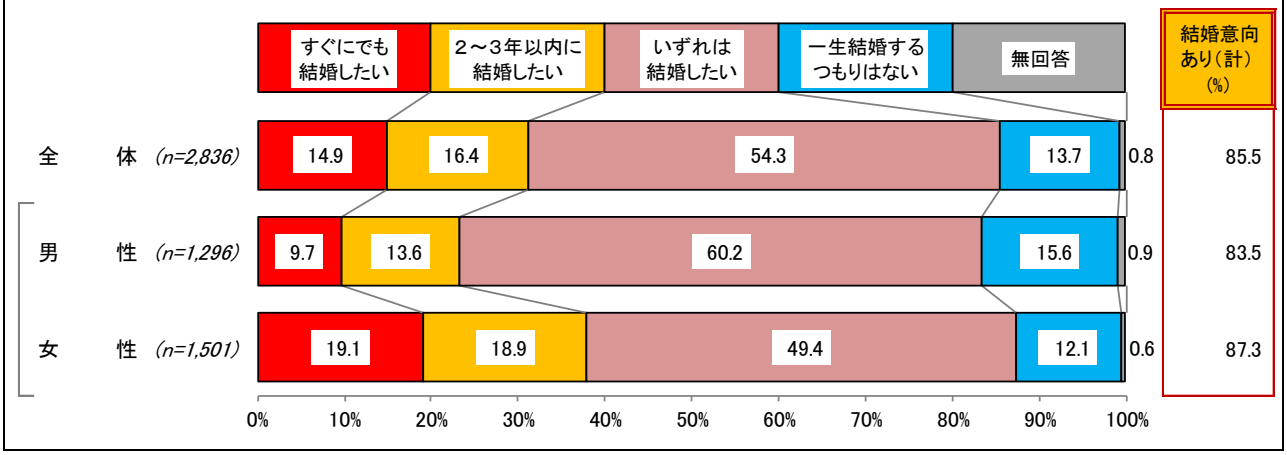


（３）将来の結婚意向

【問２５で「３　結婚したことはない」と答えた方にお聞きします。】

問２７　あなたは、将来結婚したいと思いますか。あてはまるものを１つお選びください。

図表 3-3-1



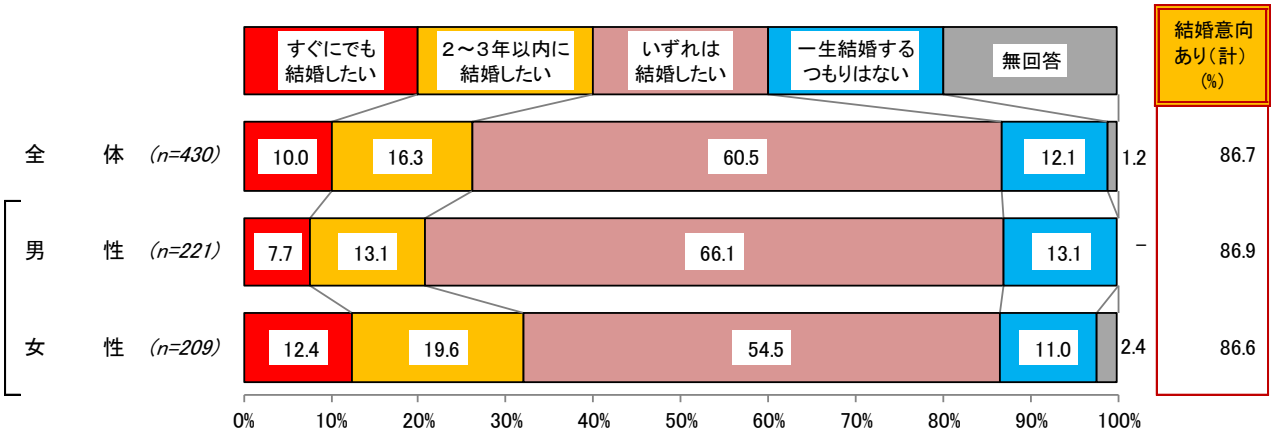

未婚者（2,836 人）に将来の結婚意向を聞いたところ（図表 3-3-1）、「すぐにでも結婚したい」（男性 9.7%、女性 19.1%）という強い結婚意向は、女性が男性を 9 ポイント上回っている。「2～3 年以内に結婚したい」（同 13.6%、18.9%）という者も男性より女性に多いが、男性の 6 割は「いずれは結婚したい」（60.2%）と回答しており、男女とも 8 割以上に『結婚意向』（男性 83.5%、女性 87.3%）がある。

〈参考：全国調査〉

全国調査の未婚者（430 人）の結婚意向は、「すぐにでも結婚したい」（10.0%）という者が 1 割で、女性（12.4%）が男性（7.7%）を 5 ポイント上回っている。

「２～３年以内に結婚したい」（男性 13.1%、女性 19.6%）と「いずれは結婚したい」（同 66.1%、54.5%）を合わせた『結婚意向』は、府民調査同様に男女とも 8 割を上回っている。

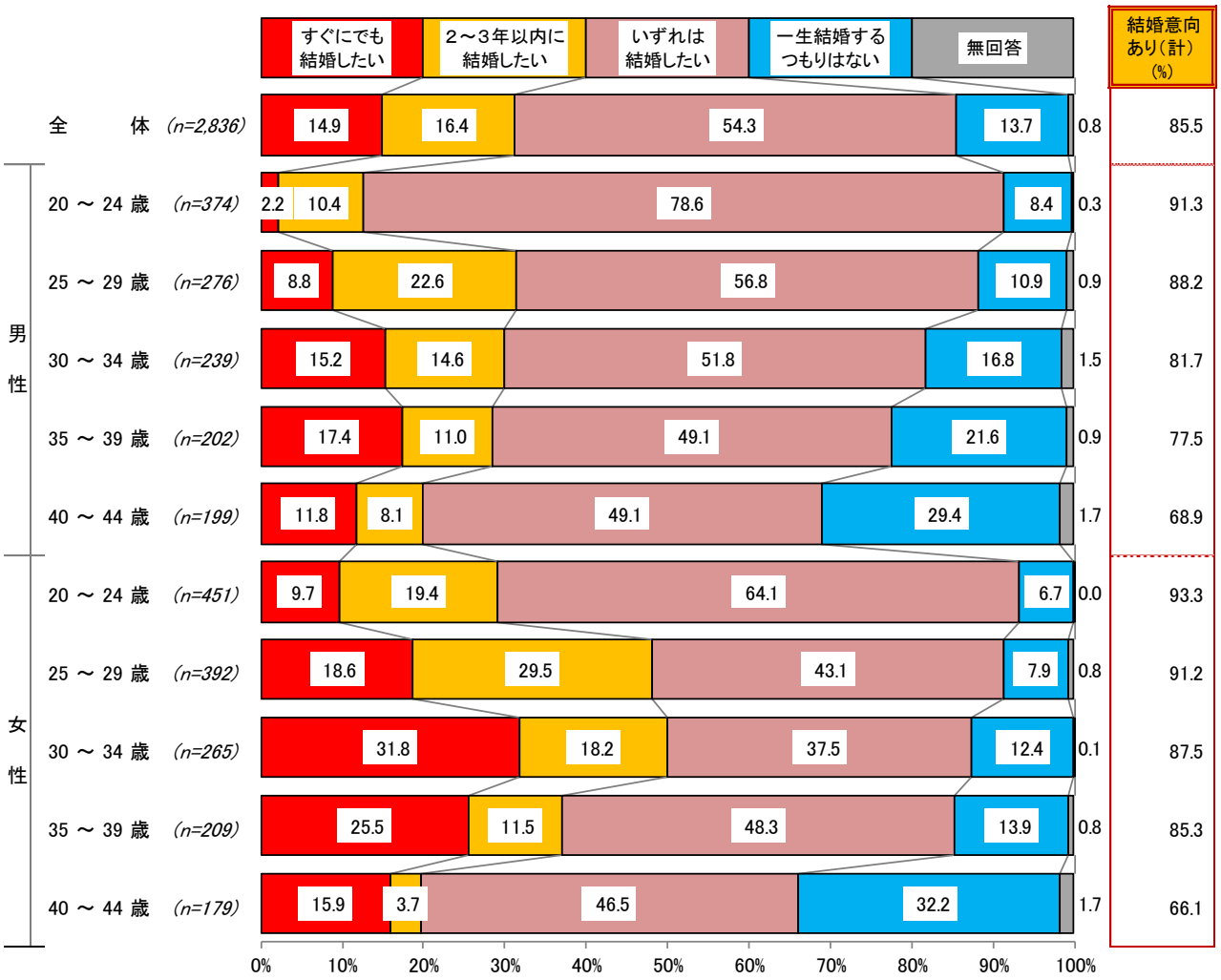
参考 3-3　将来の結婚意向



未婚者の将来の結婚意向について性・年代別にみると（図表 3-3-2）、「すぐにでも結婚したい」という者は、女性の 30～34 歳で 31.8%、35～39 歳で 25.5%と、他の層より多くなっている。女性の 25～29 歳では「2～3 年以内に結婚したい」（29.5%）という者が 3 割で、20～24 歳（19.4%）を 10 ポイント上回り、20 歳代後半から結婚意向が、より強くなっている。

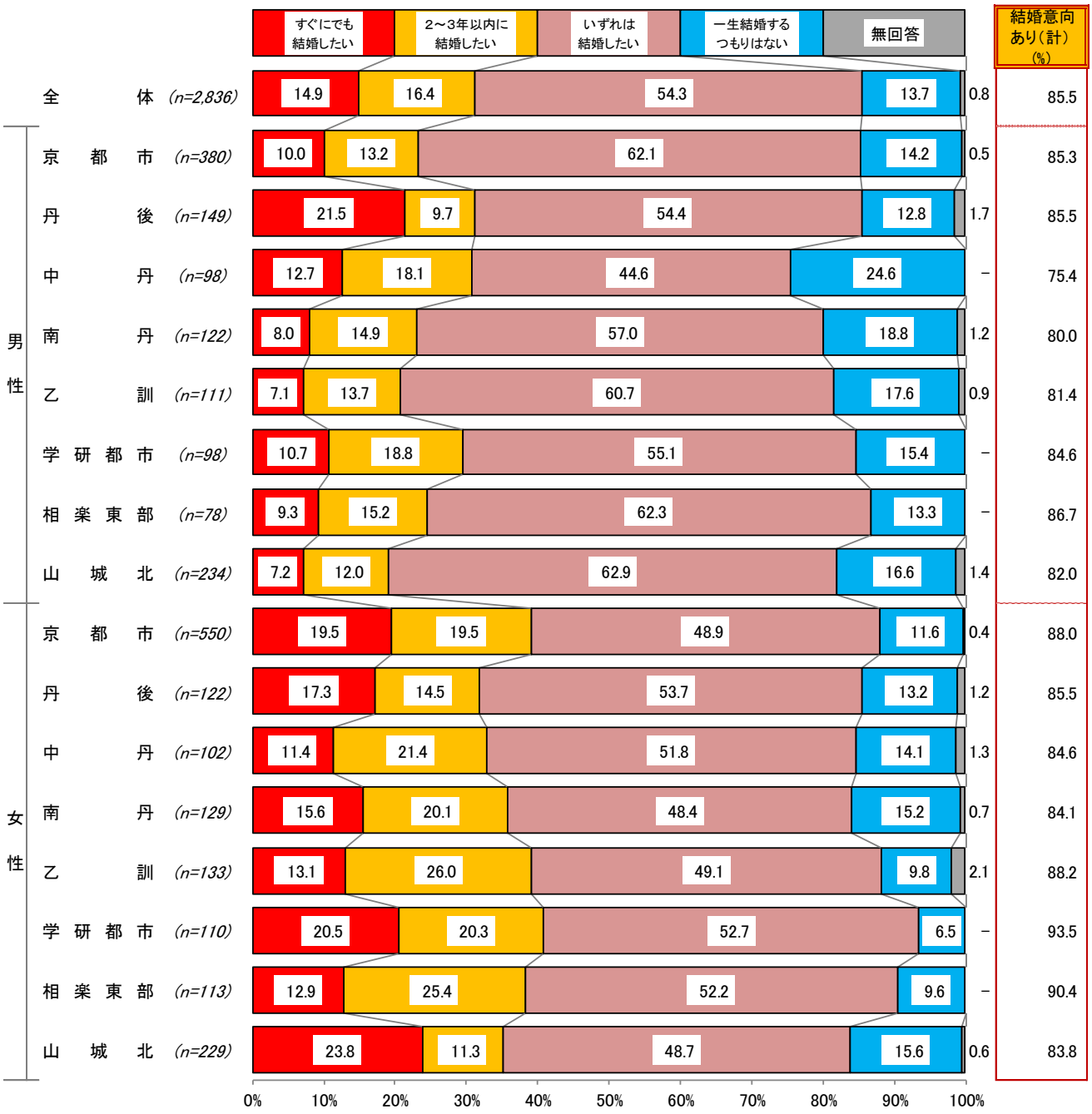
男女とも年代の低い層ほど『結婚意向』が強く、男女とも 40～44 歳では「一生結婚するつもりはない」（男性 29.4%、女性 32.2%）という者が 3 割前後となっている。

図表 3-3-2　将来の結婚意向（性・年代別）



性・地域別にみると（図表 3-3-3）、「すぐにでも結婚したい」という者は、男性の丹後居住者（21.5%）と女性の山城北（23.8%）、学研都市（20.5%）、京都市（19.5%）、丹後（17.3%）の各居住者で 2 割前後と、他の層よりやや多くなっている。一方、男性の中丹居住者は、ほぼ 4 人に 1 人が「一生結婚するつもりはない」（24.6%）と回答しており、結婚意向が弱い。

図表 3-3-3　将来の結婚意向（性・地域別）

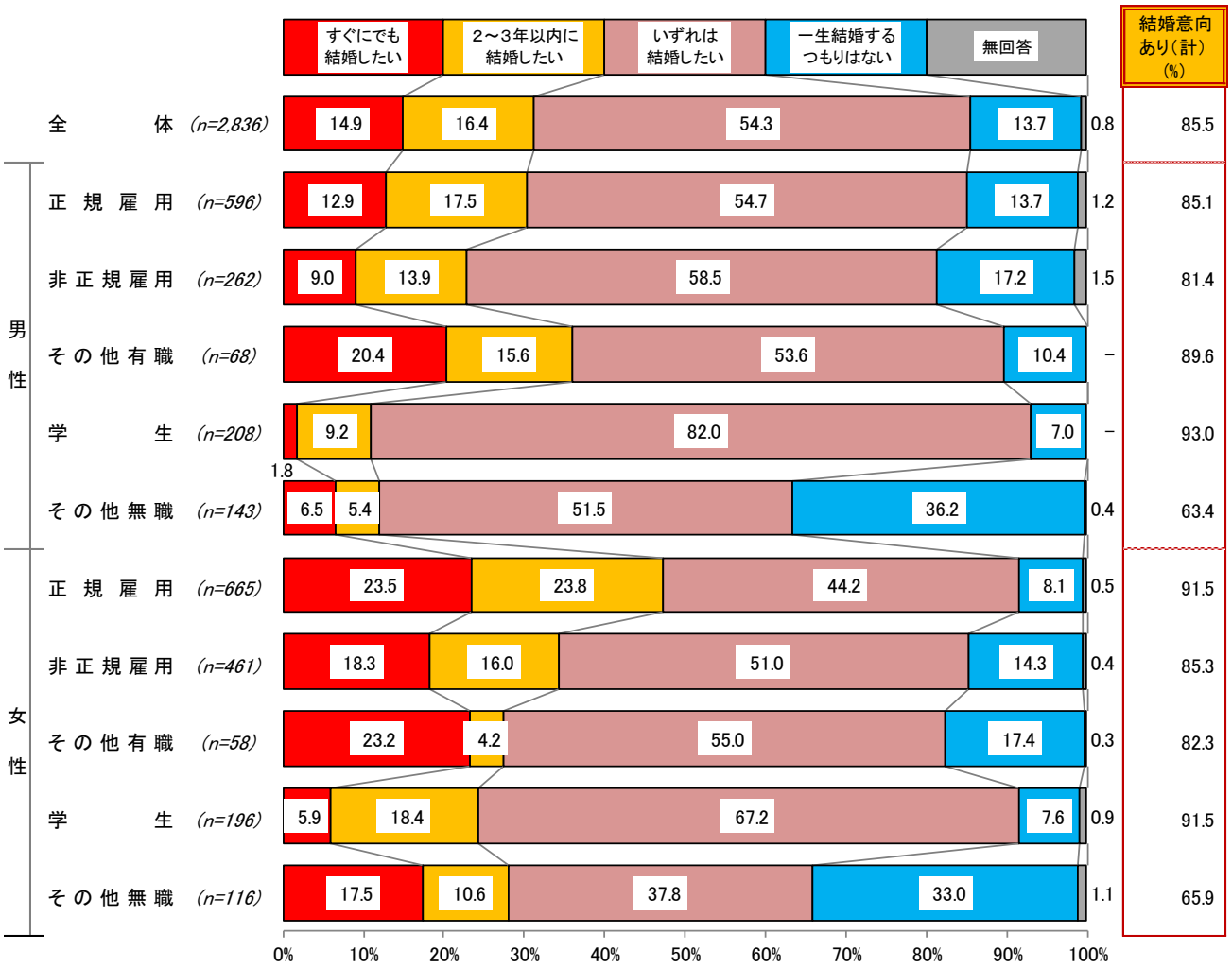


未婚者の将来の結婚意向について性・就労状況別にみると（図表 3-3-4）、女性の正規雇用者と自営業や内職を含むその他有職層では、「すぐにでも結婚したい」（正規 23.5%、その他 23.2%）という者が 2 割台で非正規雇用者を 5 ポイント上回っている。女性の正規雇用者は「2～3 年以内に結婚したい」という者も 23.8%おり、9 割以上が『結婚意向』（91.5%）を持っている。一方、女性の学生で「すぐにでも結婚したい」という者は 5.9%にとどまっているが、「2～3 年以内に結婚したい」（18.4%）という者は 2 割近く、『結婚意向』（91.5%）は正規雇用者と同様に高い。

一方、男性の学生は、8 割以上が「いずれは結婚したい」（82.0%）と回答しており、『結婚意向』が 93.0%と最も強くなっている。

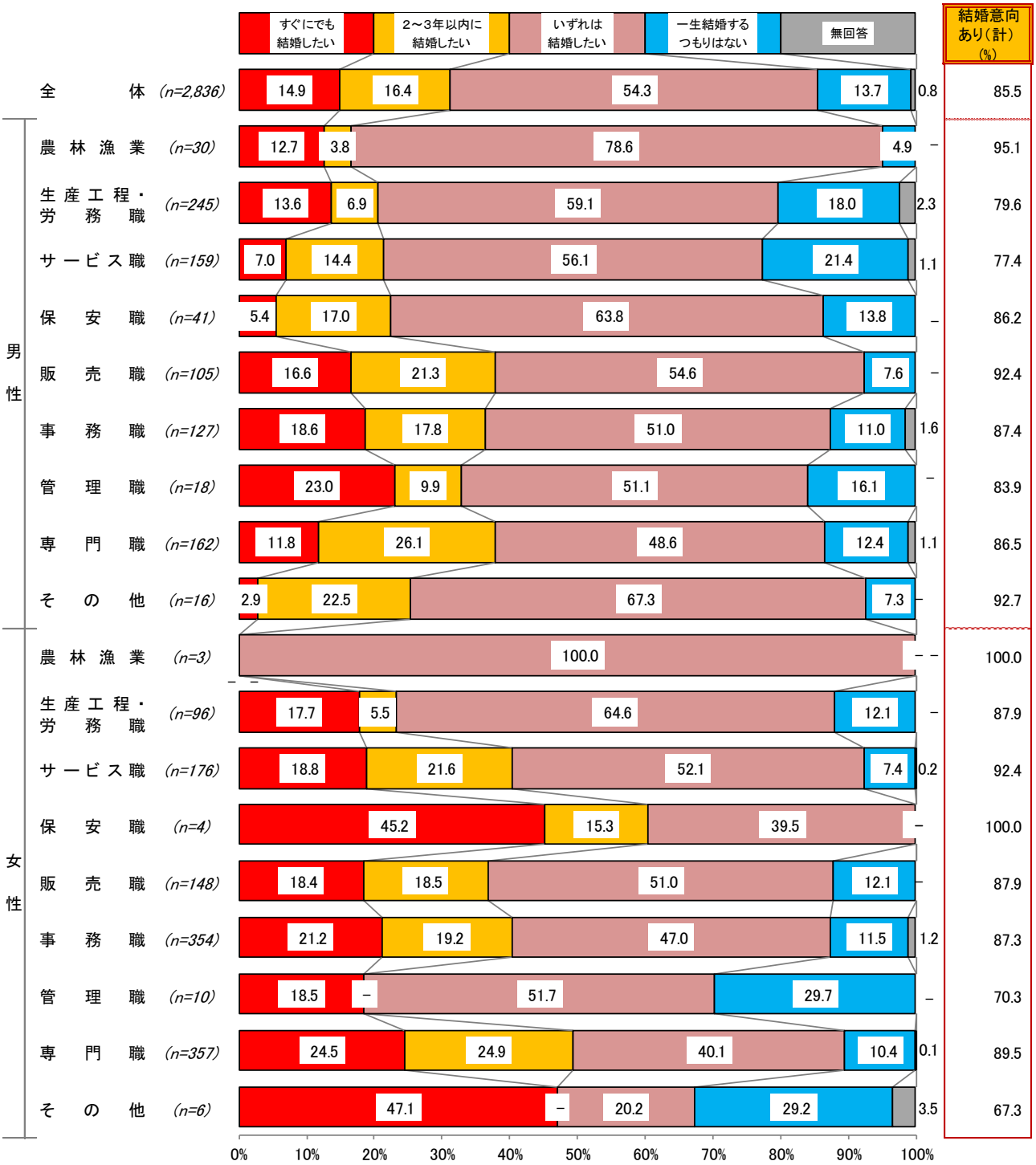
男女とも、学生以外のその他無職の層は、「一生結婚するつもりはない」（男性 36.2%、女性 33.0%）という者が 3 割台である。

図表 3-3-4　将来の結婚意向（性・就労状況別）



性・職種別にみると（図表 3-3-5）、専門職の女性は「すぐにでも結婚したい」という者が 24.5%と、他の職種より多くなっている。『結婚意向』が最も強いのは、女性のサービス職（92.4%）だが、男性のサービス職の『結婚意向』は 77.4%と最も低く、男女差が大きくなっている。男性の販売職の『結婚意向』（92.4%）は、女性のサービス職と同率で 9 割を上回っている。

図表 3-3-5　将来の結婚意向（性・職種別）

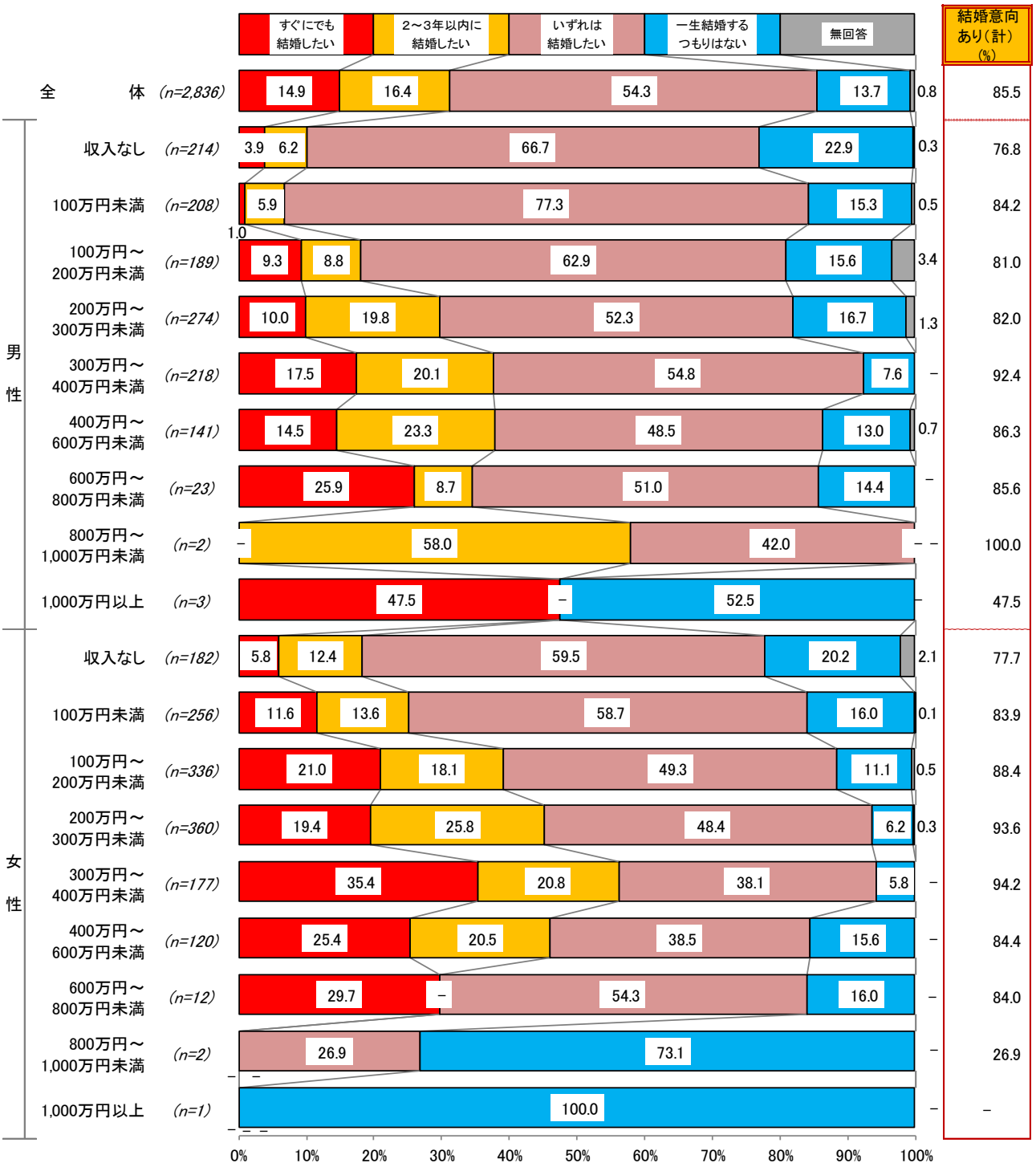


未婚者の将来の結婚意向について性・本人年収別にみると（図表 3-3-6）、男女とも年収 300 万円～400 万円未満の層で『結婚意向』（男性 92.4%、女性 94.2%）が強く、特に女性では 35.4%が「すぐにでも結婚したい」と回答している。

男性では年収が 200 万円以上になると、「すぐにでも結婚したい」と「2～3 年以内に結婚したい」を合わせた近い将来の『結婚意向』が 2 割を上回っている。

男女とも、昨年の収入がなかった層では、「一生結婚するつもりはない」（同 22.9%、20.2%）という者が 2 割以上である。

図表 3-3-6　将来の結婚意向（性・本人年収別）



### （４）結婚しない理由

【問２７で「４　一生結婚するつもりはない」と答えた方にお聞きします。】

問２８　あなたが、結婚するつもりがないのはなぜですか。あてはまるものを３つまでお選びください。

図表 3-4-1

(%)

| | | 自分の時間を失いたくない | 経済的な責任が重くなる | 結婚相手として適当な人がいない | 恋愛が面倒、うまく付き合えない | 親せき付き合いなど、経済的なこと以外の責任が重くなる | 子どもが欲しくない | 子育てが大変そう | 仕事（学業）との両立が難しい | 離婚が不安である | 姓を変えるのに抵抗がある | その他 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全体 | (n=387) | 41.1 | 39.5 | 36.5 | 33.0 | 23.2 | 12.6 | 10.9 | 9.6 | 5.0 | 1.1 | 17.6 | 1.3 |
| 男性 | (n=200) | 43.4 | 63.0 | 33.5 | 33.1 | 17.8 | 9.0 | 11.1 | 10.6 | 3.3 | － | 12.2 | 0.2 |
| 女性 | (n=178) | 40.1 | 14.6 | 39.8 | 32.8 | 29.3 | 16.6 | 10.9 | 9.0 | 6.9 | 2.3 | 23.7 | 2.0 |

未婚者で「一生結婚するつもりはない」という者（387 人）の、その理由としては（図表 3-4-1）、「自分の時間を失いたくない」が 41.1％で最も多くあげられ、以下「経済的な責任が重くなる」（39.5％）、「結婚相手として適当な人がいない」（36.5％）、「恋愛が面倒、うまく付き合えない」（33.0％）などの順となっている。

男女別にみると（図表 3-4-1）、男性では「経済的な責任が重くなる」が 63.0％で際立って多くあげられているのに対して、女性では 14.6％と、男女差が大きい。男性では、次いで「自分の時間を失いたくない」（43.4％）が 4 割台であげられ、女性（40.1％）との差はみられない。

一方、女性では、「自分の時間を失いたくない」に次いで、「結婚相手として適当な人がいない」（39.8％）、「恋愛が面倒、うまく付き合えない」（32.8％）、「親せき付き合いなど、経済的なこと以外の責任が重くなる」（29.3％）、「子どもが欲しくない」（16.6％）の順にあげられているが、「経済的なこと以外の責任が重くなる」と「子どもが欲しくない」の回答率は男性（経済的以外 17.8％、子ども 9.0％）との差が大きくなっている。

〈参考：全国調査〉

全国調査で結婚意向のない者（52 人）の理由としては、「自分の時間を失いたくない」が 57.7%で最も多く、以下「恋愛が面倒、うまく付き合えない」（42.3%）、「経済的な責任が重くなる」（32.7%）、「経済的なこと以外の責任が重くなる」（25.0%）、「結婚相手として適当な人がいない」（23.1%）の順となっている。

府民調査と比較すると、「自分の時間を失いたくない」（府民 41.1%、全国 57.7%）と「恋愛が面倒、うまく付き合えない」（同 33.0%、42.3%）は、全国調査で府民調査より多くあげられている。これに対して、「経済的な責任が重くなる」（同 39.5%、32.7%）と「結婚相手として適当な人がいない」（同 36.5%、23.1%）は、府民調査で全国調査より多くあげられている。

**参考 3-4　結婚しない理由**

(%)

| | | 自分の時間を失いたくない | 恋愛が面倒、うまく付き合えない | 経済的な責任が重くなる | 親せき付き合いなど、経済的なこと以外の責任が重くなる | 結婚相手として適当な人がいない | 子どもが欲しくない | 子育てが大変そう | 仕事（学業）との両立が難しい | 姓を変えるのに抵抗がある | 離婚が不安である | その他 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全体 | (n=52) | 57.7 | 42.3 | 32.7 | 25.0 | 23.1 | 15.4 | 9.6 | 3.8 | 3.8 | 3.8 | 11.5 | 1.9 |
| 男性 | (n=29) | 48.3 | 44.8 | 48.3 | 20.7 | 20.7 | 10.3 | 6.9 | 3.4 | － | 3.4 | 13.8 | － |
| 女性 | (n=23) | 69.6 | 39.1 | 13.0 | 30.4 | 26.1 | 21.7 | 13.0 | 4.3 | 8.7 | 4.3 | 8.7 | 4.3 |

該当者数は小さいが、性・就労状況別の傾向をみると（図表 3-4-2）、男女とも正規雇用者で「自分の時間を失いたくない」（男性 47.4%、女性 50.5%）が他の職種より多くなっている。

**図表 3-4-2　結婚しない理由（性・就労状況別）**

(%)

| | | | 自分の時間を失いたくない | 経済的な責任が重くなる | 結婚相手として適当な人がいない | 恋愛が面倒、うまく付き合えない | 親せき付き合いなど、経済的なこと以外の責任が重くなる | 子どもが欲しくない | 子育てが大変そう | 仕事（学業）との両立が難しい | 離婚が不安である | 姓を変えるのに抵抗がある | その他 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全体 | | (n=387) | 41.1 | 39.5 | 36.5 | 33.0 | 23.2 | 12.6 | 10.9 | 9.6 | 5.0 | 1.1 | 17.6 | 1.3 |
| 男性 | 正規雇用 | (n=78) | 47.4 | 57.2 | 35.4 | 37.9 | 22.8 | 10.2 | 6.5 | 15.1 | 3.4 | － | 9.3 | － |
| 男性 | 非正規雇用 | (n=42) | 39.2 | 69.6 | 34.3 | 24.6 | 14.5 | 7.9 | 8.4 | 12.9 | 2.5 | － | 12.7 | 0.8 |
| 男性 | その他有職 | (n=9) | 34.0 | 96.3 | 54.2 | 3.1 | 1.0 | 0.6 | － | 4.1 | 26.4 | － | 1.0 | － |
| 男性 | 学生 | (n=15) | 67.8 | 79.7 | 31.3 | 23.9 | 8.6 | 11.1 | 20.2 | 12.4 | 6.0 | － | 4.7 | － |
| 男性 | その他無職 | (n=52) | 36.0 | 59.4 | 29.1 | 40.8 | 19.0 | 8.9 | 18.2 | 3.1 | 0.5 | － | 16.5 | － |
| 女性 | 正規雇用 | (n=50) | 50.5 | 4.8 | 49.8 | 35.4 | 36.1 | 12.4 | 5.8 | 11.7 | 1.1 | 1.2 | 19.6 | － |
| 女性 | 非正規雇用 | (n=66) | 28.9 | 15.8 | 36.3 | 37.5 | 37.3 | 18.0 | 16.3 | 7.8 | 8.0 | 3.1 | 25.8 | 2.8 |
| 女性 | その他有職 | (n=11) | 40.5 | 11.9 | 56.9 | 23.8 | 21.0 | 14.3 | 20.4 | － | 11.9 | － | 13.7 | 15.2 |
| 女性 | 学生 | (n=13) | 54.5 | 10.9 | 23.9 | 35.3 | 25.0 | 31.9 | 22.8 | 17.2 | － | 10.9 | 11.4 | － |
| 女性 | その他無職 | (n=38) | 37.3 | 29.2 | 31.7 | 23.1 | 10.9 | 15.1 | 1.9 | 6.9 | 14.6 | － | 34.2 | － |

## （５）結婚を希望する状況

【将来結婚したいとお考えの方（問２７で「１」～「３」と答えた方）にお聞きします。】

問２９　あなたは、どのような状況になれば結婚したいと思いますか。
　　ご自分に最もあてはまると思うことをいくつでもお選びください。

図表 3-5-1

(%)

| | | 経済的に余裕ができる | 精神的に余裕ができる | 自分の希望の条件を満たす相手にめぐり会う | 交際相手と知り合う（出会う）機会がある | 結婚の必要性を感じる | 交際相手とうまく付き合えるようになる | 子どもが欲しくなる | 雇用が安定する | 交際相手が、親や周囲に認められる | 結婚生活のための住居のめどがたつ | まわりの友人が結婚しはじめる | 自分の自由になる時間がある | その他 | 特にない | わからない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全体 | (n=2,422) | 49.8 | 39.9 | 39.8 | 37.2 | 35.8 | 31.5 | 31.2 | 26.9 | 23.5 | 15.9 | 13.6 | 9.5 | 2.0 | 2.0 | 3.0 | 0.2 |
| 男性 | (n=1,082) | 59.8 | 40.7 | 34.5 | 34.9 | 35.6 | 28.0 | 22.0 | 35.3 | 17.3 | 15.2 | 9.1 | 8.1 | 1.0 | 2.0 | 3.8 | 0.2 |
| 女性 | (n=1,311) | 42.7 | 39.8 | 43.6 | 39.2 | 36.1 | 34.6 | 38.3 | 20.6 | 28.4 | 16.8 | 17.1 | 10.5 | 2.8 | 2.0 | 2.3 | 0.1 |

未婚で結婚意向のある者（2,422 人）が結婚を希望する状況としては（図表 3-5-1）、「経済的に余裕ができる」が 49.8%で最も多くあげられ、以下「精神的に余裕ができる」（39.9%）、「自分の希望の条件を満たす相手にめぐり会う」（39.8%）、「交際相手と知り合う（出会う）機会がある」（37.2%）、「結婚の必要性を感じる」（35.8%）、「交際相手とうまく付き合えるようになる」（31.5%）、「子どもが欲しくなる」（31.2%）が 3 割台で続いている。

男女別にみると（図表 3-5-1）、男性では「経済的に余裕ができる」が 59.8%で最も多くあげられ、女性（42.7%）を 17 ポイント上回っている。第 2 位の「精神的に余裕ができる」（男性 40.7%、女性 39.8%）と第 3 位の「結婚の必要性を感じる」（同 35.6%、36.1%）に男女差はみられないが、男性の第 4 位には「雇用が安定する」（同 35.3%、20.6%）があげられ、女性を 15 ポイント上回っている。

一方、女性では、「自分の希望の条件を満たす相手にめぐり会う」（同 34.5%、43.6%）が第 1 位にあげられ、男性を 9 ポイント上回っている。そのほか、「子どもが欲しくなる」（同 22.0%、38.3%）、「交際相手とうまく付き合えるようになる」（同 28.0%、34.6%）、「交際相手が、親や周囲に認められる」（同 17.3%、28.4%）、「まわりの友人が結婚しはじめる」（同 9.1%、17.1%）なども、女性が男性を 7 ポイント以上上回り、男女差がみられる。

〈参考：全国調査〉

全国調査で結婚意向のある未婚者（373 人）が結婚を希望する状況としては、府民調査と同様に「経済的に余裕ができる」が 52.5%で最も多くあげられ、以下、「精神的に余裕ができる」（41.0%）、「交際相手と知り合う（出会う）機会がある」（40.5%）、「結婚の必要性を感じる」（38.9%）、「自分の希望の条件を満たす相手にめぐり会う」（37.3%）などが 4 割前後となっている。

男女別にみると、府民調査と同様に「経済的に余裕ができる」（男性 57.3%、女性 47.5%）と「雇用が安定する」（同 32.8%、女性 14.9%）は女性より男性に多くあげられている。一方、女性では、「交際相手と知り合う機会がある」（同 37.5%、43.6%）、「交際相手とうまく付き合えるようになる」（同 30.7%、36.5%）、「子どもが欲しくなる」（同 24.5%、30.4%）などが男性より多くあげられている。

**参考 3-5　結婚を希望する状況**

(%)

| | | 経済的に余裕ができる | 精神的に余裕ができる | 交際相手と知り合う（出会う）機会がある | 結婚の必要性を感じる | 自分の希望の条件を満たす相手にめぐり会う | 交際相手とうまく付き合えるようになる | 子どもが欲しくなる | 雇用が安定する | 交際相手が、親や周囲に認められる | まわりの友人が結婚しはじめる | 結婚生活のための住居のめどがたつ | 自分の自由になる時間がある | その他 | 特にない | わからない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全体 | (n=373) | 52.5 | 41.0 | 40.5 | 38.9 | 37.3 | 33.5 | 27.3 | 24.1 | 17.7 | 14.2 | 11.0 | 9.7 | 0.8 | 2.9 | 2.1 | － |
| 男性 | (n=192) | 57.3 | 42.7 | 37.5 | 38.5 | 35.4 | 30.7 | 24.5 | 32.8 | 14.1 | 9.9 | 12.0 | 9.4 | 1.6 | 3.1 | 3.6 | － |
| 女性 | (n=181) | 47.5 | 39.2 | 43.6 | 39.2 | 39.2 | 36.5 | 30.4 | 14.9 | 21.5 | 18.8 | 9.9 | 9.9 | － | 2.8 | 0.6 | － |

性・年代別にみると（図表 3-5-2）、「経済的に余裕ができる」と「雇用が安定する」は、男女とも若い年代ほど多くあげられ、特に男性の 20 歳代で「経済的に余裕ができる」（20～24 歳 68.2%、25～29 歳 65.8%）が 6 割を上回って、多くなっている。

一方、女性の 20 歳代から 34 歳までの年代では「子どもが欲しくなる」と「交際相手が、親や周囲に認められる」が 3～4 割台と、他の性・年代よりも多くあげられている。また、女性の 25～29 歳では「まわりの友人が結婚しはじめる」（25.7%）が、他の性・年代よりも多い。

**図表 3-5-2　結婚を希望する状況（性・年代別）**

(%)

| | | | 経済的に余裕ができる | 精神的に余裕ができる | 自分の希望の条件を満たす相手にめぐり会う | 交際相手と知り合う（出会う）機会がある | 結婚の必要性を感じる | 交際相手とうまく付き合えるようになる | 子どもが欲しくなる | 雇用が安定する | 交際相手が、親や周囲に認められる | 結婚生活のための住居のめどがたつ | まわりの友人が結婚しはじめる | 自分の自由になる時間がある | その他 | 特にない | わからない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全体 | | (n=2,422) | 49.8 | 39.9 | 39.8 | 37.2 | 35.8 | 31.5 | 31.2 | 26.9 | 23.5 | 15.9 | 13.6 | 9.5 | 2.0 | 2.0 | 3.0 | 0.2 |
| 男性 | 20～24 歳 | (n=340) | 68.2 | 42.7 | 32.6 | 33.6 | 32.0 | 31.3 | 21.8 | 43.2 | 22.6 | 17.2 | 8.9 | 5.1 | 0.2 | 1.6 | 6.5 | － |
| 男性 | 25～29 歳 | (n=239) | 65.8 | 44.7 | 33.8 | 30.8 | 33.4 | 28.0 | 23.1 | 36.4 | 16.4 | 12.3 | 9.3 | 9.6 | 0.6 | 0.5 | 2.6 | 1.0 |
| 男性 | 30～34 歳 | (n=195) | 55.7 | 35.7 | 26.6 | 30.9 | 37.4 | 28.2 | 23.1 | 34.3 | 9.0 | 16.8 | 15.1 | 7.6 | 2.8 | 2.3 | 1.6 | － |
| 男性 | 35～39 歳 | (n=159) | 49.1 | 37.7 | 47.1 | 48.5 | 40.0 | 23.6 | 23.4 | 26.9 | 20.8 | 15.8 | 5.0 | 9.8 | 0.7 | 1.1 | 2.8 | － |
| 男性 | 40～44 歳 | (n=145) | 43.1 | 37.1 | 38.3 | 36.9 | 42.7 | 24.7 | 17.2 | 23.9 | 13.6 | 12.9 | 6.0 | 11.6 | 1.7 | 6.7 | 3.0 | － |
| 女性 | 20～24 歳 | (n=416) | 57.3 | 44.8 | 39.5 | 31.7 | 39.9 | 37.4 | 39.7 | 25.3 | 32.1 | 19.5 | 18.6 | 9.6 | 0.8 | 2.7 | 2.6 | － |
| 女性 | 25～29 歳 | (n=362) | 44.8 | 37.4 | 45.5 | 40.6 | 38.4 | 34.2 | 45.2 | 20.2 | 30.2 | 17.4 | 25.7 | 7.9 | 2.9 | 1.7 | 1.1 | 0.4 |
| 女性 | 30～34 歳 | (n=231) | 36.0 | 43.7 | 44.2 | 42.0 | 33.0 | 38.6 | 44.9 | 23.3 | 33.7 | 15.9 | 13.3 | 12.8 | 4.3 | 0.8 | 2.1 | － |
| 女性 | 35～39 歳 | (n=179) | 26.3 | 34.4 | 41.2 | 44.6 | 33.3 | 28.7 | 25.9 | 10.3 | 20.9 | 11.8 | 10.4 | 12.5 | 5.0 | 2.5 | 2.8 | － |
| 女性 | 40～44 歳 | (n=120) | 24.7 | 29.2 | 54.2 | 48.3 | 26.2 | 26.6 | 17.9 | 16.3 | 10.4 | 15.2 | 4.1 | 12.9 | 3.7 | 2.0 | 4.0 | － |

性・地域別にみると（図表 3-5-3）、「経済的に余裕ができる」は、男性の学研都市（64.7%）、乙訓（63.7%）、山城北（63.1%）、京都市（62.0%）それぞれの居住者で 6 割を上回っている。乙訓居住の男性では、「精神的に余裕ができる」（57.5%）も、他の地域より多くあげられている。また、男性の丹後と中丹居住者では「交際相手と知り合う機会がある」（丹後 52.9%、中丹 48.5%）が、中丹では「結婚の必要性を感じる」（43.4%）がそれぞれ多くあげられている。

一方、女性では、学研都市居住者に「自分の希望の条件を満たす相手にめぐり会う」（51.1%）が、乙訓居住者に「結婚の必要性を感じる」（43.9%）が、それぞれ多くあげられている。また、「子どもが欲しくなる」は、南丹（41.8%）、学研都市（40.5%）、山城北（40.2%）の各居住者で、それぞれ多くあげられている。

**図表 3-5-3　結婚を希望する状況（性・地域別）**

(%)

| | | | 経済的に余裕ができる | 精神的に余裕ができる | 自分の希望の条件を満たす相手にめぐり会う | 交際相手と知り合う（出会う）機会がある | 結婚の必要性を感じる | 交際相手とうまく付き合えるようになる | 子どもが欲しくなる | 雇用が安定する | 交際相手が、親や周囲に認められる | 結婚生活のための住居のめどがたつ | まわりの友人が結婚しはじめる | 自分の自由になる時間がある | その他 | 特にない | わからない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全体 | | (n=2,422) | 49.8 | 39.9 | 39.8 | 37.2 | 35.8 | 31.5 | 31.2 | 26.9 | 23.5 | 15.9 | 13.6 | 9.5 | 2.0 | 2.0 | 3.0 | 0.2 |
| 男性 | 京都市 | (n=324) | 62.0 | 42.2 | 35.2 | 35.3 | 35.6 | 27.6 | 22.8 | 36.7 | 18.7 | 15.8 | 9.3 | 7.1 | 0.9 | 1.6 | 3.6 | 0.3 |
| 男性 | 丹後 | (n=128) | 49.0 | 34.7 | 37.7 | 52.9 | 37.7 | 27.0 | 26.8 | 27.5 | 15.9 | 15.1 | 15.3 | 11.8 | － | 1.0 | 3.2 | － |
| 男性 | 中丹 | (n=75) | 45.1 | 30.8 | 34.1 | 48.5 | 43.4 | 28.3 | 27.3 | 28.0 | 13.9 | 15.7 | 7.5 | 9.3 | 1.8 | 5.0 | 1.8 | － |
| 男性 | 南丹 | (n=98) | 42.8 | 29.7 | 29.9 | 29.7 | 35.4 | 24.6 | 19.3 | 30.9 | 8.7 | 10.2 | 7.1 | 11.9 | 0.6 | 3.7 | 2.1 | － |
| 男性 | 乙訓 | (n=89) | 63.7 | 57.5 | 46.0 | 41.4 | 30.3 | 22.7 | 29.4 | 35.6 | 15.4 | 16.1 | 4.2 | 4.3 | 1.8 | 0.3 | 2.7 | 1.1 |
| 男性 | 学研都市 | (n=82) | 64.7 | 36.3 | 34.0 | 23.4 | 34.8 | 31.2 | 28.7 | 39.0 | 19.7 | 10.0 | 11.5 | 12.5 | 0.7 | 2.9 | 3.2 | － |
| 男性 | 相楽東部 | (n=68) | 44.8 | 36.1 | 30.2 | 33.5 | 38.0 | 24.4 | 11.3 | 31.3 | 14.1 | 13.6 | 5.7 | 7.4 | 1.7 | 6.3 | 2.8 | － |
| 男性 | 山城北 | (n=197) | 63.1 | 40.0 | 28.1 | 28.7 | 34.0 | 33.2 | 12.4 | 34.3 | 18.0 | 16.0 | 8.4 | 9.6 | 1.2 | 2.5 | 6.1 | － |
| 女性 | 京都市 | (n=484) | 44.9 | 43.2 | 45.5 | 40.4 | 34.6 | 36.0 | 38.5 | 22.1 | 28.9 | 17.1 | 18.0 | 11.5 | 2.3 | 1.5 | 2.1 | 0.2 |
| 女性 | 丹後 | (n=104) | 37.5 | 40.5 | 36.4 | 35.9 | 37.7 | 34.7 | 27.7 | 24.3 | 26.5 | 12.7 | 10.5 | 10.0 | 2.9 | 2.9 | 4.3 | － |
| 女性 | 中丹 | (n=85) | 34.6 | 30.2 | 40.9 | 37.9 | 35.3 | 37.3 | 30.8 | 18.9 | 22.1 | 18.3 | 20.6 | 10.5 | 3.6 | 3.6 | 1.7 | － |
| 女性 | 南丹 | (n=111) | 36.3 | 36.8 | 29.9 | 37.0 | 34.8 | 34.6 | 41.8 | 23.0 | 33.5 | 19.3 | 12.8 | 14.1 | 2.8 | 5.0 | 3.9 | － |
| 女性 | 乙訓 | (n=117) | 44.8 | 40.4 | 37.4 | 37.1 | 43.9 | 28.6 | 37.7 | 16.4 | 27.6 | 19.3 | 14.4 | 8.8 | 2.1 | 2.8 | 1.0 | － |
| 女性 | 学研都市 | (n=103) | 44.7 | 32.0 | 51.1 | 35.4 | 40.4 | 34.2 | 40.5 | 15.0 | 33.6 | 9.1 | 15.7 | 8.9 | 1.3 | 1.9 | 6.0 | － |
| 女性 | 相楽東部 | (n=102) | 46.4 | 31.1 | 43.2 | 34.5 | 26.2 | 33.8 | 32.5 | 12.7 | 29.4 | 18.2 | 15.8 | 8.3 | 2.9 | 3.6 | 3.3 | － |
| 女性 | 山城北 | (n=193) | 36.8 | 32.1 | 40.2 | 38.3 | 37.9 | 29.9 | 40.2 | 17.8 | 25.8 | 16.5 | 15.6 | 6.9 | 5.8 | 2.6 | 1.5 | － |

性・就労状況別にみると（図表 3-5-4）、「経済的に余裕ができる」は、男性の学生で 77.6%と特に多くあげられている。また、「雇用が安定する」は、男性の学生（55.0%）、学生以外のその他の無職（53.0%）、非正規雇用者（52.5%）で多くあげられている。

一方、女性の正規雇用者では、「子どもが欲しくなる」（42.4%）、「交際相手が、親や周囲に認められる」（35.5%）、「まわりの友人が結婚しはじめる」（22.1%）が、他の就労者より多くあげられている。

図表 3-5-4　結婚を希望する状況（性・就労状況別）

(%)

| | | | 経済的に余裕ができる | 精神的に余裕ができる | 自分の希望の条件を満たす相手にめぐり会う | 交際相手と知り合う（出会う）機会がある | 結婚の必要性を感じる | 交際相手とうまく付き合えるようになる | 子どもが欲しくなる | 雇用が安定する | 交際相手が、親や周囲に認められる | 結婚生活のための住居のめどがたつ | まわりの友人が結婚しはじめる | 自分の自由になる時間がある | その他 | 特にない | わからない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全体 | | (n=2,422) | 49.8 | 39.9 | 39.8 | 37.2 | 35.8 | 31.5 | 31.2 | 26.9 | 23.5 | 15.9 | 13.6 | 9.5 | 2.0 | 2.0 | 3.0 | 0.2 |
| 男性 | 正規雇用 | (n=512) | 53.6 | 38.3 | 34.8 | 34.5 | 38.7 | 28.5 | 22.9 | 17.6 | 16.0 | 12.2 | 11.4 | 10.3 | 0.9 | 2.1 | 2.5 | 0.4 |
| 男性 | 非正規雇用 | (n=217) | 58.0 | 40.9 | 33.5 | 32.3 | 33.4 | 29.7 | 21.8 | 52.5 | 21.6 | 16.9 | 5.6 | 6.2 | 1.1 | 0.7 | 7.5 | － |
| 男性 | その他有職 | (n=59) | 48.2 | 23.5 | 32.9 | 36.1 | 33.8 | 12.4 | 21.5 | 17.1 | 13.5 | 8.6 | 4.9 | 2.4 | 2.3 | 5.2 | 3.4 | － |
| 男性 | 学生 | (n=193) | 77.6 | 45.9 | 36.1 | 36.2 | 30.5 | 32.4 | 23.8 | 55.0 | 20.5 | 20.7 | 8.7 | 6.6 | － | 0.8 | 3.2 | － |
| 男性 | その他無職 | (n=87) | 58.5 | 51.6 | 29.2 | 37.3 | 38.8 | 21.2 | 14.6 | 53.0 | 10.3 | 20.3 | 10.2 | 8.9 | 3.2 | 5.4 | 2.1 | 0.7 |
| 女性 | 正規雇用 | (n=612) | 39.8 | 39.8 | 45.1 | 40.1 | 36.3 | 38.1 | 42.4 | 13.0 | 35.5 | 13.5 | 22.1 | 9.9 | 2.4 | 1.8 | 1.7 | － |
| 女性 | 非正規雇用 | (n=391) | 39.7 | 38.6 | 41.4 | 42.1 | 31.3 | 31.4 | 37.3 | 24.3 | 23.2 | 18.6 | 14.9 | 9.7 | 3.9 | 1.3 | 3.6 | 0.4 |
| 女性 | その他有職 | (n=46) | 51.1 | 44.9 | 51.6 | 37.5 | 49.0 | 28.5 | 21.5 | 24.6 | 6.2 | 16.1 | 13.7 | 18.2 | 3.6 | 5.0 | 2.8 | － |
| 女性 | 学生 | (n=181) | 53.5 | 37.3 | 41.4 | 32.0 | 44.4 | 32.7 | 33.1 | 31.9 | 23.7 | 22.3 | 8.6 | 9.3 | 0.9 | 3.6 | 1.1 | － |
| 女性 | その他無職 | (n=76) | 46.8 | 45.5 | 42.4 | 38.5 | 29.0 | 31.3 | 37.3 | 33.1 | 23.4 | 22.0 | 11.1 | 16.0 | 5.2 | 1.3 | 3.0 | － |

性・年収別にみると（図表 3-5-5）、「経済的に余裕ができる」と「雇用が安定する」は、男性で年収の低い層ほど多くあげられている。特に、男性では年収 200 万円未満の層では、「経済的に余裕ができる」が 7 割近くなっている。これに対して、「結婚の必要性を感じる」「交際相手とうまく付き合えるようになる」「まわりの友人が結婚しはじめる」「自分の自由になる時間がある」は、男性の年収が高い層ほど多くあげられる傾向がある。

一方、女性でも「経済的に余裕ができる」と「雇用が安定する」は、年収の低い層ほど多くあげられる傾向があるが、男性ほど顕著ではない。「自分の希望の条件を満たす相手にめぐり会う」は、年収の高い女性ほど多くあげられている。

**図表 3-5-5　結婚を希望する状況(性・年収別)**

(%)

| | | | 経済的に余裕ができる | 精神的に余裕ができる | 希望の条件を満たす相手にめぐり会う | 交際相手と知り合う機会がある | 結婚の必要性を感じる | 交際相手とうまく付き合えるようになる | 子どもが欲しくなる | 雇用が安定する | 交際相手が、親や周囲に認められる | 結婚生活のための住居のめどがたつ | まわりの友人が結婚しはじめる | 自分の自由になる時間がある | その他 | 特にない | わからない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全体 | | (n=2,422) | 49.8 | 39.9 | 39.8 | 37.2 | 35.8 | 31.5 | 31.2 | 26.9 | 23.5 | 15.9 | 13.6 | 9.5 | 2.0 | 2.0 | 3.0 | 0.2 |
| 男性 | 収入なし | (n=161) | 68.4 | 43.4 | 35.1 | 39.5 | 37.8 | 26.9 | 20.6 | 50.3 | 12.7 | 19.4 | 10.1 | 7.3 | 1.6 | 3.3 | 3.4 | 0.4 |
| 男性 | 100万円未満 | (n=171) | 68.5 | 42.0 | 30.7 | 29.6 | 31.4 | 27.5 | 20.1 | 51.2 | 25.1 | 18.1 | 7.3 | 6.8 | 1.3 | 1.3 | 7.4 | － |
| 男性 | 100万円～200万円未満 | (n=153) | 62.7 | 37.2 | 37.5 | 35.9 | 24.5 | 28.3 | 21.9 | 42.4 | 17.8 | 16.8 | 6.2 | 3.9 | － | 0.3 | 6.8 | － |
| 男性 | 200万円～300万円未満 | (n=229) | 63.1 | 45.0 | 29.8 | 34.0 | 37.9 | 29.1 | 19.2 | 37.3 | 16.7 | 15.9 | 6.5 | 9.7 | 0.2 | 1.8 | 1.6 | 0.9 |
| 男性 | 300万円～400万円未満 | (n=199) | 56.8 | 34.7 | 33.4 | 37.9 | 39.8 | 25.5 | 25.3 | 17.3 | 14.3 | 9.3 | 9.3 | 9.0 | 0.8 | 0.0 | 3.9 | － |
| 男性 | 400万円～600万円未満 | (n=126) | 41.1 | 42.7 | 39.7 | 33.3 | 42.7 | 34.2 | 27.3 | 11.6 | 18.1 | 14.1 | 20.2 | 12.6 | 1.8 | 4.0 | 0.8 | － |
| 男性 | 600万円～800万円未満 | (n=21) | 34.4 | 31.6 | 59.7 | 35.5 | 27.2 | 29.0 | 19.6 | 7.0 | 29.9 | 12.2 | 0.5 | 7.0 | － | 7.1 | － | － |
| 男性 | 800万円～1,000万円未満 | (n=2) | － | 42.0 | 58.0 | 58.0 | － | 58.0 | － | 42.0 | － | － | － | － | 42.0 | － | － | － |
| 男性 | 1,000万円以上 | (n=1) | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | 100.0 | － | － |
| 女性 | 収入なし | (n=140) | 42.7 | 36.2 | 34.5 | 35.2 | 37.7 | 30.1 | 32.1 | 27.5 | 20.0 | 16.8 | 8.0 | 12.0 | 3.4 | 2.0 | 3.8 | － |
| 女性 | 100万円未満 | (n=216) | 52.7 | 43.1 | 41.8 | 32.9 | 37.6 | 33.8 | 34.2 | 33.6 | 24.7 | 21.3 | 15.0 | 9.5 | 2.9 | 3.4 | 2.3 | － |
| 女性 | 100万円～200万円未満 | (n=293) | 49.2 | 39.5 | 43.5 | 45.0 | 36.9 | 36.7 | 42.9 | 26.7 | 29.0 | 20.4 | 23.5 | 11.0 | 1.6 | 1.2 | 3.4 | － |
| 女性 | 200万円～300万円未満 | (n=334) | 45.0 | 44.1 | 43.2 | 36.2 | 34.7 | 34.1 | 35.9 | 16.3 | 32.0 | 13.7 | 15.6 | 6.9 | 2.4 | 2.0 | 1.1 | 0.4 |
| 女性 | 300万円～400万円未満 | (n=168) | 33.8 | 36.7 | 46.9 | 47.5 | 33.5 | 38.2 | 46.4 | 7.9 | 34.1 | 14.5 | 23.8 | 16.5 | 4.5 | 0.6 | 1.5 | － |
| 女性 | 400万円～600万円未満 | (n=104) | 22.2 | 36.2 | 51.8 | 41.2 | 39.5 | 32.6 | 35.8 | 9.5 | 30.1 | 11.3 | 14.8 | 10.9 | 3.1 | 4.8 | 2.2 | － |
| 女性 | 600万円～800万円未満 | (n=9) | － | － | 46.2 | 62.7 | 6.0 | 16.2 | 59.8 | － | 1.9 | 6.0 | － | － | － | － | － | － |
| 女性 | 800万円～1,000万円未満 | (n=1) | － | － | － | － | 100.0 | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － |
| 女性 | 1,000万円以上 | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － |

性・交際相手の有無別にみると（図表 3-5-6）、男女とも交際相手のいる者では、「経済的に余裕ができる」（男性 67.7%、女性 58.7%）が最も多くあげられている。

次いで、男女とも「精神的に余裕ができる」（同 46.4%、47.1%）、男性では「雇用が安定する」（42.1%）が、女性では「結婚の必要性を感じる」（40.4%）が上位にあげられている。婚約者のいる女性でも「結婚の必要性を感じる」（40.1%）が 4 割である。

一方、交際している相手がいない者では、男女とも「交際相手と知り合う機会がある」（男性 47.6%、女性 56.3%）と「自分の希望の条件を満たす相手にめぐり会う」（同 42.0%、53.0%）の回答率が高く、女性が男性を上回っている。

**図表 3-5-6　結婚を希望する状況(性・交際相手の有無別)**

(%)

| | | | 経済的に余裕ができる | 精神的に余裕ができる | 自分の希望の条件を満たす相手にめぐり会う | 交際相手と知り合う（出会う）機会がある | 結婚の必要性を感じる | 交際相手とうまく付き合えるようになる | 子どもが欲しくなる | 雇用が安定する | 交際相手が、親や周囲に認められる | 結婚生活のための住居のめどがたつ | まわりの友人が結婚しはじめる | 自分の自由になる時間がある | その他 | 特にない | わからない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全体 | | (n=2,422) | 49.8 | 39.9 | 39.8 | 37.2 | 35.8 | 31.5 | 31.2 | 26.9 | 23.5 | 15.9 | 13.6 | 9.5 | 2.0 | 2.0 | 3.0 | 0.2 |
| 男性 | 交際している相手がいる | (n=270) | 67.7 | 46.4 | 17.3 | 5.4 | 35.5 | 25.3 | 27.9 | 42.1 | 22.4 | 22.0 | 8.2 | 5.3 | 1.0 | 1.4 | 3.9 | 0.9 |
| 男性 | 婚約者がいる | (n=39) | 61.8 | 37.9 | 19.5 | 12.7 | 34.0 | 19.4 | 33.5 | 30.8 | 20.3 | 16.8 | 10.0 | 5.3 | 4.9 | 9.4 | － | － |
| 男性 | 交際している相手はいない | (n=773) | 56.6 | 38.6 | 42.0 | 47.6 | 35.8 | 29.6 | 19.0 | 32.9 | 15.2 | 12.5 | 9.5 | 9.3 | 0.8 | 1.8 | 3.9 | － |
| 女性 | 交際している相手がいる | (n=411) | 58.7 | 47.1 | 26.8 | 9.1 | 40.4 | 29.4 | 45.8 | 32.0 | 34.3 | 28.4 | 18.9 | 8.0 | 4.0 | 1.6 | 1.4 | 0.3 |
| 女性 | 婚約者がいる | (n=57) | 36.0 | 37.8 | 30.0 | 11.5 | 40.1 | 28.7 | 55.5 | 11.2 | 32.4 | 17.3 | 18.5 | 4.4 | 2.4 | 0.1 | － | － |
| 女性 | 交際している相手はいない | (n=839) | 35.0 | 36.3 | 53.0 | 56.3 | 33.7 | 37.5 | 33.3 | 15.5 | 25.2 | 10.9 | 16.1 | 12.2 | 2.3 | 2.4 | 2.8 | － |

## （６）居住地の自治体に期待する結婚支援事業

【将来結婚したいとお考えの方（問２７で「１」～「３」と答えた方）にお聞きします。】

問３０　あなたが、京都府やお住まいの市区町村におこなってもらいたい結婚支援事業は、どのようなものですか。あてはまるものを３つまでお選びください。

図表 3-6-1

(%)

| | | 新婚夫婦対象の住宅提供、補助金支給 | 結婚祝い金の支給 | 出会いの場・婚活イベントの提供・実施 | 結婚相談窓口の設置 | 交際術、ファッション、マナー等についての講座の実施 | 国際結婚を支援するための事業 | 結婚観・人生観等についての講座等の実施 | その他 | 特におこなってもらいたい事業はない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全体 | (n=2,422) | 50.0 | 49.3 | 30.7 | 11.9 | 6.3 | 5.5 | 4.7 | 2.0 | 21.8 | 1.3 |
| 男性 | (n=1,082) | 46.2 | 46.4 | 30.5 | 13.2 | 6.9 | 3.4 | 5.4 | 2.1 | 24.1 | 2.0 |
| 女性 | (n=1,311) | 53.4 | 52.0 | 30.4 | 10.8 | 5.8 | 7.1 | 4.0 | 1.8 | 20.1 | 0.7 |

未婚で結婚意向のある者（2,422 人）が、京都府や居住地の自治体に実施を希望する結婚支援事業としては（図表 3-6-1）、「新婚夫婦対象の住宅提供、補助金支給」（50.0%）と「結婚祝い金の支給」（49.3%）がともにほぼ 5 割で上位にあげられ、次いで「出会いの場・婚活イベントの提供・実施」（30.7%）が 3 割程度である。

「特におこなってもらいたい事業はない」という者は 21.8%で、4 人に 3 人以上の未婚者は、なんらかの『結婚支援事業をおこなってほしい』と回答している。

男女別にみると（図表 3-6-1）、男女とも「新婚夫婦対象の住宅提供、補助金支給」（男性 46.2%、女性 53.4%）と「結婚祝い金の支給」（同 46.4%、52.0%）が上位にあげられているが、女性の要望が男性を上回っている。

〈参考：全国調査〉

全国調査の結婚意向のある未婚者（373 人）が、希望する京都府や居住地の自治体による結婚支援事業としては、「結婚祝い金の支給」（40.5%）と「新婚夫婦対象の住宅提供、補助金支給」（39.4%）がともにほぼ 4 割で、次いで「出会いの場・婚活イベントの提供・実施」（28.7%）が 3 割近くあげられている。

「特におこなってもらいたい事業はない」という者は 31.1%で、府民調査の方が結婚支援事業に対する要望が強い。

男女別にみると、「結婚祝い金の支給」（男性 38.0%、女性 43.1%）と「新婚夫婦対象の住宅提供、補助金支給」（同 36.5%、女性 42.5%）は、男性より女性に多くあげられている。

府民調査と比較すると、男女とも「新婚夫婦対象の住宅提供、補助金支給」と「結婚祝い金の支給」は、府民調査で、全国調査より多くあげられている。

**参考 3-6　居住地の自治体に期待する結婚支援事業**

(%)

| | | 結婚祝い金の支給 | 新婚夫婦対象の住宅提供、補助金支給 | 出会いの場・婚活イベントの提供・実施 | 結婚相談窓口の設置 | 交際術、ファッション、マナー等についての講座の実施 | 結婚観・人生観等についての講座等の実施 | 国際結婚を支援するための事業 | その他 | 特におこなってもらいたい事業はない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全体 | (n=373) | 40.5 | 39.4 | 28.7 | 10.2 | 7.0 | 5.1 | 5.1 | 1.1 | 31.1 | 0.3 |
| 男性 | (n=192) | 38.0 | 36.5 | 26.6 | 10.9 | 8.9 | 4.2 | 3.1 | 2.1 | 32.8 | − |
| 女性 | (n=181) | 43.1 | 42.5 | 30.9 | 9.4 | 5.0 | 6.1 | 7.2 | − | 29.3 | 0.6 |

性・年代別にみると（図表 3-6-2）、「新婚夫婦対象の住宅提供、補助金支給」と「結婚祝い金の支給」は、女性の 25～29 歳（住宅提供等 61.0%、祝い金 61.3%）で 6 割を上回って、特に多くあげられている。また、「出会いの場・婚活イベントの提供・実施」は、男性の 30 歳代（30～34 歳 37.3%、35～39 歳 34.4%）と女性の 25～34 歳（25～29 歳 37.1%、30～34 歳 36.1%）で、他の年代層より多い。さらに、「結婚相談窓口の設置」への要望は、男性の 35～39 歳の年代で 23.0%と、他の性・年代層よりも強い。

**図表 3-6-2　居住地の自治体に期待する結婚支援事業（性・年代別）**

(%)

| | | | 新婚夫婦対象の住宅提供、補助金支給 | 結婚祝い金の支給 | 出会いの場・婚活イベントの提供・実施 | 結婚相談窓口の設置 | 交際術、ファッション、マナー等についての講座の実施 | 国際結婚を支援するための事業 | 結婚観・人生観等についての講座等の実施 | その他 | 特におこなってもらいたい事業はない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全体 | | (n=2,422) | 50.0 | 49.3 | 30.7 | 11.9 | 6.3 | 5.5 | 4.7 | 2.0 | 21.8 | 1.3 |
| 男性 | 20～24歳 | (n=340) | 47.2 | 50.5 | 29.7 | 11.0 | 8.1 | 2.9 | 4.6 | 0.7 | 23.6 | 1.0 |
| 男性 | 25～29歳 | (n=239) | 46.0 | 46.1 | 26.5 | 8.3 | 6.7 | 2.0 | 5.3 | 2.9 | 23.5 | 1.6 |
| 男性 | 30～34歳 | (n=195) | 51.1 | 43.2 | 37.3 | 15.7 | 5.8 | 4.5 | 7.6 | 3.3 | 20.4 | 2.3 |
| 男性 | 35～39歳 | (n=159) | 39.5 | 42.6 | 34.4 | 23.0 | 7.1 | 1.6 | 7.9 | 1.7 | 26.3 | 2.0 |
| 男性 | 40～44歳 | (n=145) | 43.9 | 43.6 | 27.0 | 14.7 | 5.8 | 6.5 | 2.3 | 3.2 | 29.3 | 4.7 |
| 女性 | 20～24歳 | (n=416) | 55.6 | 55.8 | 19.7 | 8.5 | 5.6 | 6.9 | 3.8 | 0.7 | 18.4 | 0.0 |
| 女性 | 25～29歳 | (n=362) | 61.0 | 61.3 | 37.1 | 8.9 | 6.6 | 8.8 | 4.1 | 2.1 | 12.5 | － |
| 女性 | 30～34歳 | (n=231) | 55.3 | 52.3 | 36.1 | 13.6 | 7.0 | 4.0 | 3.6 | 2.1 | 18.1 | 0.1 |
| 女性 | 35～39歳 | (n=179) | 42.1 | 38.3 | 32.8 | 15.6 | 6.0 | 8.4 | 5.7 | 3.7 | 27.4 | 3.7 |
| 女性 | 40～44歳 | (n=120) | 36.9 | 30.4 | 32.3 | 12.1 | 1.8 | 7.5 | 2.1 | 1.5 | 42.4 | 1.3 |

性・地域別にみると（図表 3-6-3）、いずれの地域でも「新婚夫婦対象の住宅提供、補助金支給」と「結婚祝い金の支給」への要望が強いが、男性の丹後居住者では、「出会いの場・婚活イベントの提供・実施」（52.6%）への要望が最も強くなっている。男性の中丹居住者でも、「結婚祝い金の支給」（49.0%）に次いで、「出会いの場・婚活イベントの提供・実施」（45.6%）への要望が強い。

「新婚夫婦対象の住宅提供、補助金支給」への要望は、女性の乙訓居住者で 62.1%と、特に高くなっている。

**図表 3-6-3　居住地の自治体に期待する結婚支援事業（性・地域別）**

(%)

| | | | 新婚夫婦対象の住宅提供、補助金支給 | 結婚祝い金の支給 | 出会いの場・婚活イベントの提供・実施 | 結婚相談窓口の設置 | 交際術、ファッション、マナー等についての講座の実施 | 国際結婚を支援するための事業 | 結婚観・人生観等についての講座等の実施 | その他 | 特におこなってもらいたい事業はない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全体 | | (n=2,422) | 50.0 | 49.3 | 30.7 | 11.9 | 6.3 | 5.5 | 4.7 | 2.0 | 21.8 | 1.3 |
| 男性 | 京都市 | (n=324) | 48.0 | 45.6 | 28.4 | 13.2 | 7.4 | 4.6 | 6.4 | 2.2 | 22.9 | 1.2 |
| 男性 | 丹後 | (n=128) | 48.2 | 51.4 | 52.6 | 14.5 | 6.5 | 6.0 | 5.6 | 1.7 | 16.9 | 2.3 |
| 男性 | 中丹 | (n=75) | 41.6 | 49.0 | 45.6 | 12.9 | 9.7 | 0.7 | 9.8 | 3.6 | 19.4 | 4.3 |
| 男性 | 南丹 | (n=98) | 36.9 | 40.8 | 24.9 | 5.5 | 5.3 | － | 6.5 | 0.6 | 38.5 | 4.1 |
| 男性 | 乙訓 | (n=89) | 41.6 | 43.8 | 34.8 | 15.9 | 6.1 | 6.1 | － | 1.8 | 23.4 | 1.1 |
| 男性 | 学研都市 | (n=82) | 52.8 | 63.1 | 34.9 | 13.8 | 6.3 | 0.7 | 7.6 | 2.3 | 17.6 | 1.6 |
| 男性 | 相楽東部 | (n=68) | 34.0 | 35.6 | 28.8 | 15.3 | 4.0 | 5.7 | 4.0 | － | 27.4 | 4.6 |
| 男性 | 山城北 | (n=197) | 43.9 | 44.0 | 26.1 | 14.5 | 5.7 | 0.5 | 2.0 | 2.3 | 27.9 | 3.7 |
| 女性 | 京都市 | (n=484) | 53.9 | 52.8 | 33.4 | 11.9 | 6.3 | 7.7 | 3.8 | 1.9 | 18.2 | 0.6 |
| 女性 | 丹後 | (n=104) | 37.5 | 45.5 | 30.2 | 7.2 | 0.8 | 2.4 | 3.1 | 4.3 | 27.8 | 3.9 |
| 女性 | 中丹 | (n=85) | 48.3 | 48.9 | 27.2 | 10.2 | 7.5 | 1.2 | 7.5 | 4.2 | 28.7 | 1.5 |
| 女性 | 南丹 | (n=111) | 53.1 | 56.9 | 29.6 | 7.7 | 2.6 | 6.9 | 6.2 | 0.5 | 22.6 | － |
| 女性 | 乙訓 | (n=117) | 62.1 | 58.4 | 23.2 | 9.2 | 6.5 | 5.4 | 7.7 | 0.8 | 13.5 | 1.3 |
| 女性 | 学研都市 | (n=103) | 48.0 | 55.4 | 18.3 | 7.7 | 2.7 | 8.4 | 0.6 | 2.6 | 24.2 | 1.9 |
| 女性 | 相楽東部 | (n=102) | 46.9 | 51.2 | 23.2 | 7.7 | 3.6 | 2.9 | 6.9 | 0.7 | 21.2 | 1.1 |
| 女性 | 山城北 | (n=193) | 54.0 | 44.3 | 24.5 | 10.4 | 6.3 | 7.5 | 2.6 | 0.6 | 25.7 | 0.1 |

性・就労状況別にみると（図表 3-6-4）、「新婚夫婦対象の住宅提供、補助金支給」と「結婚祝い金の支給」への要望は、女性の正規雇用者（住宅提供等 57.4%、祝い金 58.7%）で、特に他の性・就労層より強い。「結婚相談窓口の設置」への要望は、男性で学生以外のその他の無職層（19.2%）で 2 割近い。

また、「交際術、ファッション、マナー等についての講座の実施」は、女性の学生（12.4%）と男性の非正規雇用者（10.2%）で、やや強くなっている。

**図表 3-6-4　居住地の自治体に期待する結婚支援事業（性・就労状況別）**

(%)

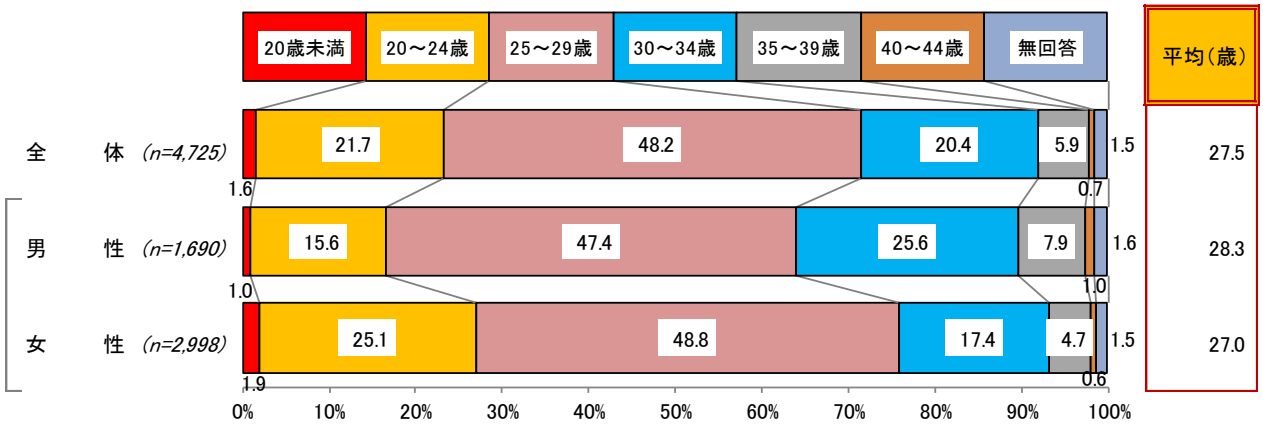
| | | | 新婚夫婦対象の住宅提供、補助金支給 | 結婚祝い金の支給 | 出会いの場・婚活イベントの提供・実施 | 結婚相談窓口の設置 | 交際術、ファッション、マナー等についての講座の実施 | 国際結婚を支援するための事業 | 結婚観・人生観等についての講座等の実施 | その他 | 特におこなってもらいたい事業はない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全体 | | (n=2,422) | 50.0 | 49.3 | 30.7 | 11.9 | 6.3 | 5.5 | 4.7 | 2.0 | 21.8 | 1.3 |
| 男性 | 正規雇用 | (n=512) | 50.9 | 47.8 | 34.6 | 11.0 | 6.4 | 2.0 | 6.0 | 0.7 | 20.0 | 1.6 |
| 男性 | 非正規雇用 | (n=217) | 40.9 | 44.8 | 26.1 | 15.6 | 10.2 | 4.1 | 7.0 | 5.3 | 23.9 | 5.1 |
| 男性 | その他有職 | (n=59) | 28.1 | 39.9 | 29.4 | 11.9 | 3.8 | 3.7 | 3.7 | 0.3 | 40.3 | 0.2 |
| 男性 | 学生 | (n=193) | 49.2 | 50.3 | 25.4 | 12.6 | 5.4 | 4.4 | 2.8 | 2.3 | 26.1 | − |
| 男性 | その他無職 | (n=87) | 39.2 | 35.5 | 31.0 | 19.2 | 7.3 | 7.1 | 7.6 | 3.7 | 31.0 | 1.1 |
| 女性 | 正規雇用 | (n=612) | 57.4 | 58.7 | 32.4 | 12.0 | 3.9 | 5.5 | 4.2 | 1.8 | 15.2 | 0.3 |
| 女性 | 非正規雇用 | (n=391) | 49.1 | 49.3 | 32.0 | 9.4 | 5.2 | 6.5 | 2.7 | 2.7 | 27.3 | 0.7 |
| 女性 | その他有職 | (n=46) | 53.0 | 38.1 | 33.3 | 9.3 | 4.7 | 9.2 | 11.0 | − | 22.3 | 4.5 |
| 女性 | 学生 | (n=181) | 52.6 | 43.9 | 16.3 | 8.8 | 12.4 | 14.3 | 3.5 | 1.1 | 19.7 | − |
| 女性 | その他無職 | (n=76) | 43.8 | 41.1 | 39.6 | 14.4 | 9.8 | 4.0 | 4.2 | 0.7 | 25.1 | 3.7 |

## （７）初婚年齢

【現在結婚しているか、結婚の経験のある方（問２５で「１」「２」と答えた方）にお聞きします。】

問３１　あなたが、初めて結婚したのは何歳の時でしたか。

図表 3-7-1




現在結婚しているか、結婚の経験のある既婚者（4,725 人）に初めて結婚した年齢を聞いたところ（図表 3-7-1）、「25～29 歳」が 48.2%で最も多く、次いで「20～24 歳」（21.7%）と「30～34 歳」（20.4%）がともに約 2 割で、平均 27.5 歳である。

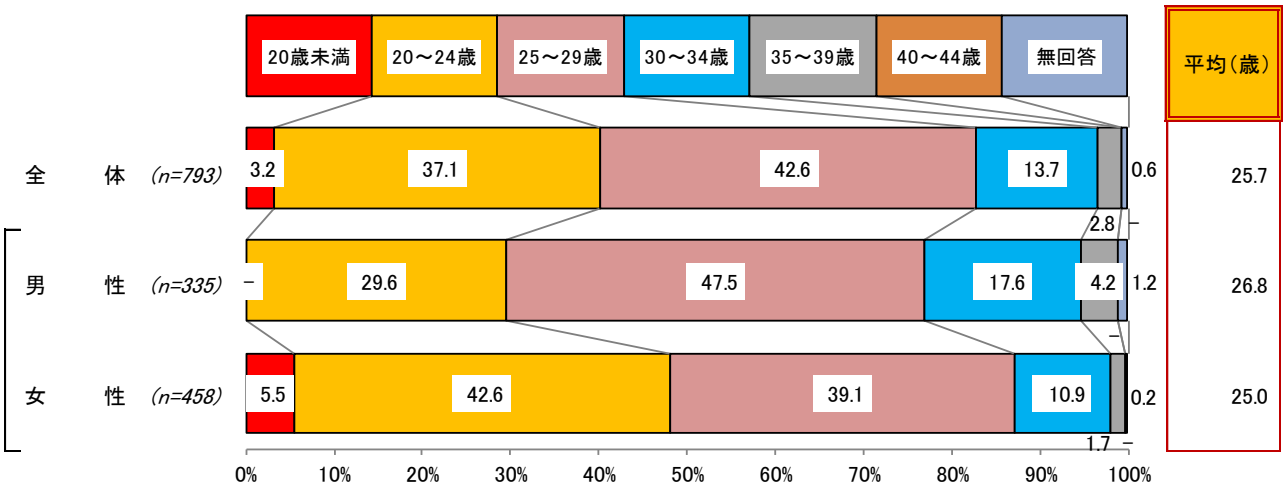
男女別にみると（図表 3-7-1）、男女とも「25～29 歳」（男性 47.4%、女性 48.8%）が 5 割近くを占めて最も多く、次いで、男性では「30～34 歳」（25.6%）、女性では「20～24 歳」（25.1%）が多くなっている。平均初婚年齢は、男性 28.3 歳、女性 27.0 歳である。

〈参考：全国調査〉

全国調査の既婚者（793 人）の初婚年齢としては、「25～29 歳」（42.6%）と「20～24 歳」（37.1%）が 4 割前後で、平均すると 25.7 歳になり、府民調査結果より平均年齢が低い。

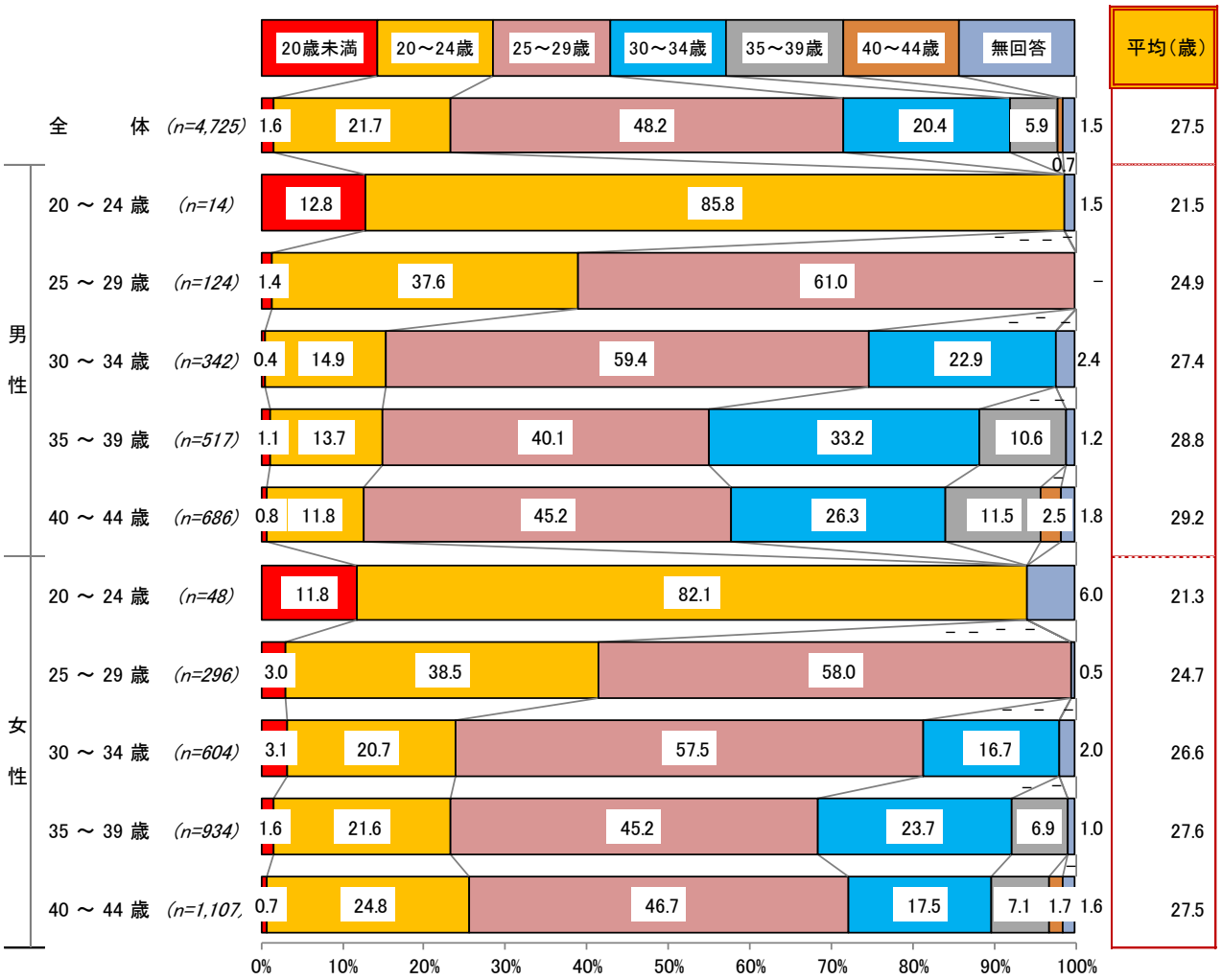
男女別にみると、男性は「25～29 歳」が 47.5%、女性は「20～24 歳」が 42.6%で、それぞれ最も多く、平均初婚年齢は男性 26.8 歳、女性 25.0 歳で、いずれも府民調査結果より低い。

参考 3-7　初婚年齢



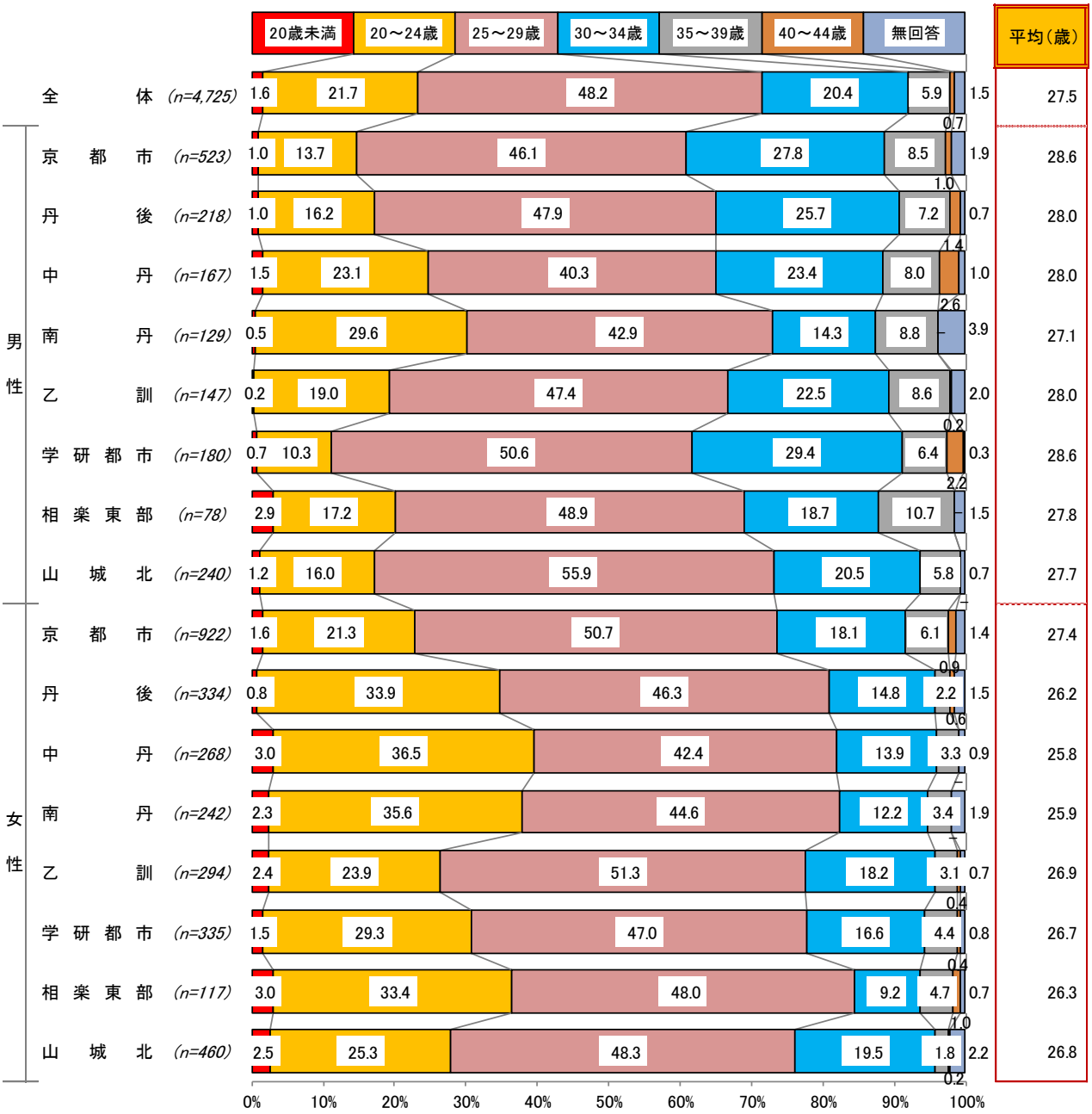
性・年代別にみると（図表 3-7-2）、男女とも年代に応じて平均初婚年齢が高くなっているが、30歳以上になると男女の平均初婚年齢にやや開きが大きくなり、男性の方が高くなっている。

図表 3-7-2　初婚年齢（性・年代別）



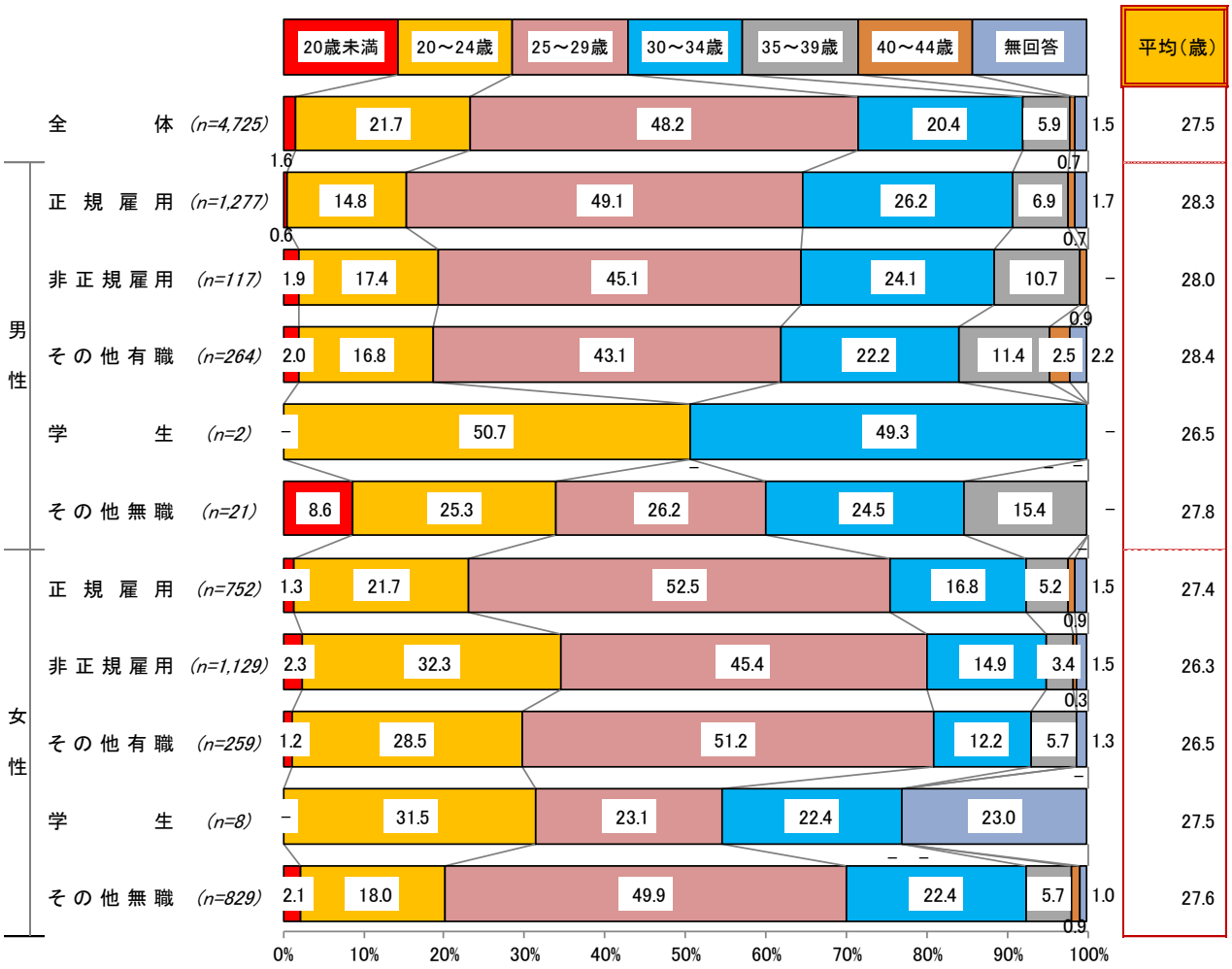
性・地域別にみると（図表 3-7-3）、平均初婚年齢は、男性は京都市と学研都市の居住者が 28.6 歳、女性は京都市居住者が 27.4 歳で、同性の中では最も高くなっている。女性で平均初婚年齢が低いのは、男性は南丹居住者（27.1 歳）、女性は中丹居住者（25.8 歳）と南丹居住者（25.9 歳）である。

図表 3-7-3　初婚年齢（性・地域別）



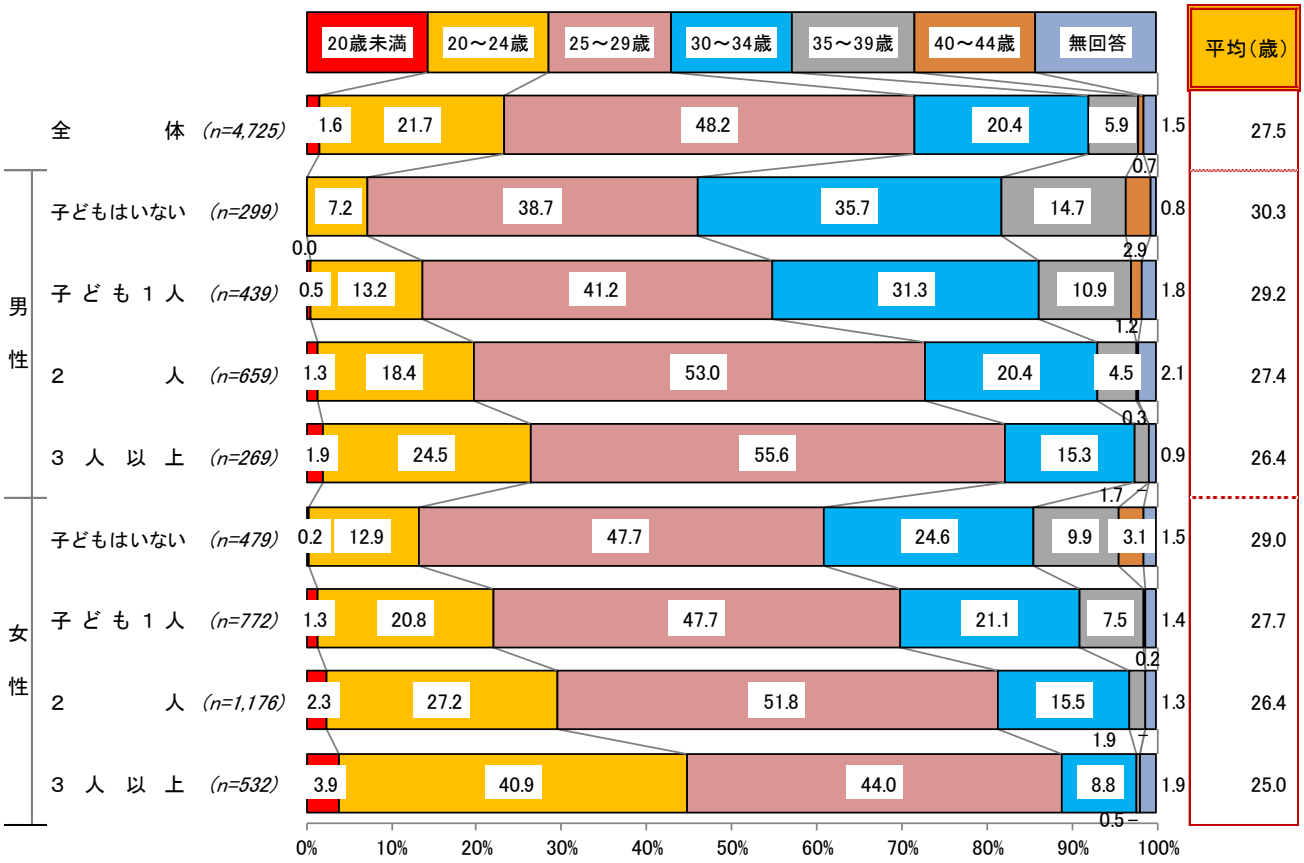
性・就労状況別にみると（図表 3-7-4）、女性の非正規雇用者（26.3 歳）及び自営業もしくは内職を含むその他有職層（26.5%）と、学生以外のその他無職（27.6 歳）及び正規雇用者（27.4 歳）では約 1 歳の差がみられる。一方、男性は、就労状況による平均初婚年齢の差が小さい。

図表 3-7-4　初婚年齢（性・就労状況別）



性・子どもの人数別にみると（図表 3-7-5）、子どもの人数が多い者ほど平均初婚年齢は低く、既婚で子どもがいない者では、男性 30.3 歳、女性 29.0 歳であるのに対して、子どもが 3 人以上いる者では男性 26.4 歳、女性 25.0 歳である。

図表 3-7-5　初婚年齢（性・子どもの人数別）



## （８）結婚相手と知り合ったきっかけ

【現在結婚しているか、結婚の経験のある方（問２５で「１」「２」と答えた方）にお聞きします。】

問３２　あなたの結婚相手とは、どのようなきっかけで知り合いましたか。あてはまるものを１つお選びください。

図表 3-8-1

(%)

| | | 職場や仕事の関係で | 友人や兄弟姉妹を通じて | 同じ学校に在学して | 学校以外のサークル活動やクラブ活動・習いごとで | アルバイトで | 街なかや旅先で | 見合いで（親せき・上司などの紹介を含む） | 結婚相談所で | 幼なじみ・隣人関係 | 居住都道府県内の婚活イベントで | 居住都道府県外の婚活イベントで | その他 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全体 | (n=4,725) | 34.4 | 26.6 | 13.5 | 5.1 | 4.5 | 4.0 | 2.6 | 1.5 | 1.4 | 0.8 | 0.3 | 4.2 | 1.2 |
| 男性 | (n=1,690) | 31.3 | 26.8 | 15.2 | 5.5 | 4.4 | 4.8 | 2.2 | 2.0 | 1.2 | 0.7 | 0.2 | 4.5 | 1.2 |
| 女性 | (n=2,998) | 36.2 | 26.4 | 12.6 | 4.8 | 4.5 | 3.7 | 2.9 | 1.2 | 1.5 | 0.8 | 0.3 | 4.0 | 1.2 |

既婚者（4,725 人）が結婚相手と知り合ったきっかけを聞いたところ（図表 3-8-1）、「職場や仕事の関係で」が 34.4%で最も多くあげられて、次いで「友人や兄弟姉妹を通じて」（26.6%）、「同じ学校に在学して」（13.5%）の順となっている。

男女別にみると（図表 3-8-1）、男女とも「職場や仕事の関係で」（男性 31.3%、女性 36.2%）が最も多く、女性が男性を 5 ポイント上回っている。

〈参考：全国調査〉

全国調査の既婚者（793 人）が結婚相手と知り合ったきっかけは、府民調査と同様に、「職場や仕事の関係で」（31.8%）、「友人や兄弟姉妹を通じて」（28.6%）、「同じ学校に在学して」（14.0%）の順となっている。

男女別にみると、「職場や仕事の関係で」（男性 29.9%、女性 33.2%）と「友人や兄弟姉妹を通じて」（24.2%、31.9%）は男性より女性に、「同じ学校に在学して」（16.4%、12.2%）は女性より男性にそれぞれ多くあげられている。

**参考 3-8　結婚相手と知り合ったきっかけ**

(%)

| | | 職場や仕事の関係で | 友人や兄弟姉妹を通じて | 同じ学校に在学して | 学校以外のサークル活動やクラブ活動・習いごとで | 街なかや旅先で | アルバイトで | 見合いで（親せき・上司などの紹介を含む） | 幼なじみ・隣人関係 | 居住都道府県内の婚活イベントで | 結婚相談所で | 居住都道府県外の婚活イベントで | その他 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全体 | (n=793) | 31.8 | 28.6 | 14.0 | 7.2 | 5.8 | 3.9 | 2.4 | 1.6 | 0.9 | 0.6 | 0.1 | 2.8 | 0.3 |
| 男性 | (n=335) | 29.9 | 24.2 | 16.4 | 8.7 | 6.0 | 3.6 | 3.0 | 2.1 | 1.8 | 0.9 | 0.3 | 3.0 | 0.3 |
| 女性 | (n=458) | 33.2 | 31.9 | 12.2 | 6.1 | 5.7 | 4.1 | 2.0 | 1.3 | 0.2 | 0.4 | － | 2.6 | 0.2 |

性・年代別にみると（図表 3-8-2）、男女とも「職場や仕事の関係で」は年代が高い層ほど多く、女性の 40～44 歳（38.3%）では 4 割近くなっている。「同じ学校に在学して」は、男女とも 25～29 歳（男性 21.2%、女性 21.8%）と男性 30～34 歳（23.2%）で 2 割を上回っている。

図表 3-8-2　結婚相手と知り合ったきっかけ（性・年代別）

(%)

| | | | 職場や仕事の関係で | 友人や兄弟姉妹を通じて | 同じ学校に在学して | 学校以外のサークル活動やクラブ活動・習いごとで | アルバイトで | 街なかや旅先で | 見合いで（親せき・上司などの紹介を含む） | 結婚相談所で | 幼なじみ・隣人関係 | 居住都道府県内の婚活イベントで | 居住都道府県外の婚活イベントで | その他 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全体 | | (n=4,725) | 34.4 | 26.6 | 13.5 | 5.1 | 4.5 | 4.0 | 2.6 | 1.5 | 1.4 | 0.8 | 0.3 | 4.2 | 1.2 |
| 男性 | 20～24 歳 | (n=14) | 2.9 | 13.7 | 51.7 | 12.8 | 13.0 | － | － | － | － | － | － | 4.0 | 1.9 |
| | 25～29 歳 | (n=124) | 27.5 | 25.7 | 21.2 | 6.5 | 7.4 | 3.0 | － | － | 1.4 | － | － | 7.1 | 0.2 |
| | 30～34 歳 | (n=342) | 26.6 | 27.2 | 23.2 | 4.6 | 6.2 | 4.9 | － | 0.1 | 1.8 | 0.6 | 0.8 | 2.9 | 1.1 |
| | 35～39 歳 | (n=517) | 32.3 | 28.0 | 12.8 | 4.7 | 4.3 | 5.2 | 2.2 | 1.5 | 0.9 | 0.8 | － | 6.4 | 0.9 |
| | 40～44 歳 | (n=686) | 34.4 | 25.7 | 11.1 | 6.4 | 2.9 | 4.9 | 3.8 | 3.8 | 1.1 | 0.9 | 0.2 | 3.4 | 1.6 |
| 女性 | 20～24 歳 | (n=48) | 34.0 | 15.1 | 15.6 | － | 14.8 | 4.3 | － | － | 0.1 | － | － | 13.5 | 2.5 |
| | 25～29 歳 | (n=296) | 31.7 | 21.7 | 21.8 | 3.5 | 5.5 | 5.5 | 0.7 | 0.4 | 2.1 | 0.3 | － | 5.7 | 1.0 |
| | 30～34 歳 | (n=604) | 35.2 | 28.7 | 14.7 | 5.0 | 3.5 | 3.8 | 1.3 | 0.0 | 1.8 | 1.1 | 0.1 | 3.7 | 1.3 |
| | 35～39 歳 | (n=934) | 35.8 | 30.5 | 9.8 | 4.5 | 4.1 | 3.2 | 2.5 | 1.4 | 1.3 | 0.8 | 0.5 | 4.4 | 1.1 |
| | 40～44 歳 | (n=1,107) | 38.3 | 23.3 | 11.3 | 5.5 | 4.8 | 3.5 | 4.8 | 2.0 | 1.2 | 0.8 | 0.5 | 3.0 | 1.0 |

性・地域別にみると（図表 3-8-3）、「職場や仕事の関係で」は、女性の山城北居住者で 40.2％と、他の性・地域層より多い。一方、「友人や兄弟姉妹を通じて」知り合ったという者は、男性の丹後居住者（35.1％）に多くなっている。

**図表 3-8-3　結婚相手と知り合ったきっかけ（性・地域別）**

(%)

| | | | 職場や仕事の関係で | 友人や兄弟姉妹を通じて | 同じ学校に在学して | 学校以外のサークル活動やクラブ活動・習いごとで | アルバイトで | 街なかや旅先で | 見合いで（親せき・上司などの紹介を含む） | 結婚相談所で | 幼なじみ・隣人関係 | 居住都道府県内の婚活イベントで | 居住都道府県外の婚活イベントで | その他 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全体 | | (n=4,725) | 34.4 | 26.6 | 13.5 | 5.1 | 4.5 | 4.0 | 2.6 | 1.5 | 1.4 | 0.8 | 0.3 | 4.2 | 1.2 |
| 男性 | 京都市 | (n=523) | 32.0 | 25.9 | 15.7 | 5.9 | 4.2 | 5.3 | 1.7 | 1.9 | 1.1 | 0.6 | 0.2 | 4.6 | 0.8 |
| 男性 | 丹後 | (n=218) | 24.0 | 35.1 | 13.9 | 7.4 | 0.9 | 3.5 | 5.2 | 0.7 | 2.3 | 2.0 | － | 4.5 | 0.6 |
| 男性 | 中丹 | (n=167) | 31.6 | 26.6 | 10.7 | 6.6 | 3.0 | 3.3 | 5.4 | 2.8 | 1.6 | － | 0.8 | 5.4 | 2.2 |
| 男性 | 南丹 | (n=129) | 30.0 | 29.6 | 16.1 | 3.4 | 4.9 | 1.2 | 4.1 | 1.2 | 2.4 | 2.2 | － | 2.4 | 2.4 |
| 男性 | 乙訓 | (n=147) | 34.6 | 21.2 | 17.7 | 5.2 | 5.2 | 3.0 | 0.6 | 1.6 | 0.7 | 1.1 | － | 9.0 | － |
| 男性 | 学研都市 | (n=180) | 32.3 | 25.7 | 14.4 | 4.4 | 4.2 | 2.6 | 2.8 | 4.5 | 2.2 | 1.2 | － | 4.3 | 1.3 |
| 男性 | 相楽東部 | (n=78) | 28.4 | 31.4 | 13.2 | 5.4 | 1.5 | 2.4 | 3.0 | 1.0 | 2.4 | 1.5 | － | 8.3 | 1.5 |
| 男性 | 山城北 | (n=240) | 29.8 | 30.0 | 15.7 | 4.1 | 6.1 | 6.3 | 0.9 | 0.9 | 0.1 | 0.4 | 0.4 | 2.9 | 2.3 |
| 女性 | 京都市 | (n=922) | 36.8 | 25.0 | 12.9 | 5.1 | 4.8 | 4.2 | 2.6 | 1.3 | 1.0 | 0.7 | 0.3 | 4.2 | 1.0 |
| 女性 | 丹後 | (n=334) | 29.5 | 30.5 | 13.7 | 2.4 | 2.6 | 3.2 | 7.1 | 0.4 | 4.0 | 1.0 | － | 4.2 | 1.5 |
| 女性 | 中丹 | (n=268) | 32.5 | 32.5 | 12.9 | 4.3 | 2.0 | 3.0 | 3.4 | 0.9 | 1.7 | 2.6 | － | 3.4 | 0.9 |
| 女性 | 南丹 | (n=242) | 29.7 | 32.6 | 11.7 | 3.0 | 4.6 | 1.5 | 3.0 | 0.1 | 3.5 | 2.5 | － | 6.6 | 1.3 |
| 女性 | 乙訓 | (n=294) | 37.2 | 26.1 | 11.1 | 4.0 | 5.7 | 3.1 | 3.3 | 2.3 | 1.2 | 0.6 | 0.1 | 3.5 | 1.7 |
| 女性 | 学研都市 | (n=335) | 35.2 | 30.0 | 10.3 | 4.0 | 6.5 | 2.5 | 3.0 | 1.2 | 1.3 | 0.4 | 1.2 | 2.5 | 2.0 |
| 女性 | 相楽東部 | (n=117) | 26.5 | 30.2 | 13.3 | 3.0 | 2.7 | 2.7 | 9.6 | 2.0 | 3.0 | 1.0 | 0.7 | 4.4 | 0.7 |
| 女性 | 山城北 | (n=460) | 40.2 | 24.0 | 12.5 | 5.6 | 3.8 | 3.4 | 2.0 | 1.2 | 2.2 | 0.1 | 0.3 | 3.5 | 1.2 |

性・就労状況別にみると（図表 3-8-4）、「職場や仕事の関係で」は女性の正規雇用者（40.2%）と非正規雇用者（37.7%）に多くあげられている。「同じ学校に在学して」は、男性の自営業や内職を含むその他有職（17.0%）と正規雇用者（15.4%）にやや多くあげられている。

**図表 3-8-4　結婚相手と知り合ったきっかけ（性・就労状況別）**

(%)

| | | | 職場や仕事の関係で | 友人や兄弟姉妹を通じて | 同じ学校に在学して | 学校以外のサークル活動やクラブ活動・習いごとで | アルバイトで | 街なかや旅先で | 見合いで（親せき・上司などの紹介を含む） | 結婚相談所で | 幼なじみ・隣人関係 | 居住都道府県内の婚活イベントで | 居住都道府県外の婚活イベントで | その他 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全体 | | (n=4,725) | 34.4 | 26.6 | 13.5 | 5.1 | 4.5 | 4.0 | 2.6 | 1.5 | 1.4 | 0.8 | 0.3 | 4.2 | 1.2 |
| 男性 | 正規雇用 | (n=1,277) | 30.8 | 27.0 | 15.4 | 6.0 | 4.8 | 4.2 | 2.1 | 2.0 | 1.1 | 0.5 | 0.2 | 4.8 | 1.1 |
| 男性 | 非正規雇用 | (n=117) | 35.5 | 23.9 | 10.5 | 2.6 | 4.5 | 4.5 | 3.0 | 2.4 | 1.8 | － | 1.8 | 6.3 | 3.3 |
| 男性 | その他有職 | (n=264) | 30.0 | 28.3 | 17.0 | 4.0 | 2.5 | 8.1 | 2.2 | 1.5 | 1.6 | 1.4 | － | 2.9 | 0.5 |
| 男性 | 学生 | (n=2) | 100.0 | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － |
| 男性 | その他無職 | (n=21) | 41.7 | 22.3 | 8.5 | 11.8 | 7.9 | 7.9 | － | － | － | － | － | － | － |
| 女性 | 正規雇用 | (n=752) | 40.2 | 23.5 | 12.9 | 5.2 | 3.7 | 3.9 | 2.0 | 1.1 | 0.8 | 1.2 | 0.2 | 4.3 | 1.1 |
| 女性 | 非正規雇用 | (n=1,129) | 37.7 | 25.5 | 12.8 | 3.9 | 5.7 | 3.6 | 2.3 | 1.1 | 1.8 | 0.5 | 0.4 | 3.8 | 0.9 |
| 女性 | その他有職 | (n=259) | 32.4 | 28.4 | 10.2 | 6.0 | 4.6 | 3.6 | 6.0 | 0.4 | 0.4 | 0.9 | － | 6.6 | 0.6 |
| 女性 | 学生 | (n=8) | － | 58.9 | 15.6 | － | － | 2.4 | － | － | － | － | － | 23.1 | － |
| 女性 | その他無職 | (n=829) | 32.2 | 29.5 | 12.6 | 5.0 | 3.9 | 3.5 | 3.5 | 1.7 | 1.9 | 0.9 | 0.5 | 3.2 | 1.7 |

性・職種別にみると（図表 3-8-5）、「職場や仕事の関係で」知り合ったという者は、男性のサービス職（49.1%）で半数近い。「友人や兄弟姉妹を通じて」という者は、男性では農林漁業（38.6%）、生産工程・労務職（35.1%）、保安職（33.0%）など多くなっている。また、女性の中では専門職（29.9%）で3割である。

一方、「同じ学校に在学して」知り合ったという者は、男性の専門職（24.6%）と管理職（23.2%）で2割を上回っている。

図表 3-8-5　結婚相手と知り合ったきっかけ（性・職種別）

(%)

| | | | 職場や仕事の関係で | 友人や兄弟姉妹を通じて | 同じ学校に在学して | 学校以外のサークル活動やクラブ活動・習いごとで | アルバイトで | 街なかや旅先で | 見合いで（親せき・上司などの紹介を含む） | 結婚相談所で | 幼なじみ・隣人関係 | 居住都道府県内の婚活イベントで | 居住都道府県外の婚活イベントで | その他 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全体 | | (n=4,725) | 34.4 | 26.6 | 13.5 | 5.1 | 4.5 | 4.0 | 2.6 | 1.5 | 1.4 | 0.8 | 0.3 | 4.2 | 1.2 |
| 男性 | 農林漁業 | (n=54) | 20.8 | 38.6 | 20.1 | 4.6 | 0.7 | 2.7 | 4.1 | – | 0.8 | – | – | 7.7 | – |
| 男性 | 生産工程・労務職 | (n=438) | 23.4 | 35.1 | 11.5 | 4.6 | 3.7 | 5.9 | 2.1 | 1.8 | 1.7 | 0.1 | 0.5 | 7.7 | 1.8 |
| 男性 | サービス職 | (n=175) | 49.1 | 21.2 | 8.0 | 5.0 | 4.0 | 3.9 | 0.7 | 1.1 | 2.9 | 0.6 | 0.5 | 3.0 | 0.1 |
| 男性 | 保安職 | (n=74) | 22.2 | 33.0 | 8.0 | 7.7 | 6.4 | 8.7 | 3.7 | 2.3 | – | 0.8 | 1.3 | 6.0 | – |
| 男性 | 販売職 | (n=201) | 33.5 | 25.3 | 13.4 | 6.5 | 5.4 | 4.4 | 2.7 | 1.1 | 1.7 | 1.7 | – | 3.3 | 1.2 |
| 男性 | 事務職 | (n=218) | 39.2 | 27.2 | 14.0 | 2.4 | 5.5 | 3.8 | 3.0 | 2.8 | 0.9 | – | – | 1.3 | – |
| 男性 | 管理職 | (n=126) | 31.3 | 26.3 | 23.2 | 3.0 | 3.2 | 3.1 | 1.3 | 3.8 | – | 1.6 | – | 2.9 | 0.3 |
| 男性 | 専門職 | (n=330) | 25.8 | 20.4 | 24.6 | 8.5 | 4.2 | 4.3 | 2.5 | 1.7 | 0.2 | 0.6 | – | 4.7 | 2.6 |
| 男性 | その他 | (n=14) | 54.8 | 14.0 | 12.4 | – | 6.3 | – | – | 12.5 | – | – | – | – | – |
| 女性 | 農林漁業 | (n=30) | 28.4 | 24.6 | 5.5 | 1.4 | 18.4 | – | 20.4 | 1.4 | – | – | – | – | – |
| 女性 | 生産工程・労務職 | (n=234) | 38.7 | 23.6 | 12.8 | 3.8 | 5.2 | 4.6 | 3.4 | – | 1.4 | 1.4 | – | 4.7 | 0.4 |
| 女性 | サービス職 | (n=400) | 40.8 | 25.1 | 12.1 | 2.3 | 5.5 | 3.0 | 1.8 | 0.7 | 1.6 | – | 0.5 | 5.4 | 1.3 |
| 女性 | 保安職 | (n=8) | 75.5 | – | 2.4 | 22.1 | – | – | – | – | – | – | – | – | – |
| 女性 | 販売職 | (n=231) | 39.6 | 21.0 | 9.6 | 7.7 | 8.2 | 2.9 | 1.3 | 0.1 | 2.6 | 1.3 | 0.5 | 4.4 | 0.9 |
| 女性 | 事務職 | (n=571) | 42.5 | 23.4 | 12.8 | 4.4 | 3.8 | 2.6 | 2.3 | 1.0 | 0.7 | 0.9 | 0.1 | 4.9 | 0.5 |
| 女性 | 管理職 | (n=15) | 16.7 | 25.6 | 22.9 | 13.2 | – | 7.5 | 14.2 | – | – | – | – | – | – |
| 女性 | 専門職 | (n=571) | 30.9 | 29.9 | 14.9 | 4.9 | 4.1 | 4.4 | 3.2 | 1.5 | 1.0 | 0.9 | 0.4 | 2.5 | 1.3 |
| 女性 | その他 | (n=12) | 15.7 | 25.2 | 2.6 | 3.4 | – | 34.6 | – | – | – | – | – | 13.6 | 4.9 |

さらに、性・初婚年齢別にみると（図表 3-8-6）、男性では初婚年齢の高い層ほど「職場や仕事の関係で」知り合ったという者が多くなる傾向があり、35～39 歳では 35.7%である。一方、女性でも、20 歳未満で最初に結婚した者は「友人や兄弟姉妹を通じて」知り合ったという者（36.4%）が 4 割近いが、20 歳以上になると 4 割近くが「職場や仕事の関係で」知り合ったと回答している。

男性の 35～39 歳では、「見合いで（親せき・上司などの紹介を含む）」（10.1%）という者も 1 割である。

図表 3-8-6　結婚相手と知り合ったきっかけ（性・初婚年齢別）

(%)

| | | | 職場や仕事の関係で | 友人や兄弟姉妹を通じて | 同じ学校に在学して | 学校以外のサークル活動やクラブ活動・習いごとで | アルバイトで | 街なかや旅先で | 見合いで（親せき・上司などの紹介を含む） | 結婚相談所で | 幼なじみ・隣人関係 | 居住都道府県内の婚活イベントで | 居住都道府県外の婚活イベントで | その他 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全体 | | (n=4,725) | 34.4 | 26.6 | 13.5 | 5.1 | 4.5 | 4.0 | 2.6 | 1.5 | 1.4 | 0.8 | 0.3 | 4.2 | 1.2 |
| 男性 | 20 歳未満 | (n=20) | 23.0 | 30.2 | 18.8 | － | 7.3 | 7.1 | － | － | － | － | － | 7.4 | 6.1 |
| | 20 ～ 24 歳 | (n=281) | 27.9 | 21.7 | 25.0 | 5.0 | 8.8 | 3.7 | － | 0.3 | 2.3 | － | － | 4.9 | 0.5 |
| | 25 ～ 29 歳 | (n=806) | 31.3 | 26.5 | 18.4 | 5.8 | 5.4 | 4.9 | 0.7 | 0.4 | 0.8 | 0.9 | 0.5 | 2.9 | 1.4 |
| | 30 ～ 34 歳 | (n=407) | 30.6 | 30.0 | 8.6 | 6.8 | 1.7 | 5.4 | 2.9 | 4.1 | 1.3 | 0.7 | － | 7.0 | 0.9 |
| | 35 ～ 39 歳 | (n=132) | 35.7 | 30.2 | 1.5 | 2.7 | 0.3 | 3.9 | 10.1 | 8.1 | 0.1 | 0.9 | － | 6.4 | － |
| | 40 ～ 44 歳 | (n=17) | 49.5 | 3.6 | － | － | － | － | 31.3 | 4.7 | 10.9 | － | － | － | － |
| 女性 | 20 歳未満 | (n=62) | 26.5 | 36.4 | 14.4 | 2.8 | 6.4 | 5.2 | 0.1 | － | 4.8 | － | － | 3.4 | － |
| | 20 ～ 24 歳 | (n=850) | 36.6 | 24.3 | 14.0 | 3.0 | 8.3 | 4.5 | 1.5 | 0.7 | 1.4 | 0.1 | － | 4.5 | 1.3 |
| | 25 ～ 29 歳 | (n=1,429) | 36.3 | 26.6 | 14.3 | 5.8 | 4.0 | 3.2 | 2.4 | 0.7 | 1.4 | 0.9 | 0.2 | 3.5 | 0.7 |
| | 30 ～ 34 歳 | (n=486) | 37.8 | 27.2 | 8.7 | 4.9 | 1.9 | 4.0 | 4.6 | 2.2 | 1.1 | 1.4 | 1.0 | 4.4 | 0.8 |
| | 35 ～ 39 歳 | (n=120) | 35.6 | 28.5 | 4.3 | 4.9 | 1.3 | 2.6 | 6.9 | 4.1 | 2.1 | 1.5 | 1.5 | 6.7 | － |
| | 40 ～ 44 歳 | (n=13) | 19.2 | 14.2 | 11.4 | 0.3 | － | 5.5 | 30.7 | 10.1 | － | 8.6 | － | － | － |

## （９）結婚相手との育児以外の家事分担

【現在結婚しているか、結婚の経験のある方（問２５で「１」「２」と答えた方）にお聞きします。】

問３３　あなたの結婚相手との、育児以外の家事の分担はどのようにしていますか（していましたか）。全体を 100%としてお答えください。

図表 3-9-1

(%)

| | | 0% | 1～9% | 10%台 | 20%台 | 30%台 | 40%台 | 50%台 | 60%台 | 70%台 | 80%台 | 90%台 | 100% | 無回答 | 平均（%） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全　体 | (n=4,725) | 2.2 | 4.6 | 9.9 | 6.5 | 6.8 | 3.2 | 7.4 | 3.8 | 7.5 | 12.3 | 24.0 | 10.2 | 1.7 | 60.6 |
| 男　性 | (n=1,690) | 5.9 | 11.5 | 25.9 | 17.2 | 17.3 | 7.7 | 9.9 | 0.9 | 0.8 | 0.6 | 0.5 | 0.4 | 1.4 | 22.8 |
| 女　性 | (n=2,998) | 0.2 | 0.6 | 0.9 | 0.5 | 0.9 | 0.6 | 6.1 | 5.4 | 11.2 | 19.0 | 37.2 | 15.5 | 1.8 | 81.8 |

既婚者（4,725 人）の結婚相手との育児以外の家事の分担割合を聞いたところ（図表 3-9-1）、全体では「90%台」が 24.0%、「80%台」が 12.3%、「100%」が 10.2%と続き、回答が分散している。平均すると 60.6%である。

男女別にみると（図表 3-9-1）、男性では「10%台」が 25.9%で最も多く、次いで「20%台」（17.2%）と「30%台」（17.3%）がほぼ並び、平均すると 22.8%となっている。これに対して、女性では「90%台」が 37.2%で最も多く、次いで「80%台」が 19.0%、「100%」が 15.5%で、平均すると 81.8%の家事を分担しており、男女差が大きい。

〈参考：全国調査〉

全国調査の既婚者（793 人）の結婚相手との育児以外の家事の分担の割合は、平均すると 58.5%である。

男女別にみると、男性は「10%台」（25.4%）、「30%台」（21.2%）、「20%台」（18.5%）の順で平均 23.5%である。一方、女性は「90%台」が 37.8%、「80%台」が 21.4%で、平均 84.1%となっており、府民調査よりやや男女差が大きい。

参考 3-9　結婚相手との育児以外の家事分担

(%)

| | | 0% | 1～9% | 10%台 | 20%台 | 30%台 | 40%台 | 50%台 | 60%台 | 70%台 | 80%台 | 90%台 | 100% | 無回答 | 平均（%） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全　体 | (n=793) | 1.3 | 5.2 | 11.0 | 8.2 | 9.6 | 4.2 | 4.7 | 2.1 | 7.6 | 12.5 | 22.4 | 10.5 | 0.9 | 58.5 |
| 男　性 | (n=335) | 3.0 | 11.9 | 25.4 | 18.5 | 21.2 | 8.1 | 7.2 | 0.9 | 0.9 | 0.3 | 1.5 | 0.3 | 0.9 | 23.5 |
| 女　性 | (n=458) | － | 0.2 | 0.4 | 0.7 | 1.1 | 1.3 | 2.8 | 3.1 | 12.4 | 21.4 | 37.8 | 17.9 | 0.9 | 84.1 |

性・年代別にみると（図表 3-9-2）、男性では 25～29 歳の年代では「20%台」もしくは「30%台」という者が、ともに 22.1%で最も多いが、30 歳以上になると「10%台」という者が多くなっている。これに対して女性では、年代の高い層ほど家事分担比率が高く、35 歳以上では「100%」家事を分担しているという者（35～39 歳 17.8%、40～44 歳 18.5%）が 2 割近くなっている。

図表 3-9-2　結婚相手との育児以外の家事分担（性・年代別）

(%)

| | | | 0% | 1～9% | 10%台 | 20%台 | 30%台 | 40%台 | 50%台 | 60%台 | 70%台 | 80%台 | 90%台 | 100% | 無回答 | 平均（%） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全体 | | (n=4,725) | 2.2 | 4.6 | 9.9 | 6.5 | 6.8 | 3.2 | 7.4 | 3.8 | 7.5 | 12.3 | 24.0 | 10.2 | 1.7 | 60.6 |
| 男性 | 20～24 歳 | (n=14) | 19.9 | － | 13.1 | 30.2 | － | － | 11.3 | － | － | － | － | － | 25.5 | 20.1 |
| 男性 | 25～29 歳 | (n=124) | 5.5 | 8.2 | 19.5 | 22.1 | 22.1 | 7.9 | 11.8 | － | － | 1.5 | 1.1 | 0.0 | 0.2 | 25.4 |
| 男性 | 30～34 歳 | (n=342) | 5.4 | 9.1 | 29.7 | 18.3 | 15.8 | 7.6 | 10.2 | 0.7 | － | 0.3 | 1.6 | 0.5 | 0.9 | 22.9 |
| 男性 | 35～39 歳 | (n=517) | 6.1 | 14.2 | 24.0 | 17.9 | 17.3 | 8.6 | 8.2 | 1.0 | 0.9 | 0.5 | 0.4 | 0.3 | 0.7 | 22.0 |
| 男性 | 40～44 歳 | (n=686) | 5.9 | 11.1 | 26.9 | 15.1 | 17.4 | 7.3 | 10.7 | 1.1 | 1.3 | 0.6 | 0.0 | 0.6 | 2.0 | 23.1 |
| 女性 | 20～24 歳 | (n=48) | 3.9 | － | － | － | 0.3 | 5.5 | 3.4 | 6.4 | 5.1 | 25.4 | 36.7 | 8.7 | 4.6 | 79.1 |
| 女性 | 25～29 歳 | (n=296) | 0.0 | － | － | 0.6 | 0.9 | 0.6 | 9.2 | 7.6 | 15.3 | 17.7 | 35.5 | 10.3 | 2.1 | 79.8 |
| 女性 | 30～34 歳 | (n=604) | － | 0.0 | 0.6 | 0.5 | 0.1 | 0.8 | 7.8 | 8.1 | 13.1 | 20.5 | 37.2 | 9.8 | 1.5 | 80.6 |
| 女性 | 35～39 歳 | (n=934) | 0.3 | 1.0 | 1.0 | 0.7 | 0.6 | 0.4 | 5.3 | 4.5 | 11.7 | 18.4 | 36.4 | 17.8 | 1.7 | 82.1 |
| 女性 | 40～44 歳 | (n=1,107) | 0.1 | 0.8 | 1.1 | 0.4 | 1.6 | 0.5 | 5.2 | 4.0 | 8.9 | 18.8 | 38.4 | 18.5 | 1.8 | 82.9 |

性・地域別にみると（図表 3-9-3）、女性では、相楽東部居住者の家事分担比率が平均 77.1％と、他の地域に比べやや軽くなっているが、いずれの地域でも 8 割前後と育児以外の家事の大部分を分担している。これに対して、男性では乙訓居住者の 25.2％、丹後居住者の 25.0％と、最大でも 4 分の 1 程度の分担にとどまっている。

図表 3-9-3　結婚相手との育児以外の家事分担（性・地域別）

(%)

| | | | 0% | 1～9% | 10%台 | 20%台 | 30%台 | 40%台 | 50%台 | 60%台 | 70%台 | 80%台 | 90%台 | 100% | 無回答 | 平均（%） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全体 | | (n=4,725) | 2.2 | 4.6 | 9.9 | 6.5 | 6.8 | 3.2 | 7.4 | 3.8 | 7.5 | 12.3 | 24.0 | 10.2 | 1.7 | 60.6 |
| 男性 | 京都市 | (n=523) | 6.4 | 10.4 | 26.0 | 18.0 | 16.9 | 6.9 | 10.7 | 0.8 | 1.0 | 0.8 | 0.4 | 0.6 | 1.2 | 23.1 |
| 男性 | 丹後 | (n=218) | 4.8 | 9.4 | 19.2 | 20.1 | 23.6 | 7.9 | 8.2 | 1.4 | 0.3 | 0.7 | 2.3 | 0.1 | 2.0 | 25.0 |
| 男性 | 中丹 | (n=167) | 8.8 | 9.4 | 21.8 | 21.6 | 16.9 | 8.2 | 7.8 | 1.0 | 0.7 | － | 0.8 | － | 3.0 | 21.9 |
| 男性 | 南丹 | (n=129) | 7.6 | 17.7 | 18.5 | 14.5 | 14.4 | 6.8 | 12.3 | 3.9 | 1.0 | 0.5 | 0.5 | 0.2 | 2.1 | 23.5 |
| 男性 | 乙訓 | (n=147) | 2.3 | 15.8 | 21.6 | 16.5 | 21.0 | 8.8 | 9.6 | － | － | － | 2.5 | 1.8 | 0.2 | 25.2 |
| 男性 | 学研都市 | (n=180) | 6.8 | 11.8 | 30.9 | 12.7 | 16.3 | 9.7 | 7.9 | 2.0 | 1.3 | 0.6 | － | － | － | 21.8 |
| 男性 | 相楽東部 | (n=78) | 6.8 | 10.3 | 30.9 | 13.3 | 11.2 | 5.8 | 10.8 | 3.0 | 2.5 | － | 1.0 | 1.5 | 3.0 | 24.1 |
| 男性 | 山城北 | (n=240) | 3.3 | 13.7 | 29.9 | 14.5 | 17.5 | 9.2 | 8.8 | － | 0.1 | 0.4 | － | － | 2.4 | 21.1 |
| 女性 | 京都市 | (n=922) | 0.1 | 0.8 | 0.7 | 0.4 | 0.3 | 0.4 | 7.2 | 6.1 | 11.5 | 16.7 | 37.1 | 17.2 | 1.5 | 82.1 |
| 女性 | 丹後 | (n=334) | 0.6 | 0.1 | 1.7 | 1.1 | 0.7 | 0.2 | 4.9 | 5.3 | 14.5 | 16.6 | 36.3 | 15.5 | 2.5 | 81.0 |
| 女性 | 中丹 | (n=268) | 0.2 | 0.4 | 0.9 | 1.3 | 1.5 | 0.4 | 4.6 | 4.2 | 13.5 | 23.6 | 34.5 | 12.8 | 2.0 | 80.7 |
| 女性 | 南丹 | (n=242) | 0.1 | 0.8 | 0.8 | 0.4 | 1.2 | 1.1 | 4.4 | 4.8 | 7.6 | 21.4 | 39.2 | 16.1 | 2.0 | 82.8 |
| 女性 | 乙訓 | (n=294) | － | － | 0.1 | 1.1 | 1.0 | 1.4 | 4.6 | 5.1 | 9.6 | 22.2 | 40.7 | 11.8 | 2.4 | 82.5 |
| 女性 | 学研都市 | (n=335) | 0.6 | 0.2 | 0.9 | 0.3 | 0.9 | 0.7 | 5.8 | 5.4 | 11.5 | 23.0 | 38.0 | 11.0 | 1.6 | 81.1 |
| 女性 | 相楽東部 | (n=117) | － | 1.7 | 1.0 | 2.1 | 1.7 | 1.0 | 8.9 | 4.7 | 9.2 | 28.2 | 29.5 | 11.2 | 0.7 | 77.1 |
| 女性 | 山城北 | (n=460) | 0.0 | 0.7 | 1.9 | 0.3 | 2.5 | 1.0 | 3.9 | 3.5 | 10.1 | 22.0 | 37.3 | 14.3 | 2.5 | 81.4 |

性・就労状況別にみると（図表 3-9-4）、女性は、学生以外のその他無職で、育児以外の家事分担が平均 86.1％と他の就労状況に比べ高い。一方、女性の正規雇用者では 74.7％で、女性の中ではやや軽くなっている。

これに対して、男性では就労状況による差はみられない。

**図表 3-9-4　結婚相手との育児以外の家事分担（性・就労状況別）**

(%)

| | | | 0% | 1～9% | 10%台 | 20%台 | 30%台 | 40%台 | 50%台 | 60%台 | 70%台 | 80%台 | 90%台 | 100% | 無回答 | 平均（%） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全体 | | (n=4,725) | 2.2 | 4.6 | 9.9 | 6.5 | 6.8 | 3.2 | 7.4 | 3.8 | 7.5 | 12.3 | 24.0 | 10.2 | 1.7 | 60.6 |
| 男性 | 正規雇用 | (n=1,277) | 4.7 | 11.5 | 27.3 | 18.0 | 19.0 | 7.4 | 8.4 | 0.7 | 0.9 | 0.4 | 0.6 | 0.1 | 1.2 | 22.3 |
| 男性 | 非正規雇用 | (n=117) | 11.1 | 2.9 | 21.5 | 24.0 | 6.1 | 9.9 | 14.9 | 0.2 | 0.1 | 0.9 | 0.6 | 1.9 | 6.1 | 25.3 |
| 男性 | その他有職 | (n=264) | 10.5 | 16.9 | 22.1 | 11.1 | 12.1 | 6.5 | 13.9 | 2.2 | 0.9 | 1.4 | 0.4 | 1.4 | 0.6 | 23.6 |
| 男性 | 学生 | (n=2) | 49.3 | － | － | － | 50.7 | － | － | － | － | － | － | － | － | 15.2 |
| 男性 | その他無職 | (n=21) | － | － | 20.4 | 14.1 | 18.0 | 16.4 | 29.5 | － | － | 1.6 | － | － | － | 32.8 |
| 女性 | 正規雇用 | (n=752) | 0.3 | 0.5 | 0.4 | 0.4 | 1.3 | 1.4 | 12.9 | 11.6 | 17.0 | 18.4 | 25.0 | 8.5 | 2.3 | 74.7 |
| 女性 | 非正規雇用 | (n=1,129) | － | 0.7 | 1.0 | 0.9 | 1.1 | 0.5 | 4.5 | 3.3 | 12.2 | 20.9 | 36.1 | 17.0 | 1.6 | 82.4 |
| 女性 | その他有職 | (n=259) | 1.0 | 0.1 | 1.3 | 1.0 | － | 0.1 | 5.4 | 6.8 | 3.8 | 20.4 | 42.5 | 15.9 | 1.7 | 83.2 |
| 女性 | 学生 | (n=8) | － | － | － | － | － | － | － | － | 45.5 | － | 23.0 | 31.5 | － | 84.1 |
| 女性 | その他無職 | (n=829) | 0.0 | 0.8 | 1.0 | － | 0.6 | 0.3 | 3.2 | 3.0 | 7.3 | 16.3 | 47.1 | 18.9 | 1.6 | 86.1 |

性・共働き状況別にみると（図表 3-9-5）、男性で妻が正規雇用者の共働きの場合は、家事分担が「30％台」（22.4％）という者が最も多く、平均 29.6％と、男性の中では最も家事分担比率が高くなっている。これに対して、片働きでは、家事分担が「10％台」（31.7％）という者が 3 割を上回り、平均 17.2％の分担にとどまっている。

一方、女性では、自身が正規雇用である共働きの場合でも平均 73.8％は家事を分担しており、男性に比べ負担が大きい。夫婦共働きの場合も、女性が正規雇用者以外の場合は家事分担の平均が 80％以上である。

**図表 3-9-5　結婚相手との育児以外の家事分担（性・共働き状況別）**

(%)

| | | | 0% | 1～9% | 10%台 | 20%台 | 30%台 | 40%台 | 50%台 | 60%台 | 70%台 | 80%台 | 90%台 | 100% | 無回答 | 平均（%） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全体 | | (n=4,357) | 2.3 | 4.9 | 10.5 | 6.7 | 6.8 | 3.1 | 7.5 | 3.9 | 7.7 | 12.5 | 23.9 | 8.9 | 1.5 | 59.5 |
| 男性 | 共働き（計） | (n=1,039) | 3.8 | 9.7 | 24.3 | 18.3 | 19.0 | 9.5 | 11.5 | 0.9 | 1.1 | 0.6 | 0.7 | 0.3 | 0.4 | 24.8 |
| 男性 | 妻正規 | (n=382) | 2.5 | 5.2 | 18.4 | 15.8 | 22.4 | 14.7 | 17.0 | 0.9 | 1.2 | 0.5 | 0.6 | 0.5 | 0.2 | 29.6 |
| 男性 | 妻非正規 | (n=503) | 3.3 | 11.8 | 28.9 | 21.4 | 18.1 | 5.1 | 7.1 | 0.4 | 1.2 | 0.8 | 0.9 | 0.2 | 0.6 | 21.9 |
| 男性 | 妻役員・自営 | (n=41) | 2.3 | 22.7 | 12.5 | 16.3 | 20.1 | 13.5 | 11.7 | － | 0.9 | － | － | － | － | 23.5 |
| 男性 | 妻その他 | (n=113) | 12.3 | 10.2 | 28.2 | 12.7 | 9.8 | 10.6 | 13.2 | 3.1 | 0.1 | － | － | － | － | 21.6 |
| 男性 | 片働き | (n=509) | 9.9 | 17.2 | 31.7 | 15.1 | 14.0 | 3.9 | 5.3 | 0.5 | 0.0 | 0.3 | － | 0.7 | 1.4 | 17.2 |
| 女性 | 共働き（計） | (n=1,860) | 0.2 | 0.3 | 1.0 | 0.9 | 1.1 | 0.6 | 7.9 | 7.3 | 13.3 | 21.0 | 33.5 | 12.0 | 0.9 | 79.3 |
| 女性 | 妻正規 | (n=644) | 0.3 | 0.0 | 0.4 | 0.5 | 1.3 | 1.0 | 14.0 | 13.3 | 18.2 | 19.9 | 24.4 | 5.6 | 1.1 | 73.8 |
| 女性 | 妻非正規 | (n=985) | － | 0.6 | 1.2 | 1.1 | 1.2 | 0.4 | 4.6 | 3.6 | 12.3 | 21.8 | 36.8 | 15.6 | 1.0 | 82.0 |
| 女性 | 妻役員・自営 | (n=81) | 1.3 | 0.3 | － | － | － | － | 11.0 | 12.0 | 4.1 | 17.6 | 43.5 | 10.3 | － | 81.1 |
| 女性 | 妻その他 | (n=150) | 1.1 | － | 2.3 | 1.8 | － | 0.1 | 3.3 | 4.8 | 4.3 | 22.0 | 45.0 | 15.2 | － | 83.1 |
| 女性 | 片働き | (n=781) | 0.0 | 1.1 | 1.0 | － | 0.7 | 0.6 | 3.3 | 2.8 | 8.1 | 16.7 | 47.2 | 17.3 | 1.1 | 85.2 |

性・子どもの人数別にみると（図表 3-9-6）、女性では子どもの人数が多くなるほど、育児以外の家事分担比率も高くなっているが、男性では子どもの人数による差はみられない。

図表 3-9-6　結婚相手との育児以外の家事分担（性・子どもの人数別）

(%)

| | | | 0% | 1～9% | 10%台 | 20%台 | 30%台 | 40%台 | 50%台 | 60%台 | 70%台 | 80%台 | 90%台 | 100% | 無回答 | 平均（%） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全体 | | (n=4,725) | 2.2 | 4.6 | 9.9 | 6.5 | 6.8 | 3.2 | 7.4 | 3.8 | 7.5 | 12.3 | 24.0 | 10.2 | 1.7 | 60.6 |
| 男性 | 子どもはいない | (n=299) | 4.2 | 5.3 | 19.8 | 16.1 | 21.7 | 9.3 | 18.7 | 1.4 | 0.7 | 1.6 | 0.3 | 0.2 | 0.6 | 28.8 |
| 男性 | 子ども1人 | (n=439) | 6.8 | 11.2 | 28.3 | 18.4 | 17.0 | 7.0 | 8.2 | 0.3 | 0.4 | 0.4 | 1.1 | 0.4 | 0.4 | 21.7 |
| 男性 | 2人 | (n=659) | 5.4 | 12.3 | 28.0 | 19.5 | 16.0 | 7.0 | 7.8 | 1.2 | 1.1 | 0.4 | 0.4 | 0.4 | 0.6 | 21.7 |
| 男性 | 3人以上 | (n=269) | 7.3 | 19.7 | 25.0 | 11.2 | 16.7 | 9.6 | 6.4 | 0.6 | 1.1 | － | 0.1 | 0.8 | 1.7 | 20.1 |
| 女性 | 子どもはいない | (n=479) | 0.1 | 0.1 | 0.1 | 0.0 | 0.8 | 0.5 | 10.0 | 10.6 | 13.1 | 19.3 | 33.0 | 10.5 | 1.8 | 79.2 |
| 女性 | 子ども1人 | (n=772) | 0.4 | 1.0 | 1.0 | 0.1 | 0.8 | 1.2 | 5.8 | 4.9 | 11.8 | 19.2 | 37.5 | 14.9 | 1.5 | 81.3 |
| 女性 | 2人 | (n=1,176) | － | 0.7 | 1.2 | 0.8 | 0.9 | 0.3 | 5.3 | 4.5 | 10.0 | 19.3 | 39.6 | 16.2 | 1.2 | 82.5 |
| 女性 | 3人以上 | (n=532) | 0.3 | 0.4 | 0.6 | 1.2 | 1.1 | 0.7 | 4.0 | 2.8 | 10.3 | 18.2 | 38.6 | 21.5 | 0.3 | 84.4 |

## （10）配偶者（パートナー）の職業

【現在結婚している方（問２５で「１」と答えた方）にお聞きします。
離別または死別した方は、１１ページの問３７にお進みください。】

問３４　あなたの配偶者（パートナー）の現在の仕事は、大きく分けてこの中のどれにあたりますか。あてはまるものを１つお選びください。

図表 3-10-1

(%)

| | | 正社員・正職員 | 非正規雇用（計） | 臨時雇用・パート・アルバイト | 派遣社員 | 契約社員、嘱託 | 経営者、役員 | 自営業主・自由業者 | 家族従業者 | 内職 | その他 | 無職（計） | 学生 | 無職（求職中） | 無職（求職中ではない） | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全体 | (n=4,357) | 56.9 | 15.0 | 11.4 | 1.1 | 2.6 | 3.0 | 6.8 | 2.0 | 0.7 | 0.1 | 13.7 | 0.3 | 2.3 | 11.0 | 1.7 |
| 男性 | (n=1,591) | 23.4 | 32.0 | 27.2 | 2.1 | 2.6 | 0.6 | 2.0 | 3.7 | 1.8 | 0.4 | 34.8 | 0.1 | 5.6 | 29.2 | 1.4 |
| 女性 | (n=2,733) | 76.3 | 5.1 | 2.1 | 0.5 | 2.5 | 4.4 | 9.7 | 1.1 | 0.1 | 0.0 | 1.5 | 0.5 | 0.5 | 0.5 | 1.9 |

事実婚を含み、現在結婚している者（4,357 人）の配偶者（パートナー）の職業を聞いたところ（図表 3-10-1）、「正社員・正職員」が 56.9%で最も多く、次いで「臨時雇用・パート・アルバイト」が 11.4%で、8 割以上の（パートナー）は何らかの仕事をしている（『有職』84.6%）。

一方、「無職（求職中ではない）」は 11.0%で、「無職（求職中）」（2.3%）、「学生」（0.3%）などを合わせると、『無職』が 13.7%となっている。

男女別にみると（図表 3-10-1）、男性の妻は、「臨時雇用・パート・アルバイト」が 27.2%で、「契約社員、嘱託」（2.6%）、「派遣社員」（2.1%）などを合わせた『非正規雇用』（32.0%）が 3 割を上回っている。専業主婦と考えられる「無職（求職中ではない）」が 29.2%となっている。一方、女性の夫では、「正社員・正職員」が 76.3%を占め、「自営業主・自由業者」（9.7%）、「経営者・役員」（4.4%）などを合わせた有職者が 9 割を上回っている。

夫婦の共働き状況としてみると（図表 3-10-2）、「妻が非正規雇用者の共働き」という者が 33.7%で最も多く、「妻が正規雇用者の共働き」夫婦が 22.3%である。「妻が役員・自営の共働き」（2.7%）などを合わせると、『夫婦共働き』（63.9%）の者は 6 割を上回っている。一方、「妻が無職の片働き」は 31.6%である。

男女別に大きな差はみられない。

**図表 3-10-2　夫婦の共働き状況（男女別）**

(%)

| | | 共働き（計） | 妻正規 | 妻非正規 | 妻役員・自営 | 妻その他 | 片働き（計） | 妻無職 | 夫婦共無職 | 不明・無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全体 | (n=4,357) | 63.9 | 22.3 | 33.7 | 2.7 | 5.3 | 32.5 | 31.6 | 0.6 | 2.9 |
| 男性 | (n=1,591) | 62.6 | 23.1 | 31.2 | 2.6 | 5.8 | 34.7 | 33.9 | 0.6 | 2.1 |
| 女性 | (n=2,733) | 65.2 | 21.9 | 35.4 | 2.8 | 5.0 | 31.5 | 30.5 | 0.6 | 2.7 |

〈参考：全国調査〉

全国調査では、『夫婦共働き』（67.2%）が 7 割近く、「妻が非正規雇用者の共働き」（40.1%）が 4 割で、府民調査より多くなっている。「妻が正規雇用者の共働き」は 18.6%で、府民調査より少ない。

参考 3-10　夫婦の共働き状況

(%)

| | | 共働き（計） | 妻正規 | 妻非正規 | 妻役員・自営 | 妻その他 | 片働き（計） | 妻無職 | 夫婦共無職 | 不明・無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全体 | (n=740) | 67.2 | 18.6 | 40.1 | 3.4 | 5.0 | 31.5 | 31.1 | 0.1 | 1.2 |
| 男性 | (n=320) | 64.1 | 19.1 | 34.4 | 4.4 | 6.3 | 34.7 | 34.1 | 0.3 | 0.9 |
| 女性 | (n=420) | 69.5 | 18.3 | 44.5 | 2.6 | 4.0 | 29.0 | 28.8 | － | 1.4 |

性・年代別に共働き状況をみると（図表 3-10-3）、男女とも、「妻が非正規雇用者の共働き」という者は年代が高くなるほど多くなっており、特に女性の 40～44 歳（43.2%）では 4 割を上回っている。このため、男女とも 40～44 歳で『夫婦共働き』（男性 66.6%、女性 70.4%）という者が、7 割前後と多くなる。「妻が正規雇用者の共働き」の割合は、男女とも 25～29 歳（男性 30.9%、女性 32.0%）と女性の 30～34 歳（27.9%）で 3 割前後と、他の年代より多くなっている。

一方、男性の 30～34 歳では、「妻が無職の片働き」が 40.1%である。

図表 3-10-3　夫婦の共働き状況（性・年代別）

(%)

| | | | 共働き（計） | 妻正規 | 妻非正規 | 妻役員・自営 | 妻その他 | 片働き（計） | 妻無職 | 夫婦共無職 | 不明・無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全体 | | (n=4,357) | 63.9 | 22.3 | 33.7 | 2.7 | 5.3 | 32.5 | 31.6 | 0.6 | 2.9 |
| 男性 | 20～24歳 | (n=13) | 25.6 | 4.1 | 21.5 | － | － | 55.0 | 55.0 | － | 19.4 |
| | 25～29歳 | (n=116) | 61.1 | 30.9 | 21.2 | 5.8 | 3.2 | 37.8 | 34.7 | 1.0 | 0.1 |
| | 30～34歳 | (n=328) | 58.8 | 24.5 | 27.6 | 2.0 | 4.7 | 40.1 | 40.1 | － | 1.1 |
| | 35～39歳 | (n=495) | 61.7 | 23.1 | 30.9 | 1.8 | 5.9 | 35.7 | 35.1 | 1.1 | 1.6 |
| | 40～44歳 | (n=633) | 66.6 | 21.4 | 35.3 | 2.9 | 7.1 | 29.9 | 28.9 | 0.4 | 3.0 |
| 女性 | 20～24歳 | (n=45) | 60.1 | 20.9 | 31.1 | － | 8.2 | 32.5 | 32.5 | － | 7.4 |
| | 25～29歳 | (n=278) | 63.2 | 32.0 | 28.0 | 1.5 | 1.7 | 33.1 | 32.3 | － | 3.7 |
| | 30～34歳 | (n=569) | 62.0 | 27.9 | 27.9 | 2.3 | 4.0 | 34.1 | 32.6 | 1.4 | 2.5 |
| | 35～39歳 | (n=862) | 62.9 | 20.5 | 34.7 | 2.7 | 5.0 | 33.0 | 32.2 | 0.9 | 3.3 |
| | 40～44歳 | (n=971) | 70.4 | 16.8 | 43.2 | 3.8 | 6.6 | 27.7 | 26.6 | 0.0 | 1.9 |

性・地域別にみると（図表 3-10-4）、「妻が正規雇用者の共働き」という者は、男女とも丹後居住者（男性 35.5%、女性 36.3%）で 3 割を上回って多く、この地域での『共働き』割合は男性 74.5%、女性 76.8%と、他の地域より高くなっている。一方、「妻が非正規雇用者の共働き」という者は、男性の乙訓居住者で 42.2%と多くなっている。これに対して、学研都市居住の男性では、「妻が無職の片働き」という者（41.3%）という者が、4 割を上回っている。

図表 3-10-4　夫婦の共働き状況（性・地域別）

(%)

| | | | 共働き（計） | 妻正規 | 妻非正規 | 妻役員・自営 | 妻その他 | 片働き（計） | 妻無職 | 夫婦共無職 | 不明・無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全体 | | (n=4,357) | 63.9 | 22.3 | 33.7 | 2.7 | 5.3 | 32.5 | 31.6 | 0.6 | 2.9 |
| 男性 | 京都市 | (n=503) | 61.2 | 23.9 | 28.8 | 2.9 | 5.6 | 36.4 | 35.2 | 0.6 | 1.8 |
| | 丹後 | (n=203) | 74.5 | 35.5 | 27.3 | 4.4 | 7.3 | 22.5 | 22.5 | 1.1 | 1.9 |
| | 中丹 | (n=153) | 62.2 | 18.2 | 33.0 | 2.0 | 9.1 | 34.7 | 33.9 | － | 3.1 |
| | 南丹 | (n=118) | 61.4 | 24.2 | 30.7 | 2.4 | 4.2 | 30.3 | 29.5 | 3.6 | 4.7 |
| | 乙訓 | (n=137) | 70.1 | 16.8 | 42.2 | 2.7 | 8.4 | 27.4 | 27.4 | 0.8 | 1.8 |
| | 学研都市 | (n=179) | 58.1 | 23.7 | 30.7 | 1.4 | 2.4 | 41.3 | 41.3 | － | 0.6 |
| | 相楽東部 | (n=74) | 72.1 | 17.1 | 27.3 | 4.2 | 23.5 | 26.3 | 24.8 | － | 1.6 |
| | 山城北 | (n=216) | 66.0 | 21.2 | 37.7 | 1.8 | 5.2 | 31.1 | 31.0 | 0.1 | 2.9 |
| 女性 | 京都市 | (n=841) | 62.2 | 20.5 | 33.2 | 3.4 | 5.2 | 33.8 | 32.3 | 0.9 | 3.1 |
| | 丹後 | (n=302) | 76.8 | 36.3 | 29.1 | 3.9 | 7.6 | 19.8 | 19.3 | － | 3.5 |
| | 中丹 | (n=239) | 72.3 | 26.6 | 39.6 | 2.2 | 4.0 | 24.6 | 24.1 | － | 3.1 |
| | 南丹 | (n=213) | 70.7 | 21.5 | 38.6 | 4.1 | 6.5 | 24.8 | 24.5 | 1.2 | 3.3 |
| | 乙訓 | (n=269) | 65.8 | 31.4 | 30.7 | 0.9 | 2.8 | 32.8 | 32.1 | － | 1.4 |
| | 学研都市 | (n=322) | 64.9 | 18.2 | 38.3 | 3.2 | 5.2 | 33.3 | 33.1 | － | 1.7 |
| | 相楽東部 | (n=105) | 70.1 | 14.4 | 37.8 | 6.4 | 11.4 | 24.3 | 22.0 | 0.7 | 4.9 |
| | 山城北 | (n=418) | 68.5 | 20.5 | 42.1 | 0.9 | 4.9 | 29.6 | 29.1 | 0.1 | 1.8 |

性・子どもの人数別にみると（図表 3-10-5）、子どものいない既婚者では、男女とも「妻が正規雇用者の共働き」（男性 36.7%、女性 33.5%）という者が、子どものいる既婚者より多く、『共働き』（同 77.1%、75.4%）が 7 割以上にのぼる。

一方、子どものいる既婚者でも『共働き』世帯は、男性で 6 割前後、女性では 6 割以上であるが、女性の者は子どもが 2 人以上の層で『共働き』の割合が高くなる。しかしながら、男女とも子どもが 2 人以上になると「妻が正規雇用者の共働き」という者が 1 割台となっている。

「妻が無職の片働き」という者は、子どもが 1～2 人の男性（1 人 38.8%、2 人 38.2%）に多くなっている。

図表 3-10-5　夫婦の共働き状況（性・子どもの人数別）

(%)

| | | | 共働き（計） | 妻正規 | 妻非正規 | 妻役員・自営 | 妻その他 | 片働き（計） | 妻無職 | 夫婦共無職 | 不明・無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全体 | | (n=4,357) | 63.9 | 22.3 | 33.7 | 2.7 | 5.3 | 32.5 | 31.6 | 0.6 | 2.9 |
| 男性 | 子どもはいない | (n=267) | 77.1 | 36.7 | 34.8 | 3.7 | 1.9 | 20.5 | 18.4 | 0.9 | 1.6 |
| 男性 | 子ども1人 | (n=409) | 59.0 | 22.7 | 27.6 | 3.9 | 4.8 | 39.7 | 38.8 | 0.3 | 1.1 |
| 男性 | 2人 | (n=634) | 59.8 | 19.4 | 32.5 | 1.1 | 6.7 | 38.4 | 38.2 | 0.9 | 0.9 |
| 男性 | 3人以上 | (n=260) | 61.8 | 18.0 | 30.9 | 2.8 | 10.1 | 34.2 | 33.3 | － | 4.0 |
| 女性 | 子どもはいない | (n=415) | 75.4 | 33.5 | 36.5 | 2.6 | 2.7 | 22.4 | 21.0 | 0.4 | 1.9 |
| 女性 | 子ども1人 | (n=689) | 60.3 | 24.5 | 28.6 | 3.0 | 4.1 | 36.0 | 35.3 | 0.5 | 3.1 |
| 女性 | 2人 | (n=1,099) | 65.8 | 18.4 | 39.4 | 2.5 | 5.5 | 32.1 | 31.2 | 0.6 | 1.5 |
| 女性 | 3人以上 | (n=494) | 64.2 | 15.7 | 37.3 | 3.7 | 7.4 | 33.0 | 32.0 | 0.9 | 2.0 |

性・育児以外の家事分担割合別にみると（図表 3-10-6）、男性は自身の分担割合が高いほど、女性は自身の分担割合が低いほど、「妻が正規雇用者の共働き」が多く、男女とも自身の分担割合が 40～59%の層（男性 43.2%、女性 47.3%）では 4 割を上回り、『共働き』（同 77.7%、79.6%）が 8 割近い。

これに対して、育児以外の家事を全く分担しない（0%）という男性では、「妻が無職の片働き」（57.8%）が 6 割近い。一方、女性で育児以外の家事を 100%分担しているという層では、「妻が非正規雇用者の共働き」（40.3%）と『片働き』（39.7%）に回答が 2 分されている。

図表 3-10-6　夫婦の共働き状況（性・育児以外の家事分担割合別）

(%)

| | | | 共働き（計） | 妻正規 | 妻非正規 | 妻役員・自営 | 妻その他 | 片働き（計） | 妻無職 | 夫婦共無職 | 不明・無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全体 | | (n=4,357) | 63.9 | 22.3 | 33.7 | 2.7 | 5.3 | 32.5 | 31.6 | 0.6 | 2.9 |
| 男性 | 0% | (n=101) | 39.8 | 9.8 | 17.1 | 1.0 | 11.9 | 57.8 | 57.8 | 1.9 | 0.4 |
| | 1～9% | (n=195) | 50.2 | 10.0 | 30.5 | 4.8 | 4.9 | 49.7 | 49.7 | – | 0.1 |
| | 10～19% | (n=420) | 56.8 | 15.9 | 33.6 | 1.2 | 6.1 | 41.0 | 40.6 | 0.7 | 1.5 |
| | 20～39% | (n=527) | 68.4 | 25.8 | 36.0 | 2.7 | 3.8 | 29.5 | 28.7 | 0.2 | 1.9 |
| | 40～59% | (n=276) | 77.7 | 43.2 | 22.6 | 3.8 | 8.1 | 18.8 | 17.0 | 1.2 | 2.2 |
| | 60～79% | (n=28) | 87.4 | 35.4 | 37.4 | 1.6 | 13.1 | 11.9 | 11.9 | – | 0.7 |
| | 80～89% | (n=8) | 75.1 | 24.4 | 50.7 | – | – | 24.9 | – | – | – |
| | 90～99% | (n=8) | 100.0 | 33.9 | 66.1 | – | – | – | – | – | – |
| | 100% | (n=5) | 41.6 | 26.5 | 15.1 | – | – | 58.4 | 58.4 | – | – |
| 女性 | 0% | (n=6) | 89.1 | 37.5 | – | 20.4 | 31.2 | 2.7 | 2.7 | – | 8.1 |
| | 1～9% | (n=19) | 35.8 | 1.0 | 33.2 | 1.5 | – | 56.4 | 45.2 | – | 7.8 |
| | 10～19% | (n=24) | 66.5 | 10.1 | 44.3 | – | 12.1 | 33.5 | 33.5 | – | – |
| | 20～39% | (n=49) | 85.0 | 25.8 | 53.1 | – | 6.1 | 14.8 | 12.3 | – | 0.2 |
| | 40～59% | (n=188) | 79.6 | 47.3 | 25.4 | 4.5 | 2.4 | 17.6 | 14.5 | 1.0 | 1.8 |
| | 60～79% | (n=478) | 77.2 | 39.7 | 32.2 | 2.6 | 2.6 | 19.8 | 17.8 | 0.7 | 2.4 |
| | 80～89% | (n=551) | 70.1 | 22.3 | 39.5 | 2.5 | 5.7 | 26.9 | 26.5 | 0.4 | 2.7 |
| | 90～99% | (n=1,024) | 58.3 | 14.3 | 34.7 | 3.3 | 6.0 | 39.6 | 39.3 | 0.6 | 1.5 |
| | 100% | (n=350) | 57.0 | 9.0 | 40.3 | 2.1 | 5.6 | 39.7 | 38.8 | 1.0 | 2.3 |

性・育児の分担割合別でも（図表 3-10-7）、育児以外の家事分担割合と同様の傾向がみられる。

図表 3-10-7　夫婦の共働き状況（性・育児の分担割合別）

(%)

| | | | 共働き（計） | 妻正規 | 妻非正規 | 妻役員・自営 | 妻その他 | 片働き（計） | 妻無職 | 夫婦共無職 | 不明・無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全体 | | (n=4,357) | 63.9 | 22.3 | 33.7 | 2.7 | 5.3 | 32.5 | 31.6 | 0.6 | 2.9 |
| 男性 | 0% | (n=47) | 51.5 | 1.3 | 45.7 | 2.2 | 2.4 | 42.9 | 42.9 | – | 5.5 |
| | 1～9% | (n=118) | 50.1 | 11.7 | 31.7 | 4.2 | 2.5 | 49.8 | 49.8 | – | 0.2 |
| | 10～19% | (n=347) | 49.9 | 13.7 | 26.9 | 1.5 | 7.7 | 49.2 | 48.7 | 0.7 | 0.3 |
| | 20～39% | (n=517) | 61.6 | 22.4 | 30.6 | 2.7 | 5.9 | 35.5 | 35.1 | 0.6 | 2.2 |
| | 40～59% | (n=236) | 78.0 | 34.2 | 31.6 | 2.2 | 10.0 | 19.7 | 18.8 | 0.6 | 1.8 |
| | 60～79% | (n=14) | 67.9 | 14.0 | 40.3 | – | 13.7 | 32.1 | 23.2 | – | – |
| | 80～89% | (n=5) | 61.0 | 38.0 | 22.9 | – | – | 39.0 | 28.0 | – | – |
| | 90～99% | (n=7) | 86.7 | 13.4 | 73.3 | – | – | 13.3 | 13.3 | – | – |
| | 100% | (n=4) | 62.7 | 39.9 | 22.7 | – | – | 37.3 | 37.3 | – | – |
| 女性 | 0% | (n=2) | 25.0 | – | 25.0 | – | – | – | – | – | 75.0 |
| | 1～9% | (n=10) | 43.8 | – | 34.7 | 9.1 | – | 44.4 | 27.4 | – | 11.8 |
| | 10～19% | (n=17) | 74.0 | 1.1 | 69.4 | – | 3.4 | 22.2 | 22.2 | – | 3.8 |
| | 20～39% | (n=35) | 87.2 | 44.1 | 40.2 | 0.8 | 2.2 | 12.8 | 12.2 | – | – |
| | 40～59% | (n=204) | 81.6 | 30.6 | 39.2 | 6.6 | 5.2 | 15.6 | 11.8 | 0.7 | 2.1 |
| | 60～79% | (n=529) | 67.8 | 25.5 | 34.4 | 2.8 | 5.1 | 30.7 | 30.0 | – | 1.5 |
| | 80～89% | (n=553) | 58.8 | 20.2 | 30.1 | 2.1 | 6.4 | 37.3 | 36.9 | 1.0 | 2.9 |
| | 90～99% | (n=728) | 57.9 | 15.9 | 33.7 | 2.6 | 5.8 | 39.9 | 39.9 | 0.5 | 1.7 |
| | 100% | (n=178) | 67.3 | 8.6 | 51.8 | 3.1 | 3.9 | 28.6 | 26.2 | 1.8 | 2.2 |

さらに、性・親の居住地別にみると（図表 3-10-8）、男女とも親の居住地が近い層ほど『共働き』が多い傾向がある。

図表 3-10-8　夫婦の共働き状況（性・親の居住地別）

(%)

| | | | 共働き（計） | 妻正規 | 妻非正規 | 妻役員・自営 | 妻その他 | 片働き（計） | 妻無職 | 夫婦共無職 | 不明・無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全体 | | (n=4,357) | 63.9 | 22.3 | 33.7 | 2.7 | 5.3 | 32.5 | 31.6 | 0.6 | 2.9 |
| 男性 | 同居 | (n=374) | 65.4 | 24.3 | 30.8 | 3.0 | 7.3 | 33.3 | 33.3 | 0.0 | 1.3 |
| | 近居 | (n=737) | 62.8 | 22.9 | 32.4 | 2.1 | 5.4 | 34.5 | 33.4 | 0.8 | 1.9 |
| | 別居 | (n=456) | 61.4 | 23.0 | 29.9 | 3.1 | 5.3 | 35.7 | 35.0 | 0.6 | 2.3 |
| | 親はいない | (n=8) | 54.1 | 24.4 | 29.7 | － | － | 13.5 | 13.5 | － | 32.4 |
| 女性 | 同居 | (n=648) | 69.4 | 23.0 | 36.8 | 3.6 | 5.9 | 27.5 | 25.1 | 0.1 | 3.0 |
| | 近居 | (n=1,241) | 67.7 | 22.8 | 37.3 | 2.9 | 4.6 | 29.8 | 28.8 | 0.1 | 2.4 |
| | 別居 | (n=807) | 59.5 | 20.3 | 31.9 | 2.2 | 5.1 | 36.1 | 35.6 | 1.5 | 2.9 |
| | 親はいない | (n=9) | 57.5 | 1.6 | 35.3 | 14.9 | 5.7 | 25.0 | 24.5 | － | 17.5 |

## （11）配偶者（パートナー）の勤務状況

【現在結婚している方（問２５で「１」と答えた方）にお聞きします。】

問３５　配偶者（パートナー）の方の勤務状況として、あてはまるものをいくつでもお選びください。

図表 3-11-1

(%)

| | | 残業時間が長い | 有給休暇が取りにくい | 在宅勤務制度がない | 休日出勤が多い | フレックスタイム制度が使えない | 通勤時間が長い | 夜勤などがある、多い | 出張が多い | 単身赴任をすることがある | 転勤が多い | いずれもあてはまらない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全体 | (n=3,723) | 39.3 | 33.9 | 26.4 | 21.8 | 21.3 | 15.2 | 14.6 | 9.9 | 7.2 | 5.3 | 26.1 | 0.9 |
| 男性 | (n=1,053) | 14.7 | 16.6 | 24.4 | 9.7 | 16.6 | 9.2 | 5.2 | 2.2 | 0.6 | 1.0 | 49.1 | 1.2 |
| 女性 | (n=2,642) | 48.8 | 40.5 | 27.3 | 26.5 | 23.1 | 17.6 | 18.2 | 13.0 | 9.8 | 7.1 | 17.3 | 0.8 |

事実婚を含み、配偶者（パートナー）が働いている者（3,723 人）の配偶者（パートナー）の勤務状況としては（図表 3-11-1）、「残業時間が長い」が 39.3%で最も多くあげられ、以下「有給休暇が取りにくい」（33.9%）、「在宅勤務制度がない」（26.4%）、「休日出勤が多い」（21.8%）、「フレックスタイム制度が使えない」（21.3%）などの順となっている。

「いずれもあてはまらない」という者は、26.1%である。

男女別にみると（図表 3-11-1）、男性の妻について「在宅勤務制度がない」（24.4%）、「有給休暇が取りにくい」（16.6%）、「フレックスタイム制度が使えない」（16.6%）などがあげられているが、半数近くは「いずれもあてはまらない」（49.1%）と回答している。

一方、女性の夫では、「残業時間が長い」が 48.8%で最も多くあげられ、次いで「有給休暇が取りにくい」（40.5%）、「在宅勤務制度がない」（27.3%）、「休日出勤が多い」（26.5%）、「フレックスタイム制度が使えない」（23.1%）などの順となっている。

女性の夫について、「いずれもあてはまらない」という者は 17.3%である。

〈参考：全国調査〉

全国調査の有職の配偶者（パートナー）（623 人）の配偶者の勤務状況としては、「残業時間が長い」が 31.5%で最も多くあげられ、「有給休暇が取りにくい」（27.3%）、「在宅勤務制度がない」（21.3%）、「休日出勤が多い」（20.2%）が 2 割台で続いている。

男女別にみると、男性の妻については、「在宅勤務制度がない」が 19.2%で、過半数が「いずれもあてはまらない」（54.8%）と回答している。

一方、女性の夫では、「残業時間が長い」が 42.4%で最も多くあげられ、次いで「有給休暇が取りにくい」（34.5%）、「休日出勤が多い」（25.1%）、「在宅勤務制度がない」（22.4%）、「フレックスタイム制度が使えない」（19.5%）などの順となっているが、いずれの項目も府民調査より回答率が低い。

女性の夫について、「いずれもあてはまらない」という者は 23.4%である。

府民調査と比較すると、男性の妻では「フレックスタイム制度が使えない」が、女性の夫では「有給休暇が取りにくい」が、それぞれ府民調査の方が、全国調査よりもやや多くあげられている。

参考 3-11-1　配偶者（パートナー）の勤務状況

(%)

| | | 残業時間が長い | 有給休暇が取りにくい | 在宅勤務制度がない | 休日出勤が多い | フレックスタイム制度が使えない | 夜勤などがある、多い | 通勤時間が長い | 出張が多い | 単身赴任をすることがある | 転勤が多い | いずれもあてはまらない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全国 | (n=623) | 31.5 | 27.3 | 21.3 | 20.2 | 16.5 | 13.3 | 12.4 | 7.1 | 5.5 | 3.4 | 33.9 | 0.6 |
| 男性 | (n=208) | 9.6 | 13.0 | 19.2 | 10.6 | 10.6 | 6.3 | 7.7 | 0.5 | 0.5 | 1.9 | 54.8 | 1.4 |
| 女性 | (n=415) | 42.4 | 34.5 | 22.4 | 25.1 | 19.5 | 16.9 | 14.7 | 10.4 | 8.0 | 4.1 | 23.4 | 0.2 |

配偶者職業別にみると（図表 3-11-2）、夫が正規雇用者の女性者では、「残業時間が長い」（54.8%）と「有給休暇が取りにくい」（44.5%）が際立って多くあげられている。一方、夫が自営業や内職などのその他有職の場合には、「休日出勤が多い」（30.4%）が多くあげられている。

一方、妻が正規雇用者の男性者は、妻の就労状況として「在宅勤務制度がない」（36.9%）が 4 割近くあげられている。

**図表 3-11-2　配偶者（パートナー）の勤務状況（配偶者職業別）**

(%)

| | | | 残業時間が長い | 夜勤などがある、多い | 通勤時間が長い | 休日出勤が多い | 有給休暇が取りにくい | フレックスタイム制度が使えない | 在宅勤務制度がない | 出張が多い | 転勤が多い | 単身赴任をすることがある | いずれもあてはまらない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全体 | | (n=3,723) | 39.3 | 14.6 | 15.2 | 21.8 | 33.9 | 21.3 | 26.4 | 9.9 | 5.3 | 7.2 | 26.1 | 0.9 |
| 夫 | 正社員・正職員 | (n=2,096) | 54.8 | 19.0 | 18.5 | 25.8 | 44.5 | 25.1 | 30.7 | 13.6 | 8.7 | 11.9 | 12.3 | 0.6 |
| 夫 | 非正規雇用 | (n=130) | 30.3 | 15.2 | 22.1 | 24.5 | 28.4 | 21.1 | 24.7 | 5.7 | 2.9 | 3.2 | 29.4 | － |
| 夫 | その他有職 | (n=416) | 25.1 | 15.6 | 11.6 | 30.4 | 24.4 | 14.0 | 10.9 | 12.1 | 0.4 | 1.9 | 38.3 | 2.2 |
| 妻 | 正社員・正職員 | (n=385) | 32.0 | 10.8 | 16.4 | 17.4 | 28.7 | 25.0 | 36.9 | 5.0 | 2.6 | 1.1 | 20.6 | － |
| 妻 | 非正規雇用 | (n=514) | 5.4 | 1.6 | 6.2 | 5.6 | 11.4 | 14.3 | 21.2 | 0.4 | 0.1 | － | 60.7 | 1.2 |
| 妻 | その他有職 | (n=154) | 1.9 | 3.4 | － | 4.2 | 2.3 | 2.3 | 2.3 | 1.7 | － | 1.3 | 84.4 | 4.4 |

前述の「２．職業について（10）現在の勤務状況」でみた、回答者本人の勤務状況と配偶者（パートナー）の勤務状況を、それぞれの性別でまとめて「夫・妻の勤務状況」として算出した（図表 3-11-3）。

夫の勤務状況としては、「残業時間が長い」が 30.1%、「有給休暇が取りにくい」が 26.4%で、次いで「在宅勤務制度がない」（17.6%）、「休日出勤が多い」（16.4%）、「フレックスタイム制度が使えない」（15.8%）、「通勤時間が長い」（11.5%）、「夜勤などがある、多い」（10.5%）などがそれぞれ 1 割台となっている。夫の勤務状況には「いずれもあてはまらない」という者は 12.6%である。

一方、妻の勤務としては、「在宅勤務制度がない」が 21.4%で最も多くあげられ、以下「有給休暇が取りにくい」（18.6%）、「フレックスタイム制度が使えない」（15.1%）、「残業時間が長い」（13.8%）などの順となっている。妻の勤務状況には、「いずれもあてはまらない」（48.0%）という者が 5 割近い。

**図表 3-11-3　夫・妻の勤務状況**

(%)

| | | 残業時間が長い | 夜勤などがある、多い | 通勤時間が長い | 休日出勤が多い | 有給休暇が取りにくい | フレックスタイム制度が使えない | 在宅勤務制度がない | 出張が多い | 転勤が多い | 単身赴任をすることがある | いずれもあてはまらない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 夫 | (n=4,207) | 30.1 | 10.5 | 11.5 | 16.4 | 26.4 | 15.8 | 17.6 | 7.3 | 3.7 | 6.9 | 12.6 | 0.8 |
| 妻 | (n=2,968) | 13.8 | 5.9 | 9.8 | 8.9 | 18.6 | 15.1 | 21.4 | 1.7 | 1.7 | 1.0 | 48.0 | 3.6 |

〈参考：全国調査〉

全国調査で夫と妻の勤務状況をみると、夫は「残業時間が長い」（25.6%）と「有給休暇が取りにくい」（23.0%）がともに 2 割台で、以下「在宅勤務制度がない」（15.5%）、「休日出勤が多い」（15.2%）、「フレックスタイム制度が使えない」（13.4%）などの順となっている。

妻の勤務状況では、「有給休暇が取りにくい」と「在宅勤務制度がない」がともに 16.4%で、過半数は「いずれもあてはまらない」（54.9%）と回答している。

府民調査と比較しても、男女とも大きな差はみられない。

**参考 3-11-2　夫・妻の勤務状況**

(%)

| | | 残業時間が長い | 夜勤などがある、多い | 通勤時間が長い | 休日出勤が多い | 有給休暇が取りにくい | フレックスタイム制度が使えない | 在宅勤務制度がない | 出張が多い | 転勤が多い | 単身赴任をすることがある | いずれもあてはまらない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 夫 | (n=730) | 25.6 | 11.4 | 10.7 | 15.2 | 23.0 | 13.4 | 15.5 | 5.8 | 3.2 | 4.9 | 16.4 | 0.8 |
| 妻 | (n=505) | 9.7 | 5.1 | 7.1 | 8.5 | 16.4 | 12.1 | 16.4 | 0.2 | 1.0 | 0.4 | 54.9 | 2.0 |

夫の勤務状況を、回答者の男女別にみると（図表 3-11-4・上）、「残業時間が長い」（男性 24.5%、女性 33.5%）は、夫に対する妻の見解が夫自身の意識を上回っている。

妻の勤務状況を回答者の男女別にみても（図表 3-11-4・下）、夫の見解と妻自身の意識に大きな差はみられない。

図表 3-11-4　夫・妻の勤務状況（回答者の男女別）

＜夫の勤務状況＞

(%)

| | | 残業時間が長い | 有給休暇が取りにくい | 在宅勤務制度がない | 休日出勤が多い | フレックスタイム制度が使えない | 通勤時間が長い | 夜勤などがある、多い | 出張が多い | 単身赴任をすることがある | 転勤が多い | いずれもあてはまらない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全体 | (n=4,207) | 30.1 | 26.4 | 17.6 | 16.4 | 15.8 | 11.5 | 10.5 | 7.3 | 6.9 | 3.7 | 12.6 | 0.8 |
| 男性 | (n=1,565) | 24.5 | 23.8 | 16.9 | 12.9 | 15.1 | 9.8 | 7.8 | 5.8 | 6.9 | 3.5 | 13.8 | 1.1 |
| 女性 | (n=2,642) | 33.5 | 27.9 | 18.0 | 18.5 | 16.2 | 12.5 | 12.1 | 8.2 | 6.9 | 3.8 | 12.0 | 0.6 |

＜妻の勤務状況＞

(%)

| | | 在宅勤務制度がない | 有給休暇が取りにくい | フレックスタイム制度が使えない | 残業時間が長い | 通勤時間が長い | 休日出勤が多い | 夜勤などがある、多い | 出張が多い | 転勤が多い | 単身赴任をすることがある | いずれもあてはまらない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全体 | (n=2,968) | 21.4 | 18.6 | 15.1 | 13.8 | 9.8 | 8.9 | 5.9 | 1.7 | 1.7 | 1.0 | 48.0 | 3.6 |
| 男性 | (n=1,053) | 24.4 | 16.6 | 16.6 | 14.7 | 9.2 | 9.7 | 5.2 | 2.2 | 1.0 | 0.6 | 49.1 | 1.2 |
| 女性 | (n=1,915) | 19.7 | 19.8 | 14.2 | 13.4 | 10.1 | 8.4 | 6.2 | 1.5 | 2.1 | 1.3 | 47.4 | 4.9 |

回答者の性・年代別に夫の勤務状況をみると（図表 3-11-5）、「残業時間が長い」は妻の 25～39 歳の年代で他の性・年代層より多くあげられているが、男性自身では 35～39 歳（28.7%）で他の年代より多くあげられている。また、「有給休暇が取りにくい」は、妻では若い年代の方がやや多くあげているが、夫では年代の高い層が多くあげている。「在宅勤務制度がない」は、25～29 歳の女性が夫の勤務状況として、他の属性より強く指摘している。

図表 3-11-5　夫の勤務状況（回答者の性・年代別）

(%)

| | | | 残業時間が長い | 有給休暇が取りにくい | 在宅勤務制度がない | 休日出勤が多い | フレックスタイム制度が使えない | 通勤時間が長い | 夜勤などがある、多い | 出張が多い | 単身赴任をすることがある | 転勤が多い | いずれもあてはまらない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全体 | | (n=4,207) | 30.1 | 26.4 | 17.6 | 16.4 | 15.8 | 11.5 | 10.5 | 7.3 | 6.9 | 3.7 | 12.6 | 0.8 |
| 男性 | 20～24 歳 | (n=12) | 19.5 | 14.8 | － | 24.5 | － | 14.8 | － | 14.8 | 14.8 | － | － | － |
| | 25～29 歳 | (n=114) | 25.7 | 19.6 | 16.5 | 18.1 | 16.2 | 9.4 | 4.8 | 1.9 | 4.2 | 3.6 | 18.7 | － |
| | 30～34 歳 | (n=326) | 22.6 | 22.5 | 18.8 | 12.7 | 14.9 | 9.5 | 10.2 | 4.9 | 4.6 | 4.2 | 11.9 | 0.8 |
| | 35～39 歳 | (n=486) | 28.7 | 24.8 | 15.7 | 15.5 | 14.8 | 9.3 | 7.5 | 4.5 | 6.9 | 3.7 | 12.0 | 1.3 |
| | 40～44 歳 | (n=621) | 21.6 | 24.7 | 17.6 | 9.5 | 15.4 | 10.4 | 7.5 | 8.1 | 8.5 | 3.1 | 15.8 | 1.4 |
| 女性 | 20～24 歳 | (n=44) | 21.5 | 18.0 | 11.3 | 14.8 | 8.1 | 8.6 | 18.0 | 0.3 | 0.7 | 5.2 | 19.5 | － |
| | 25～29 歳 | (n=270) | 36.7 | 31.4 | 22.6 | 20.2 | 19.7 | 11.3 | 13.2 | 5.4 | 4.0 | 3.7 | 8.0 | － |
| | 30～34 歳 | (n=550) | 35.1 | 29.7 | 17.3 | 19.1 | 13.3 | 12.6 | 15.0 | 6.7 | 6.7 | 3.9 | 9.6 | 0.0 |
| | 35～39 歳 | (n=832) | 34.1 | 26.0 | 17.2 | 18.1 | 17.1 | 12.1 | 12.8 | 7.7 | 6.6 | 3.9 | 9.2 | 0.6 |
| | 40～44 歳 | (n=939) | 31.7 | 28.1 | 18.1 | 18.2 | 16.6 | 13.4 | 9.2 | 10.8 | 8.4 | 3.5 | 16.7 | 1.1 |

妻の勤務状況については（図表 3-11-6）、「在宅勤務制度がない」は夫である男性の 30 歳代（30～34 歳 29.7%、35～39 歳 27.2%）の 3 割近くがあげている。「残業時間が長い」は、女性自身の 25～29 歳（26.4%）で、「通勤時間が長い」は女性自身の 30～34 歳（17.6%）で、それぞれ他の性・年代層より多くあげられている。男女とも 40～44 歳では過半数が、妻の勤務状況として「いずれもあてはまらない」（男性 52.6%、女性 54.8%）と回答している。

図表 3-11-6　妻の勤務状況（回答者の性・年代別）

(%)

| | | | 在宅勤務制度がない | 有給休暇が取りにくい | フレックスタイム制度が使えない | 残業時間が長い | 通勤時間が長い | 休日出勤が多い | 夜勤などがある、多い | 出張が多い | 転勤が多い | 単身赴任をすることがある | いずれもあてはまらない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全体 | | (n=2,968) | 21.4 | 18.6 | 15.1 | 13.8 | 9.8 | 8.9 | 5.9 | 1.7 | 1.7 | 1.0 | 48.0 | 3.6 |
| 男性 | 20～24 歳 | (n=3) | － | － | － | 16.0 | － | 16.0 | － | － | － | － | 84.0 | － |
| | 25～29 歳 | (n=71) | 23.8 | 19.6 | 18.8 | 17.5 | 11.2 | 13.4 | 5.3 | － | － | － | 46.3 | － |
| | 30～34 歳 | (n=202) | 29.7 | 22.6 | 17.8 | 15.6 | 15.2 | 8.5 | 6.4 | 3.0 | 0.7 | － | 43.6 | 1.2 |
| | 35～39 歳 | (n=323) | 27.2 | 18.5 | 17.7 | 16.0 | 6.9 | 10.1 | 5.4 | 2.2 | 1.4 | 0.6 | 47.5 | 0.6 |
| | 40～44 歳 | (n=450) | 20.4 | 12.0 | 15.1 | 13.0 | 7.8 | 9.4 | 4.5 | 2.4 | 1.1 | 1.0 | 52.6 | 1.9 |
| 女性 | 20～24 歳 | (n=26) | 15.2 | 1.4 | 1.5 | 13.1 | 1.5 | 11.5 | 16.1 | － | 4.3 | － | 71.7 | 2.8 |
| | 25～29 歳 | (n=184) | 25.6 | 22.8 | 18.9 | 26.4 | 13.1 | 11.4 | 8.5 | 1.5 | 1.6 | 0.9 | 32.8 | 5.0 |
| | 30～34 歳 | (n=374) | 20.7 | 22.9 | 16.9 | 17.7 | 17.6 | 12.5 | 10.0 | 2.7 | 3.6 | 2.7 | 38.2 | 5.9 |
| | 35～39 歳 | (n=586) | 21.1 | 19.6 | 13.6 | 11.7 | 10.1 | 9.3 | 6.2 | 0.9 | 2.3 | 1.5 | 48.3 | 4.1 |
| | 40～44 歳 | (n=740) | 16.5 | 18.2 | 12.5 | 8.9 | 5.6 | 4.4 | 3.2 | 1.3 | 1.2 | 0.5 | 54.8 | 5.1 |

夫の勤務状況について性・地域別にみると（図表 3-11-7）、男性自身では「有給休暇が取りにくい」は乙訓居住者（31.2%）が、「フレックスタイム制度が使えない」は南丹居住者（21.5%）で、それぞれ他の地域より多くあげられている。

一方、妻である女性の見解としては、夫の「残業時間が長い」は山城北（36.7%）、乙訓（36.0%）、京都市（34.2%）のそれぞれの地域の居住者に多くあげられている。「有給休暇が取りにくい」は、南丹居住者（33.6%）に多い。また、「休日出勤が多い」と「夜勤などがある、多い」は、中丹（休日出勤 24.9%、夜勤 17.9%）と南丹（同 23.7%、17.3%）の各居住者に、「通勤時間が長い」は学研都市居住者（20.3%）に、それぞれ他の地域より多くあげられている。

**図表 3-11-7　夫の勤務状況（回答者の性・地域別）**

(%)

| | | | 残業時間が長い | 有給休暇が取りにくい | 在宅勤務制度がない | 休日出勤が多い | フレックスタイム制度が使えない | 通勤時間が長い | 夜勤などがある、多い | 出張が多い | 単身赴任をすることがある | 転勤が多い | いずれもあてはまらない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全体 | | (n=4,207) | 30.1 | 26.4 | 17.6 | 16.4 | 15.8 | 11.5 | 10.5 | 7.3 | 6.9 | 3.7 | 12.6 | 0.8 |
| 男性 | 京都市 | (n=492) | 24.6 | 23.9 | 17.6 | 11.9 | 14.7 | 9.9 | 6.7 | 6.2 | 7.6 | 3.1 | 14.0 | 0.7 |
| 男性 | 丹後 | (n=202) | 17.2 | 22.9 | 11.9 | 13.0 | 13.1 | 6.5 | 14.6 | 1.1 | 4.6 | 1.8 | 24.7 | 1.9 |
| 男性 | 中丹 | (n=150) | 24.0 | 22.3 | 9.0 | 17.1 | 14.6 | 4.1 | 9.1 | 4.8 | 5.7 | 5.3 | 11.6 | 2.0 |
| 男性 | 南丹 | (n=113) | 19.7 | 27.5 | 18.6 | 17.2 | 21.5 | 12.5 | 8.9 | 3.1 | 2.5 | 7.2 | 16.4 | 0.3 |
| 男性 | 乙訓 | (n=134) | 28.8 | 31.2 | 19.2 | 15.0 | 15.6 | 5.3 | 8.4 | 10.0 | 8.5 | 6.3 | 12.1 | 1.5 |
| 男性 | 学研都市 | (n=179) | 24.3 | 20.3 | 14.7 | 11.6 | 13.2 | 13.7 | 9.5 | 7.5 | 6.4 | 3.6 | 8.6 | 2.2 |
| 男性 | 相楽東部 | (n=74) | 15.6 | 16.6 | 8.9 | 17.6 | 5.7 | 5.7 | 12.4 | 8.3 | 4.7 | 1.6 | 30.7 | 3.1 |
| 男性 | 山城北 | (n=213) | 27.0 | 22.7 | 20.5 | 12.9 | 16.7 | 11.5 | 8.1 | 4.2 | 6.0 | 2.5 | 14.5 | 1.6 |
| 女性 | 京都市 | (n=808) | 34.2 | 27.7 | 18.4 | 18.7 | 16.9 | 11.9 | 11.5 | 7.9 | 6.3 | 3.7 | 10.9 | 0.5 |
| 女性 | 丹後 | (n=291) | 25.7 | 25.5 | 11.0 | 16.0 | 11.8 | 12.3 | 8.1 | 3.1 | 2.7 | 2.6 | 26.7 | 1.4 |
| 女性 | 中丹 | (n=233) | 33.0 | 28.4 | 16.0 | 24.9 | 14.9 | 9.2 | 17.9 | 11.1 | 7.2 | 4.7 | 12.2 | － |
| 女性 | 南丹 | (n=204) | 28.5 | 33.6 | 18.1 | 23.7 | 16.5 | 14.3 | 17.3 | 5.3 | 5.9 | 1.4 | 12.3 | 0.7 |
| 女性 | 乙訓 | (n=263) | 36.0 | 29.0 | 20.1 | 16.9 | 17.9 | 13.2 | 10.2 | 8.5 | 9.0 | 3.8 | 7.4 | 1.2 |
| 女性 | 学研都市 | (n=315) | 27.9 | 26.6 | 21.4 | 17.7 | 16.1 | 20.3 | 12.6 | 9.1 | 7.1 | 5.9 | 10.7 | 0.2 |
| 女性 | 相楽東部 | (n=99) | 25.7 | 20.9 | 13.2 | 15.0 | 13.3 | 13.7 | 14.4 | 3.2 | 3.2 | 1.2 | 27.0 | 0.8 |
| 女性 | 山城北 | (n=405) | 36.7 | 27.5 | 16.6 | 14.7 | 15.0 | 11.9 | 11.1 | 9.7 | 9.3 | 3.3 | 15.0 | 0.6 |

妻の勤務状況について性・地域別にみると（図表 3-11-8）、「在宅勤務制度がない」は、夫である男性の京都市（27.1%）、南丹（26.0%）、山城北（24.9%）、学研都市（24.2%）の居住者で、妻の勤務状況の見解として多くあげられている。女性自身では、乙訓（23.7%）、学研都市（21.8%）、京都市（21.4%）の居住者で多くなっている。

妻の「残業時間が長い」という見解は、丹後（21.4%）と学研都市（20.6%）に居住する男性で 2 割以上となっているが、同じ地域の女性自身（丹後 16.8%、学研都市 8.2%）との意識の差が大きい。

中丹と丹後居住の男性（夫）は、妻の「休日出勤が多い」（中丹 18.1%、丹後 16.7%）を 2 割近くあげているが、女性自身では南丹居住者（15.5%）でやや多くあげられている。

**図表 3-11-8　妻の勤務状況（回答者の性・地域別）**

(%)

| | | | 在宅勤務制度がない | 有給休暇が取りにくい | フレックスタイム制度が使えない | 残業時間が長い | 通勤時間が長い | 休日出勤が多い | 夜勤などがある、多い | 出張が多い | 転勤が多い | 単身赴任をすることがある | いずれもあてはまらない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全体 | | (n=2,968) | 21.4 | 18.6 | 15.1 | 13.8 | 9.8 | 8.9 | 5.9 | 1.7 | 1.7 | 1.0 | 48.0 | 3.6 |
| 男性 | 京都市 | (n=315) | 27.1 | 15.8 | 16.6 | 15.1 | 10.3 | 8.5 | 4.7 | 2.6 | 0.9 | 0.9 | 48.2 | 0.9 |
| | 丹後 | (n=152) | 15.5 | 26.5 | 12.7 | 21.4 | 5.5 | 16.7 | 12.2 | 1.5 | 2.0 | − | 51.0 | 2.0 |
| | 中丹 | (n=101) | 12.8 | 22.7 | 17.5 | 12.9 | 5.1 | 18.1 | 6.2 | 1.8 | 1.3 | − | 43.3 | 4.4 |
| | 南丹 | (n=83) | 26.0 | 15.1 | 11.9 | 11.7 | 8.1 | 5.3 | 5.8 | − | 0.8 | − | 48.8 | − |
| | 乙訓 | (n=94) | 20.1 | 4.8 | 17.3 | 8.7 | 10.4 | 7.6 | 3.4 | 1.4 | 1.7 | − | 56.8 | 1.7 |
| | 学研都市 | (n=104) | 24.2 | 22.4 | 16.8 | 20.6 | 14.1 | 14.5 | 4.5 | 2.3 | 2.1 | 1.0 | 40.6 | − |
| | 相楽東部 | (n=53) | 10.2 | 16.6 | 2.2 | 16.5 | 5.0 | 3.6 | 2.8 | − | − | 1.4 | 64.8 | − |
| | 山城北 | (n=146) | 24.9 | 16.3 | 19.5 | 12.2 | 5.4 | 8.2 | 5.2 | 2.7 | − | − | 56.1 | 1.0 |
| 女性 | 京都市 | (n=542) | 21.4 | 18.4 | 14.3 | 13.8 | 10.7 | 7.9 | 6.6 | 1.4 | 1.9 | 1.5 | 46.5 | 5.2 |
| | 丹後 | (n=241) | 12.2 | 27.0 | 10.8 | 16.8 | 5.3 | 11.5 | 6.9 | 1.4 | 1.6 | 0.2 | 46.3 | 5.3 |
| | 中丹 | (n=179) | 16.6 | 31.2 | 15.9 | 14.8 | 9.5 | 8.4 | 5.6 | 0.7 | 1.3 | 0.7 | 43.7 | 3.2 |
| | 南丹 | (n=160) | 13.4 | 15.3 | 13.4 | 18.2 | 11.6 | 15.5 | 8.4 | 0.4 | − | 2.0 | 48.0 | 5.8 |
| | 乙訓 | (n=183) | 23.7 | 18.4 | 18.2 | 15.4 | 12.0 | 10.1 | 6.9 | 2.7 | 3.3 | 1.1 | 48.6 | 3.2 |
| | 学研都市 | (n=214) | 21.8 | 13.2 | 10.9 | 8.2 | 11.2 | 7.0 | 3.9 | 2.1 | 3.9 | 2.3 | 50.2 | 5.9 |
| | 相楽東部 | (n=77) | 11.9 | 11.9 | 8.2 | 10.3 | 9.3 | 9.4 | 3.2 | − | − | − | 55.0 | 5.8 |
| | 山城北 | (n=302) | 17.2 | 23.0 | 13.6 | 10.4 | 8.3 | 6.6 | 5.1 | 1.6 | 3.1 | 0.2 | 51.3 | 4.2 |

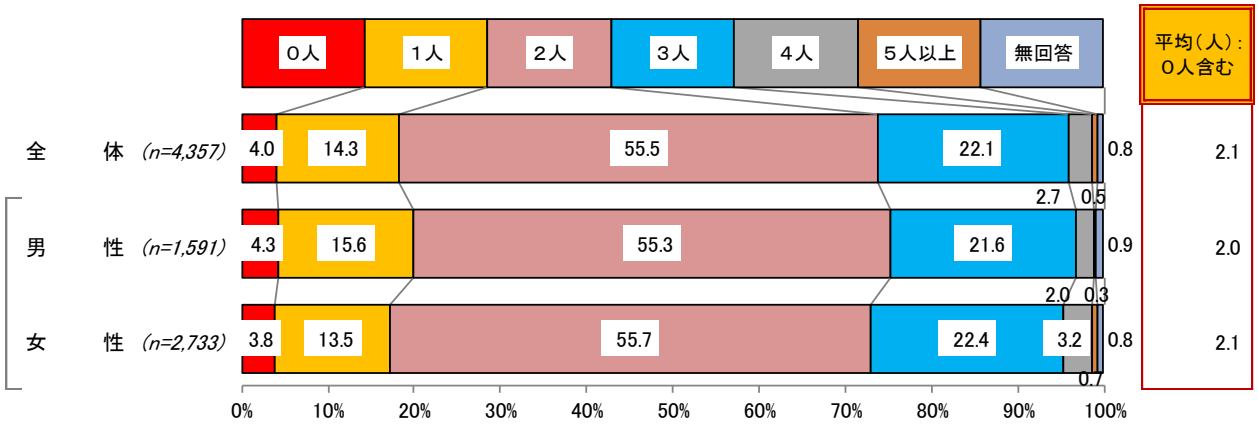
## (12) 予定する子どもの人数

【現在結婚している方（問２５で「１」と答えた方）にお聞きします。】

問３６　あなた方ご夫婦では、最終的に何人の子どもを持つつもりですか。すでにお子さんがいる場合には、そのお子さんも含めてお答えください。

子どもを持つつもりがない方は、「０」とご記入ください。

図表 3-12-1




事実婚を含み、現在結婚している者（4,357 人）が最終的に持つ予定の子どもの数を聞いたところ（図表 3-12-1）、「2 人」（55.5%）が過半数を占めて最も多く、次いで「3 人」が 22.1%となっている。

子どもを持つつもりがない者（「0 人」）は 4.0%で、平均予定人数は 2.1 人となっている。

男女別にみても、差はみられない（図表 3-12-1）。

〈参考：全国調査〉

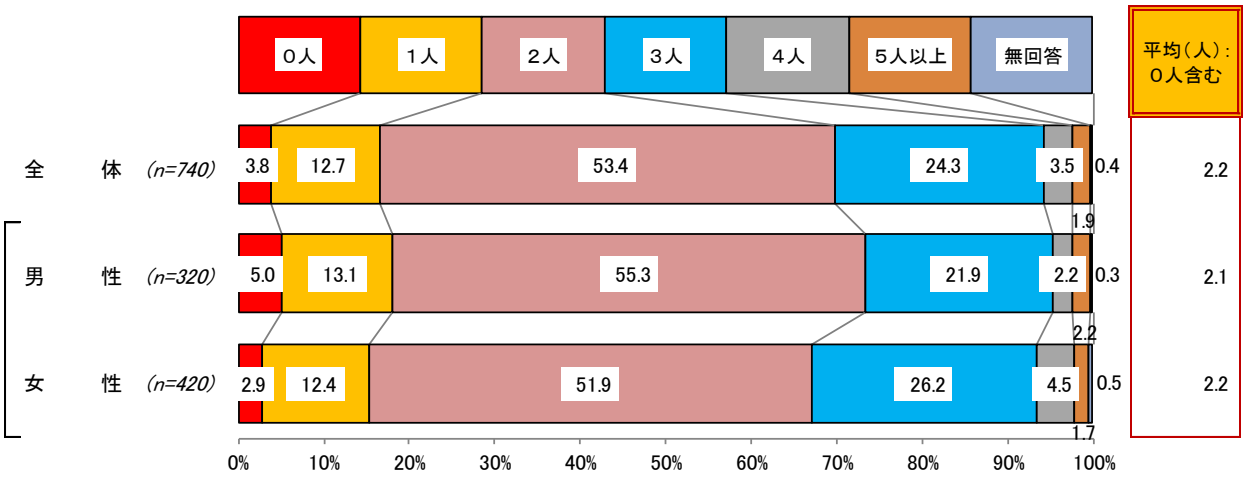
全国調査の有配偶者（740 人）が予定する子どもの人数は、「2 人」が 53.4%で、次いで「3 人」が 24.3%である。

子どもを持つつもりがない者（「0 人」）は 3.8%で、平均予定子ども人数は 2.2 人である。

男女別にみると、「3 人」（男性 21.9%、女性 26.2%）という者は、女性の方がやや多くなっている。

府民調査と比較すると、男性では大きな差はみられない。女性では、「3 人」を予定する回答者が府民調査よりやや多くなっている。

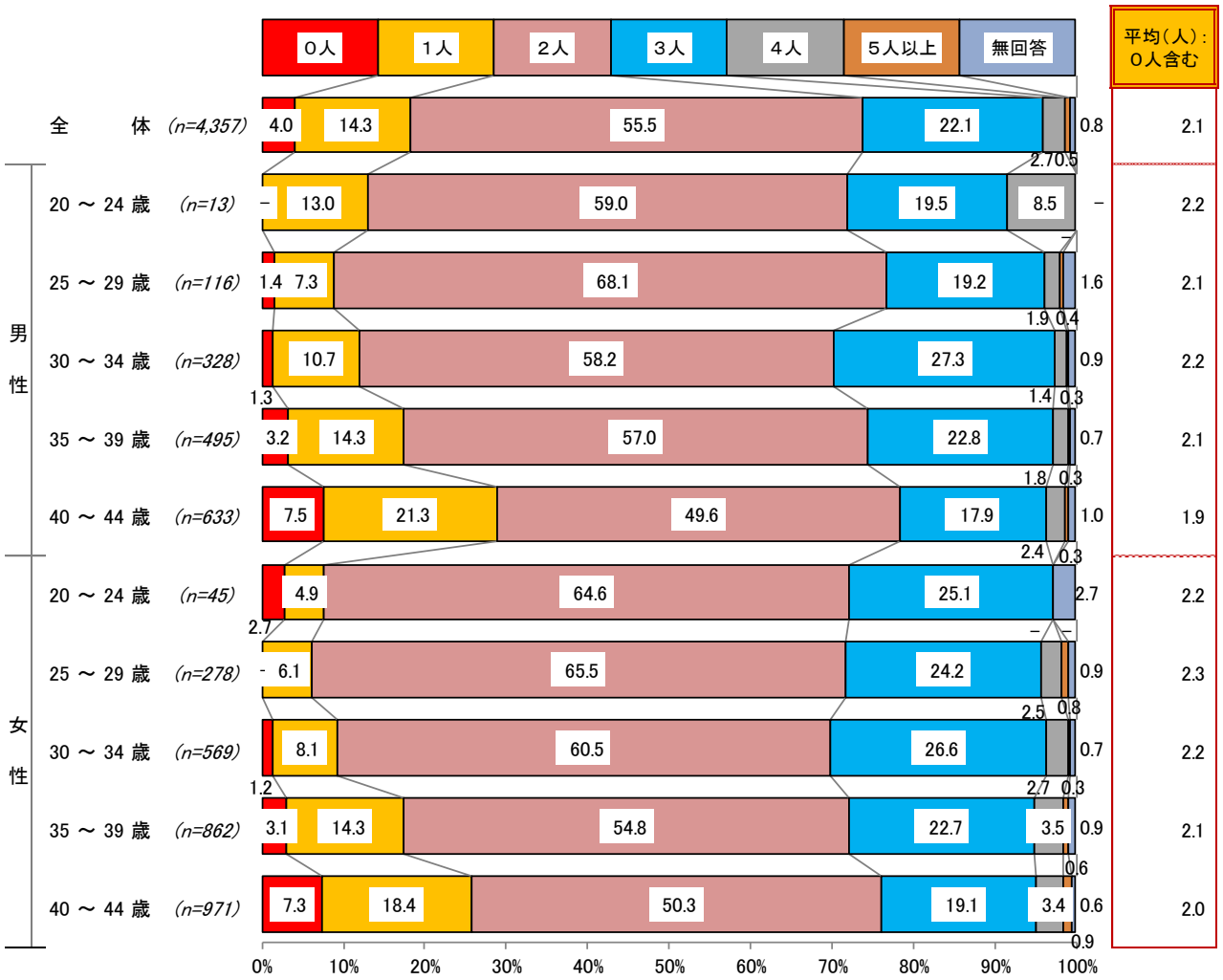
参考 3-12　予定する子どもの人数



性・年代別にみると（図表 3-12-2）、いずれの層でも「2 人」が最も多くなっているが、男女とも40～44 歳では「1 人」（男性 21.3%、女性 18.4%）が 2 割前後と、他の性・年代層より多くなっている。また、この年代では、子どもを持つつもりがない者（同 7.5%、7.3%）がともに約 7%で、他の性・年代層より多い。

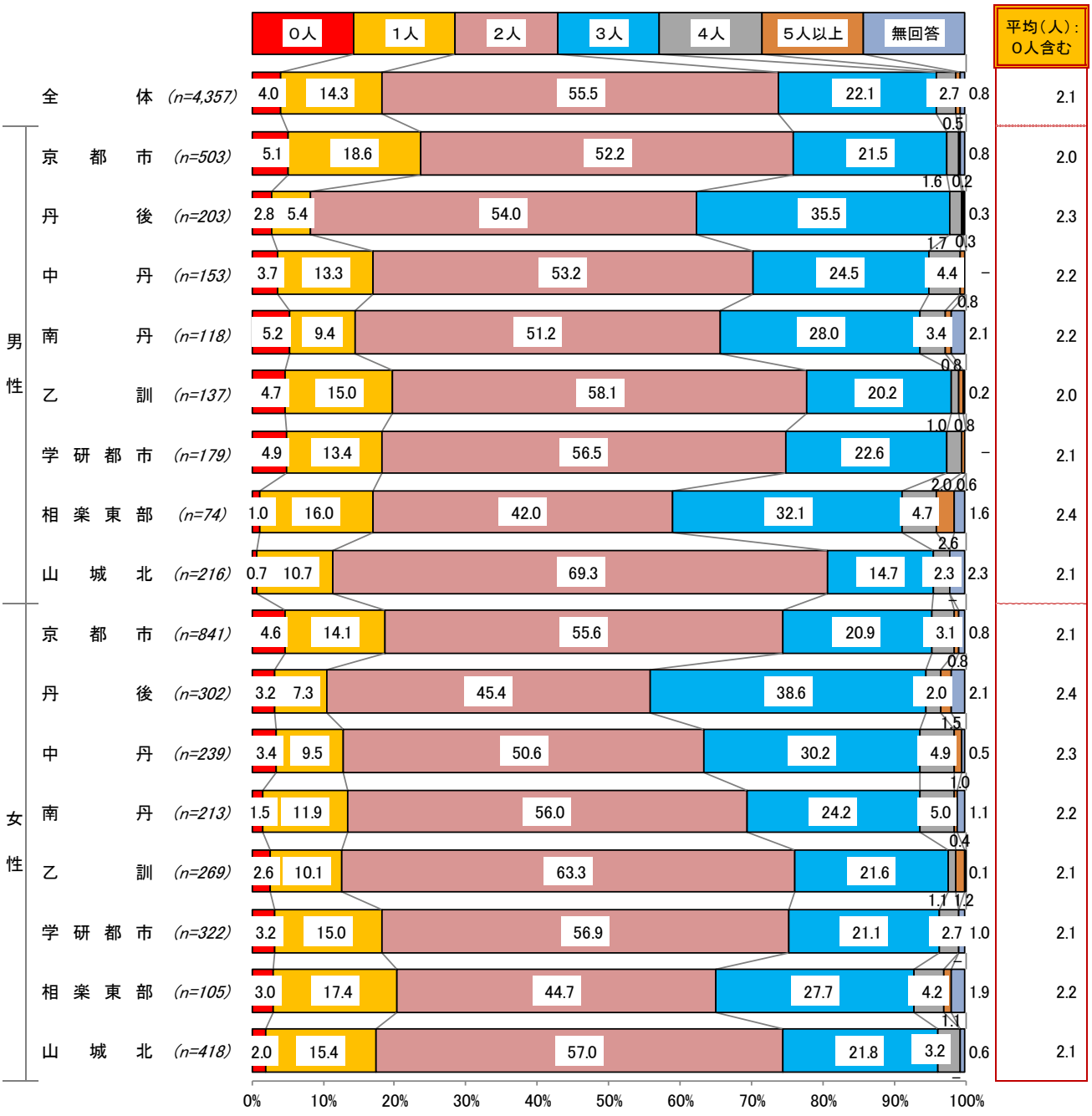
男女とも 30～34 歳の年代層では、「3 人」（同 27.3%、26.6%）を予定する者が他の性・年代層よりやや多くなっている。

図表 3-12-2　予定する子どもの人数（性・年代別）



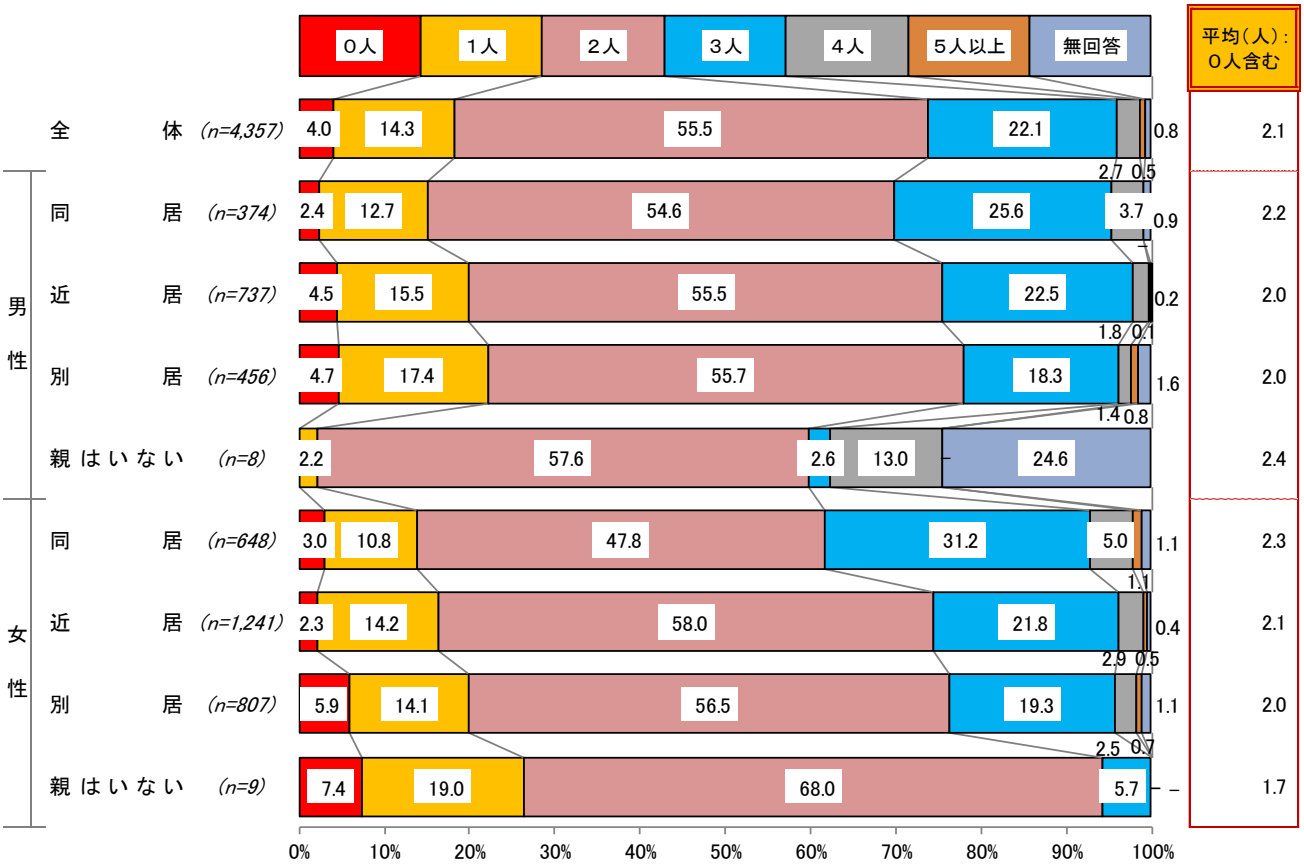
性・地域別にみると（図表 3-12-3）、いずれの地域でも「2 人」を予定する者が最も多いが、男女とも丹後居住者では「3 人」（男性 35.5%、女性 38.6%）という者が他の地域より多い。また、男性の相楽東部居住者（32.1%）と女性の中丹居住者（30.2%）でも、子どもを「3 人」持つ予定の者が 3 割を上回っている。

図表 3-12-3　予定する子どもの人数（性・地域別）



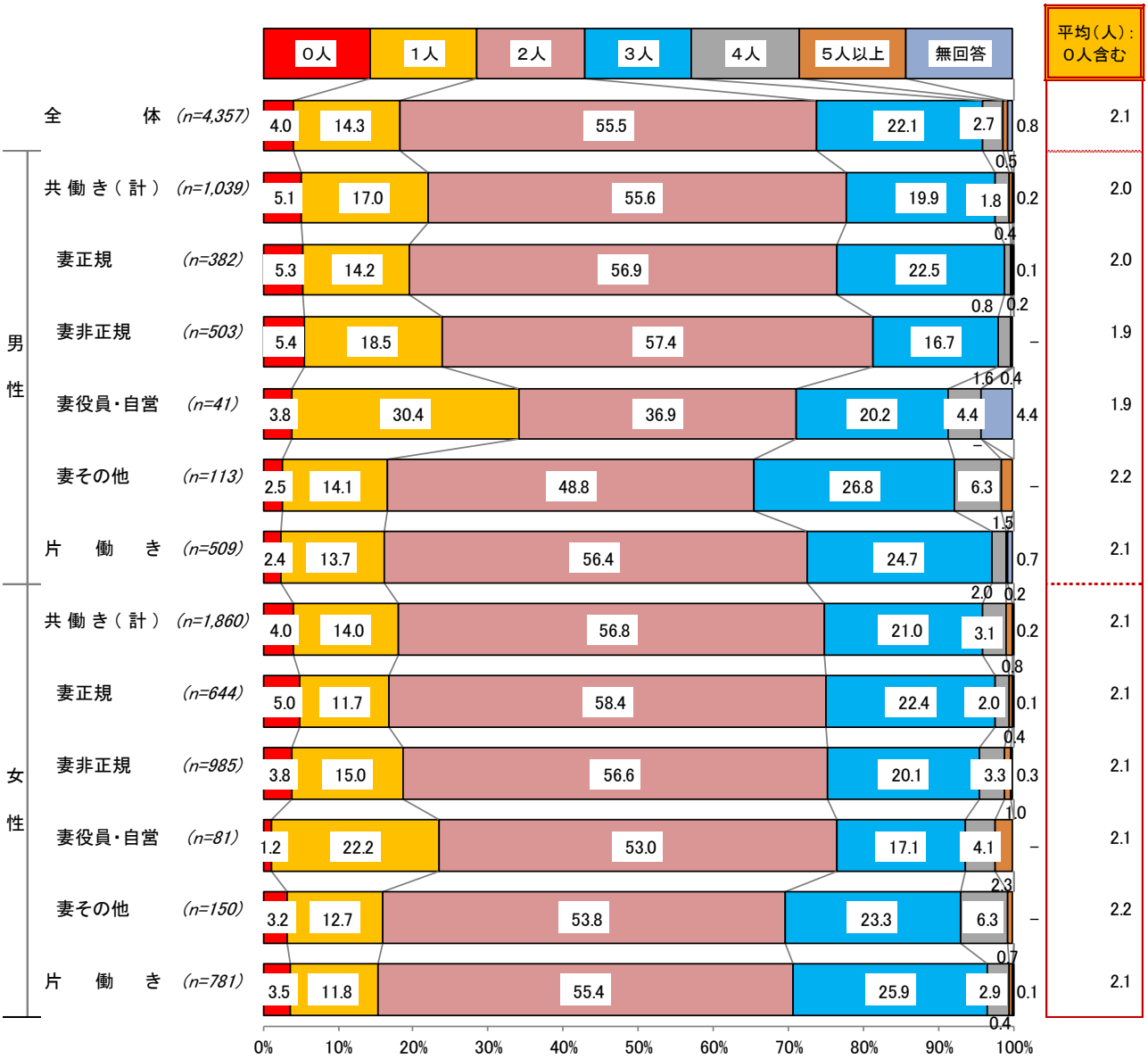
性・親の居住地別にみると（図表 3-12-4）、自分もしくは配偶者の親と同居している女性では、子どもを「3 人」持つ予定の者が 31.2%と、他の属性より多くなっている。

図表 3-12-4　予定する子どもの人数（性・親の居住地別）



性・共働き状況別にみると（図表 3-12-5）、大きな差はみられないが、共働きで妻が役員・自営業の世帯の女性では「1 人」が他の属性よりやや多くなっている。

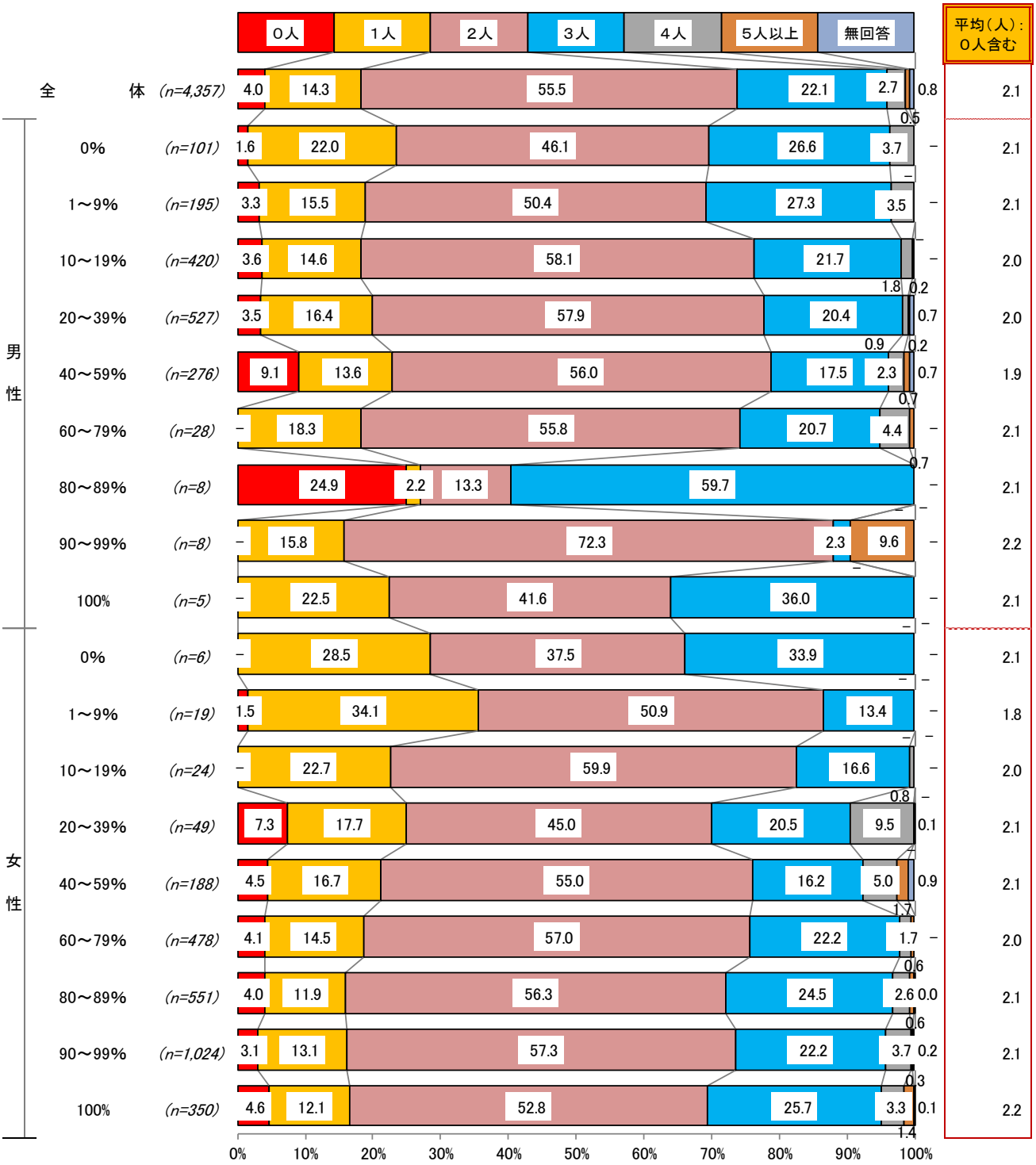
図表 3-12-5　予定する子どもの人数（性・共働き状況別）



性・育児以外の家事分担割合別にみると（図表 3-12-6）、男性では育児以外の家事分担割合が低いい層ほど、子どもを「3 人」持つ予定という者が多い傾向がある。ただし、家事分担を全くしていない（0%）男性で、子どもは「1 人」という者も 22.0%と、他の層より多くなっている。

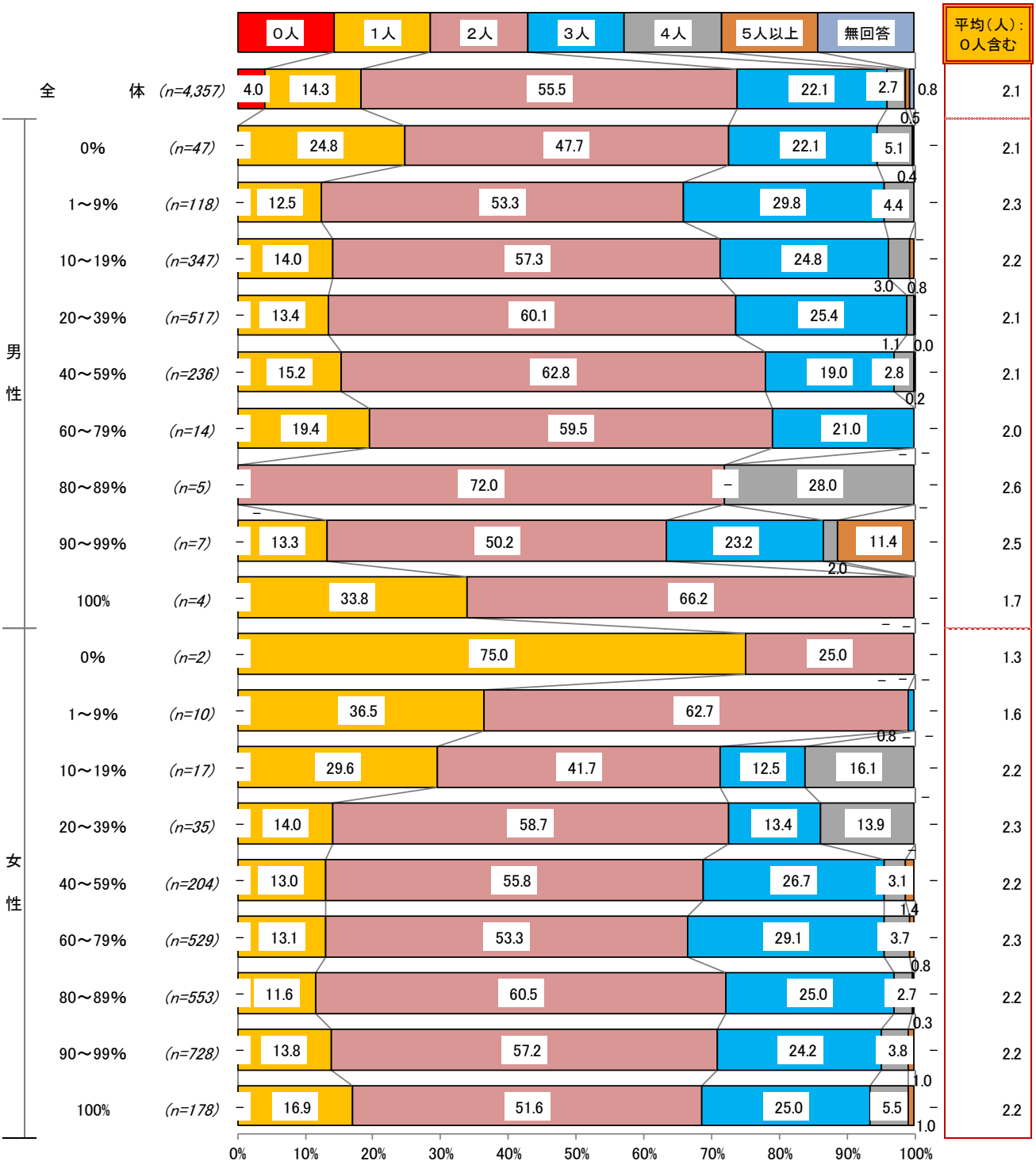
女性では、家事分担比率が大きくなるほど、「3 人」予定しているという回答者が増加傾向にある。

図表 3-12-6　予定する子どもの人数（性・育児以外の家事分担割合別）



性・育児の分担割合別にみると（図表 3-12-7）、男性では、家事同様に育児の分担割合の低い者ほど、子どもを「3 人」持つ予定という者が多い傾向があり、1～9%程度分担している者は 3 割が「3 人」（29.8%）と回答している。

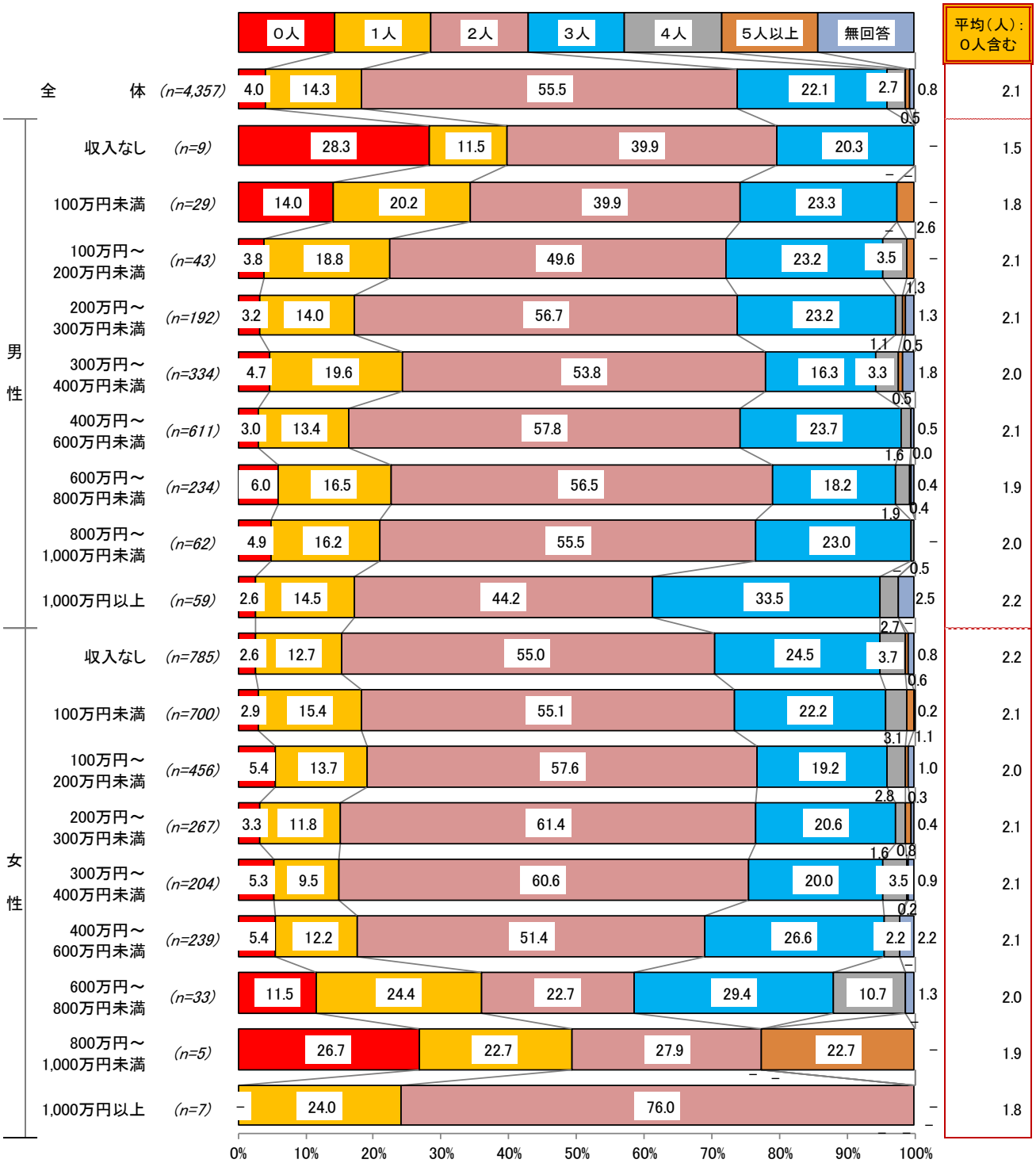
図表 3-12-7　予定する子どもの人数（性・育児の分担割合別）



性・個人年収別にみると（図表 3-12-8）、男性は、年収 1,000 万円以上の層で「3 人」予定している者が 33.5%で、他の年収層より多くなっている。

一方、女性では、年収 400～600 万円の層で「3 人」予定しているという者が 26.6%と他の年収層より多くなっている。

図表 3-12-8　予定する子どもの人数（性・個人年収別）



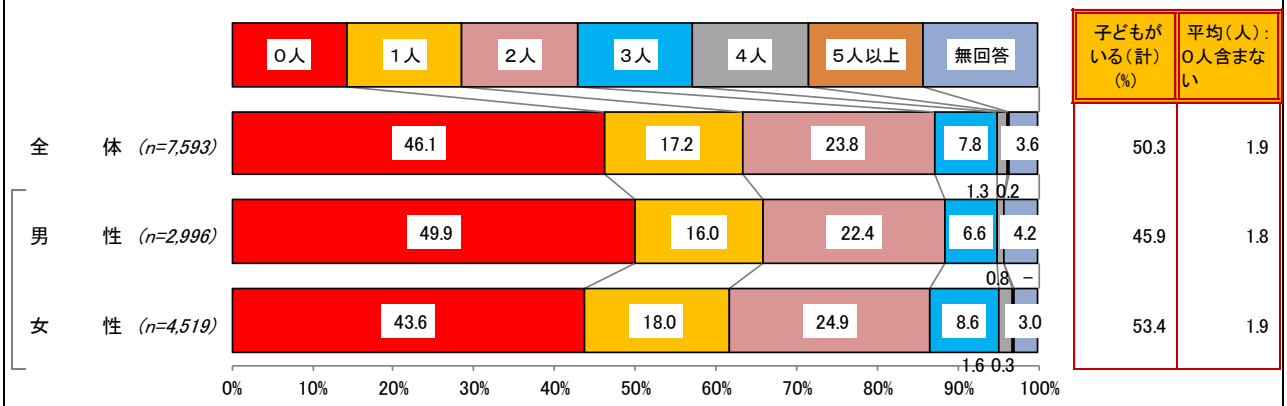
## (13) 現在の子どもの状況

【全員の方にお聞きします。】

問３７　あなたにはお子さんがいますか。独立して別居しているお子さんも含めて、人数をお答えください。お子さんがいない場合は、「０」とご記入ください。

【お子さんがいる方に】お子さんは、それぞれ、現在何歳ですか。５人以上いる場合は、４人目の欄に一番下のお子さんの年齢をお答えください。

図表 3-13-1




本調査の回答者全員（7,593 人）の子どもについて、独立して別居している子どもを含めて聞いた（図表 3-13-1）。

子どもの人数として「0」と回答した子どものいない者は 46.1%で、半数の者には『子どもがいる』。

子どもの人数としては、「2 人」が 23.8%、「1 人」が 17.2%で、子どもがいる人の平均人数は 1.9 人である。

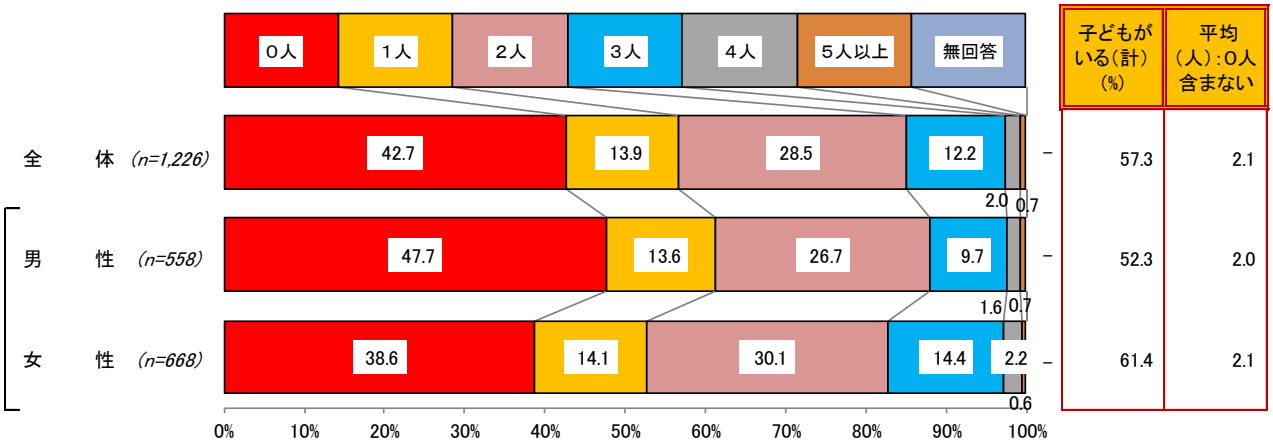
男女別にみると（図表 3-13-1）、子どものいない（「0 人」）者（男性 49.9%、女性 43.6%）が女性より男性にやや多いものの、大きな差はみられない。

〈参考：全国調査〉

全国調査では、「0」と回答した子どものいない者は 42.7%で、「2 人」が 28.5%である。子どもがいる人の平均人数は 2.1 人で、府民調査よりやや多い。

男女別にみると、子どものいない（「0 人」）者（男性 47.7%、女性 38.6%）は、男性が女性を 9 ポイント上回っている。

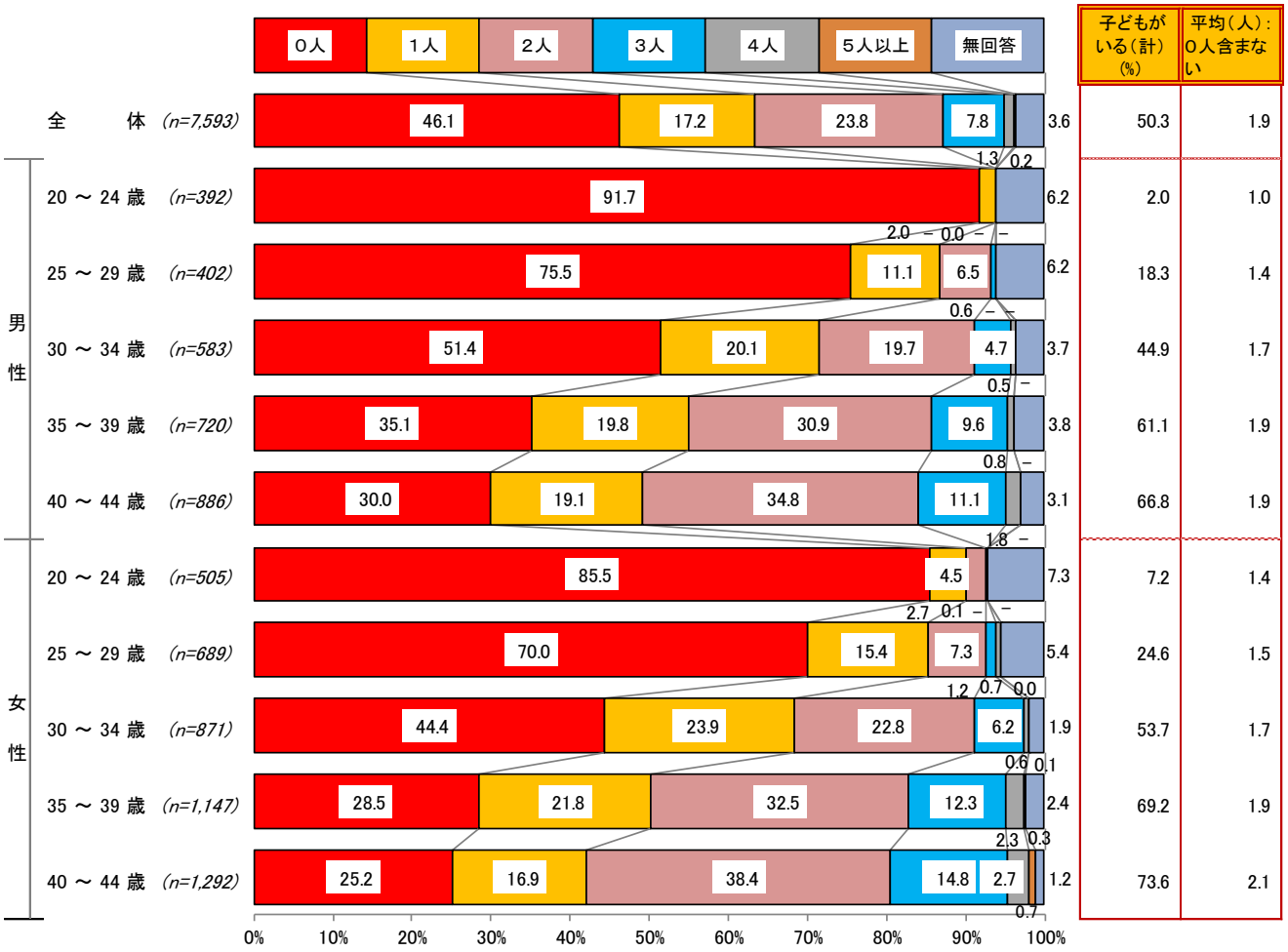
参考 3-13-1　現在の子どもの状況



性・年代別にみると（図表 3-13-2）、男性では 35 歳以上で、女性では 30 歳以上になると、『子どもがいる』者が過半数となり、男性の 40～44 歳（66.8%）と女性の 35～44 歳（35～39 歳 69.2%、40～44 歳 73.6%）では 7 割前後となっている。一方、男女とも 20 歳代では、子どものいない者が多数を占めている。

子どもの人数は、男女とも 35 歳以上で「2 人」が 3 割を上回る。

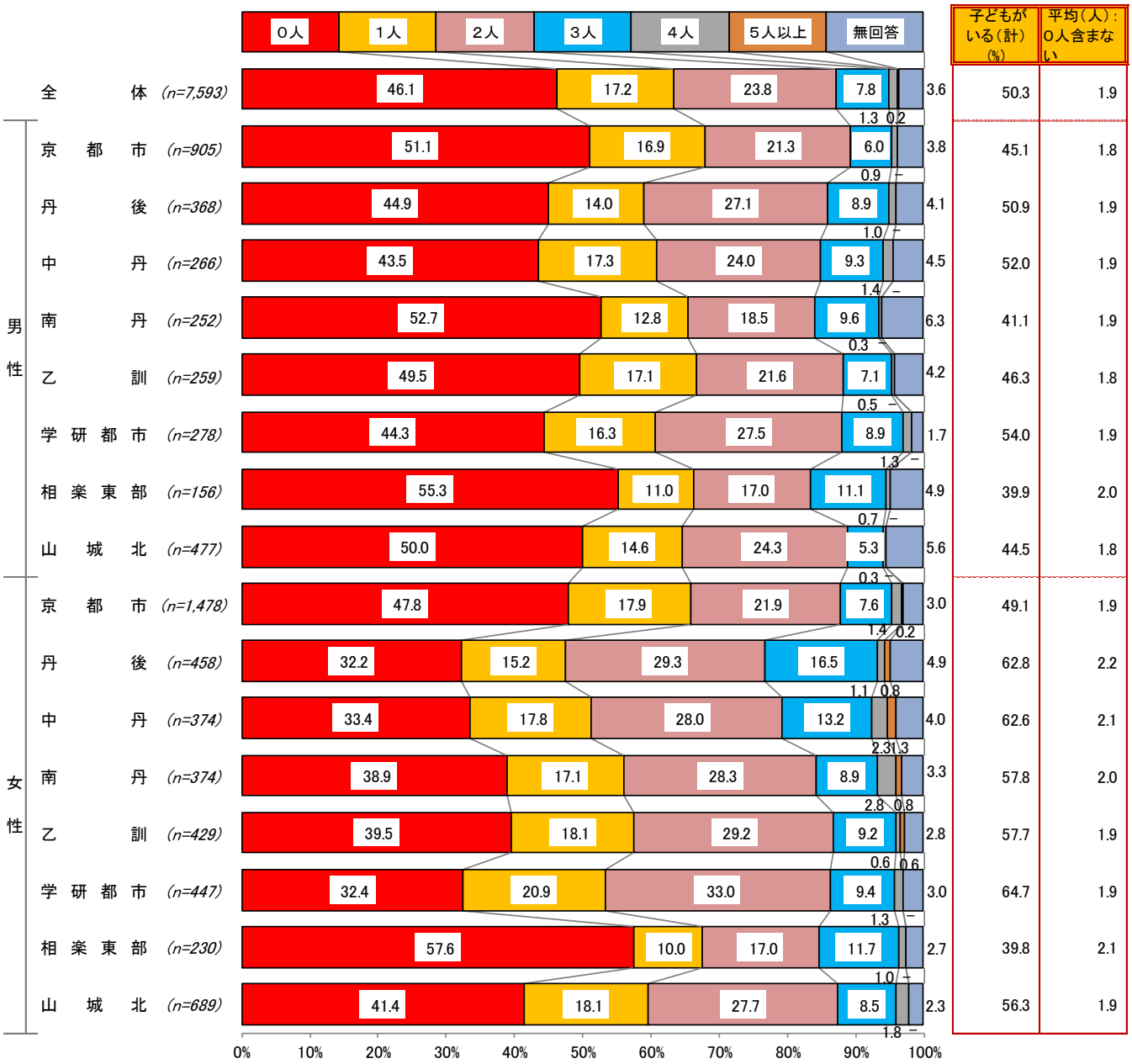
図表 3-13-2　現在の子どもの状況（性・年代別）



性・地域別にみると（図表 3-13-3）、『子どもがいる』者は、女性の学研都市（64.7%）、丹後（62.8%）、中丹（62.6%）の居住者で 6 割を上回っている。特に丹後居住の女性では、子どもが「3 人」いるという者が 16.5%と、他の地域より多く、平均子ども人数は 2.2 人である。

男性の中では、学研都市居住者（54.0%）に子どものいる者が、他の地域より多くなっている。

図表 3-13-3　現在の子どもの状況（性・地域別）

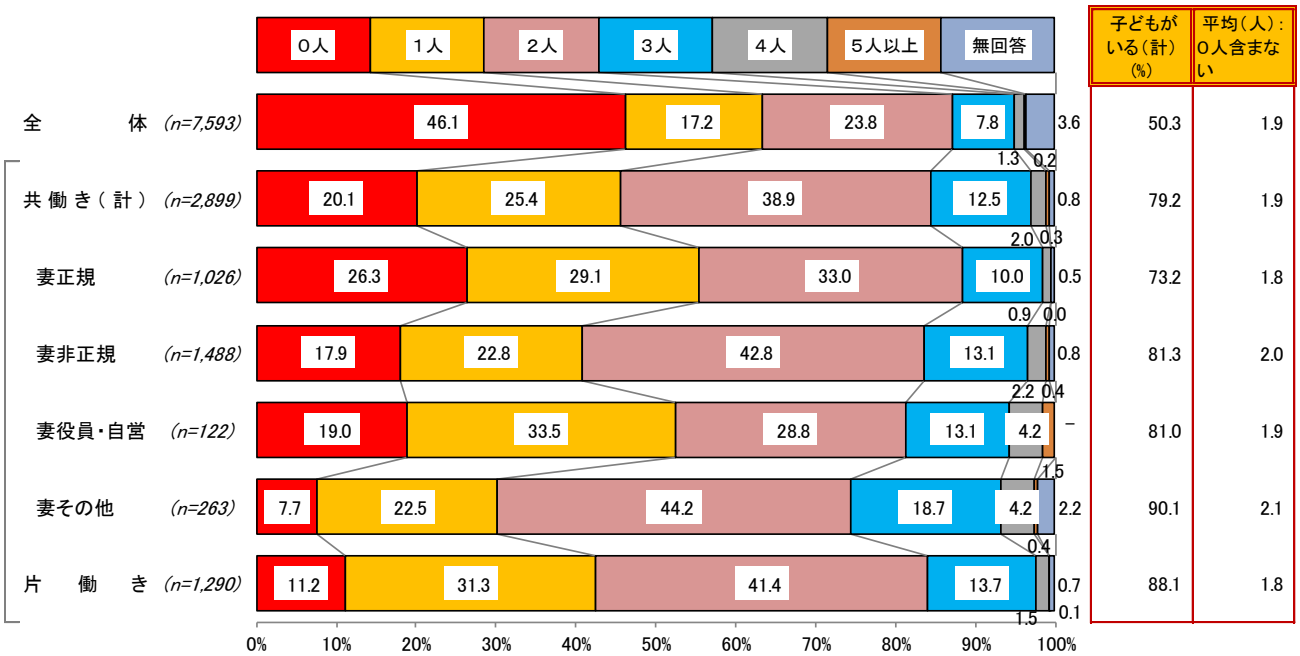


共働き状況別にみると（図表 3-13-4）、妻が家族従業者や内職などをしているその他有職の共働きでは、子どもが「3 人」（18.7%）いるという者 2 割近く、平均子ども人数は 2.1 人である。

妻が役員・自営業の共働きでは、子ども「1 人」（33.5%）が、「2 人」（28.8%）いるという者より多くなっている。また、妻が正規雇用者の共働きでは、子どものいない（「0 人」）者が他の属性より多くなっている。

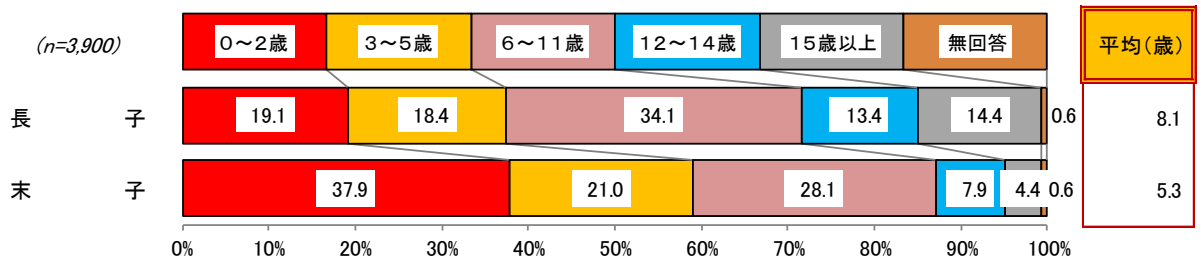
一方、片働きの世帯では、子どもが「2 人」（41.4%）に次いで「1 人」（31.3%）が 3 割で、子ども人数の平均は妻が正規雇用者の共働きと同じ 1.8 人である。

図表 3-13-4　現在の子どもの状況（共働き状況別）




子どもがいる者（3,900 人）の子どもの長子と末子の年齢をみると（図表 3-13-5）、長子年齢は「6～11 歳」が 34.1%で最も多く、次いで「3～5 歳」（18.4%）で、平均すると 8.1 歳である。一方、末子年齢は、「0～2 歳」が 37.9%で最も多く、平均すると 5.3 歳となっている。

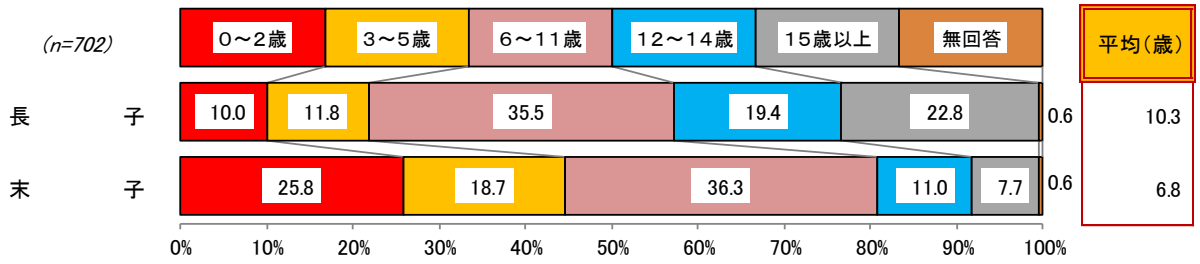
図表 3-13-5　長子・末子年齢



〈参考：全国調査〉

全国調査では、長子年齢の平均は 10.3 歳、末子年齢は 6.8 歳で、府民調査よりやや年齢が高い。

参考 3-13-2　長子・末子年齢

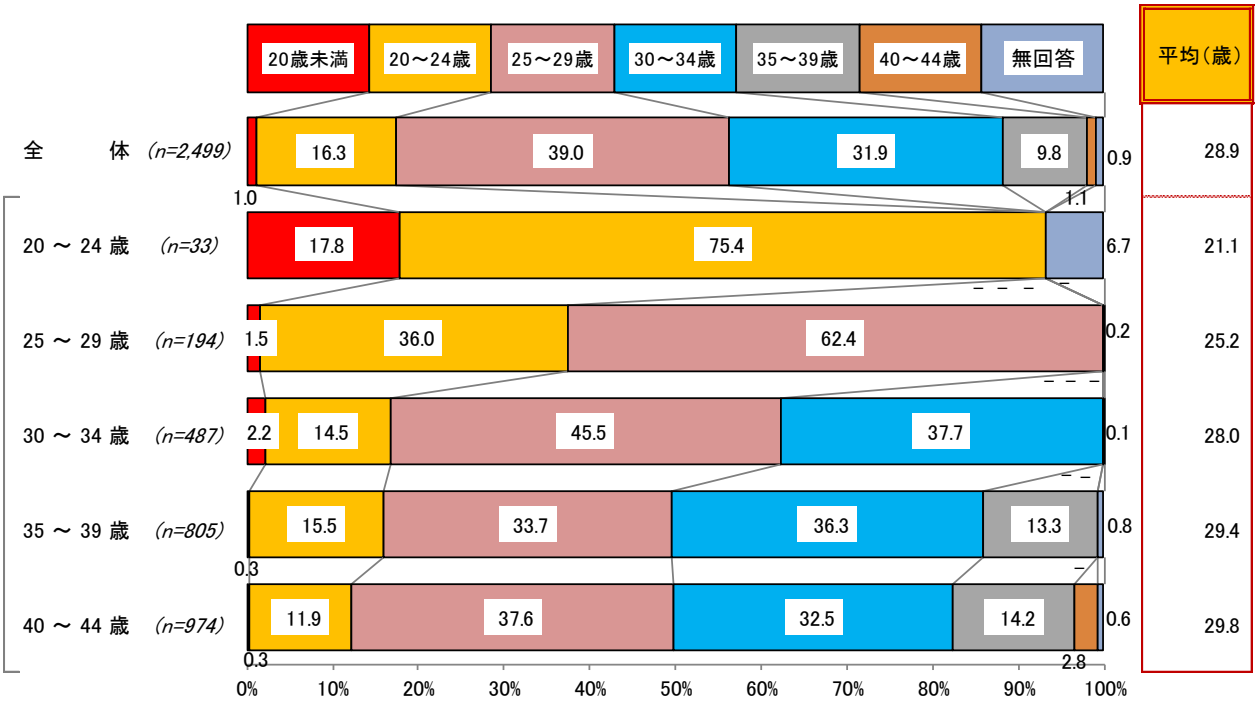



子どものいる女性（2,499 人）の現在年齢から長子年齢を差し引いて、“第一子出産年齢”を算出した（図表 3-13-6）。

第一子出産年齢は、「25～29 歳」が 39.0%で最も多く、次いで「30～34 歳」（31.9%）となっており、平均すると 28.9 歳である。

年代別にみると（図表 3-13-6）、現在 35～39 歳の年代では「30～34 歳」（36.3%）での第一子出産が最も多い。一方、現在 40～44 歳の年代では「25～29 歳」（37.6%）での出産が最も多く、出産のピーク年齢が、現在 30 代後半の世代よりも早い。

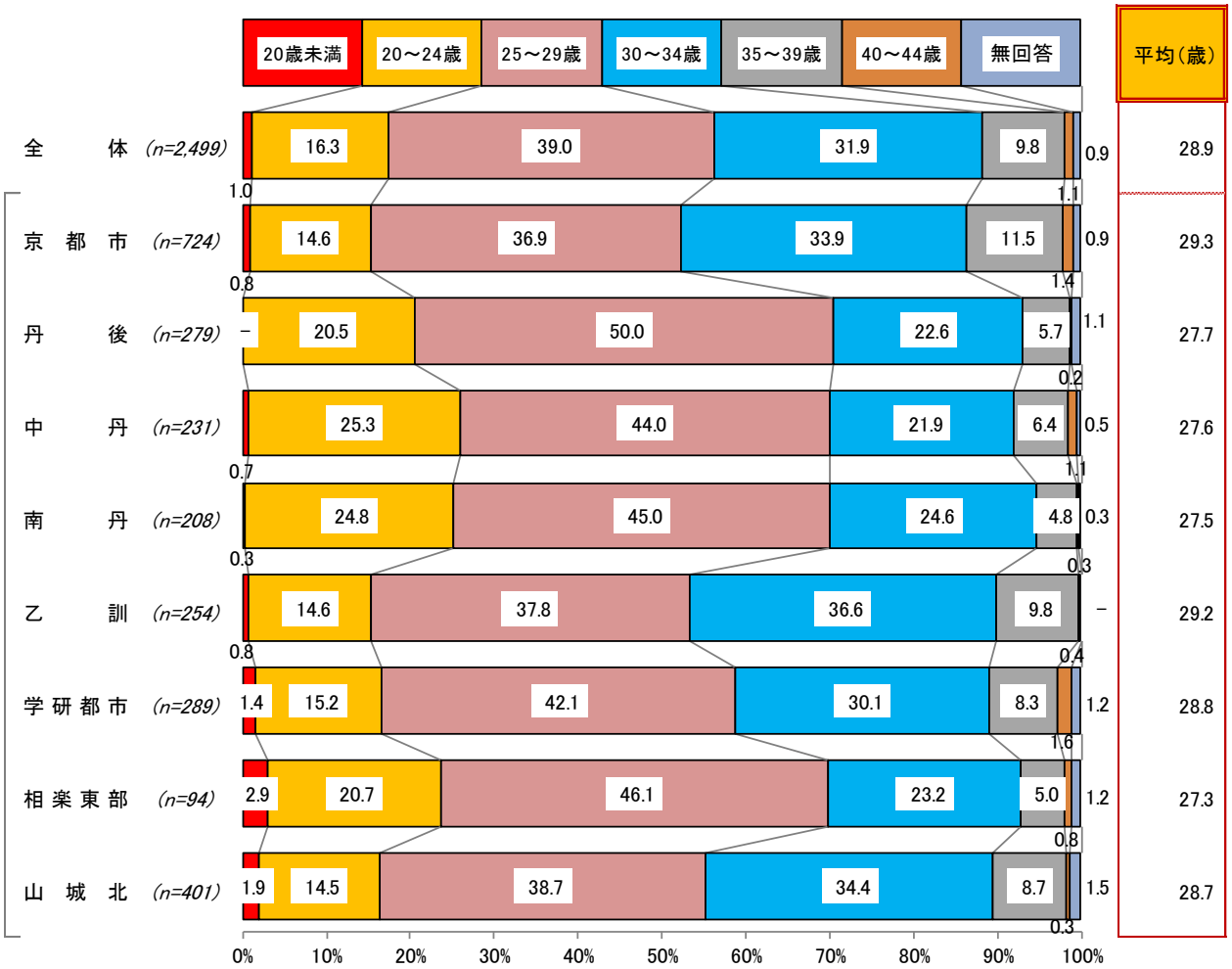
図表 3-13-6　第一子出産年齢（年代別）



地域別にみると（図表 3-13-7）、いずれの地域でも「25～29 歳」での第一子出産が最も多い。中丹地域と南丹地域では、次いで「20～24 歳」（中丹 25.3%、南丹 24.8%）での第一子出産が多いが、他の地域では「30～34 歳」での出産が多くなっている。

平均第一子出産年齢が最も高いのは京都市居住者の 29.3 歳で、乙訓居住者（29.2 歳）がこれに続いている。

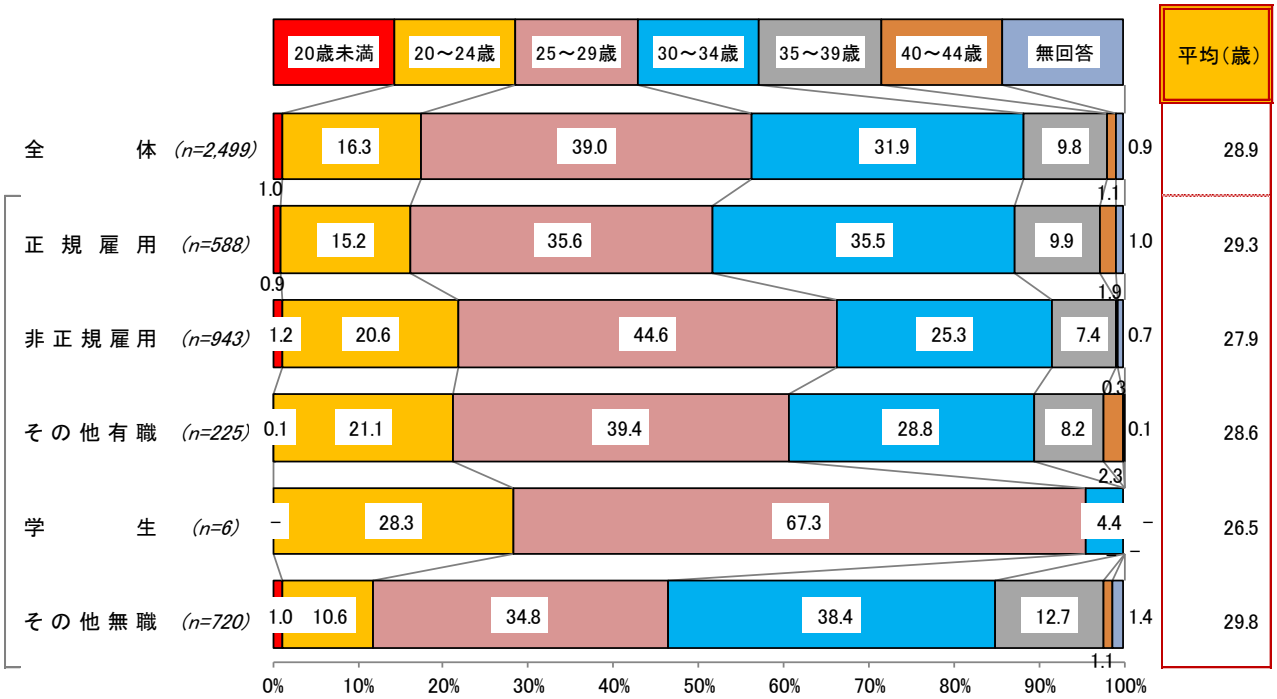
図表 3-13-7　第一子出産年齢（地域別）



就労状況別にみると（図表 3-13-8）、学生以外のその他無職では「30～34 歳」（38.4%）での第一子出産が 4 割近く、平均第一子出産年齢は 29.8 歳で、他の層より高くなっている。正規雇用者では、「25～29 歳」（35.6%）と「30～34 歳」（35.5%）がほぼ同率で、平均すると 29.3 歳となっている。

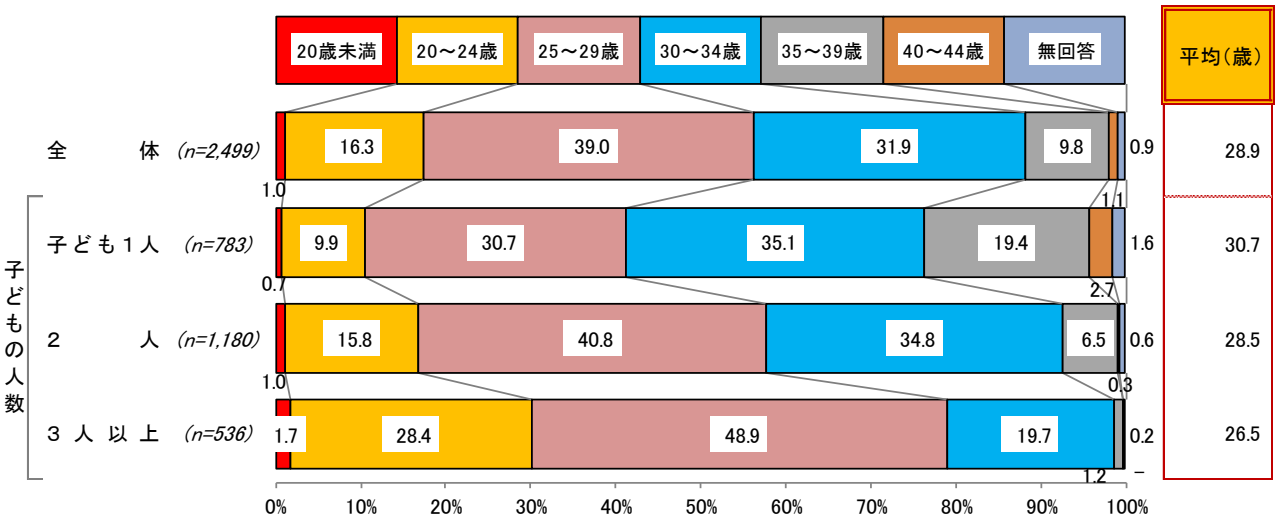
一方、非正規雇用者は「25～29 歳」での出産が 44.6%を占め、平均すると 27.9 歳と、第一子出産年齢は他の層よりも低い。

図表 3-13-8　第一子出産年齢（就労状況別）




子どもの人数別にみると（図表 3-13-9）、子どもが 3 人以上いる者では、ほぼ半数が第一子を「25～29 歳」（48.9%）で出産し、次いで「20～24 歳」（28.4%）が 3 割近くで、平均出産年齢は 26.5 歳である。これに対して、現在子どもが 1 人の者では「30～34 歳」（35.1%）での出産が最も多く、平均すると第一子出産年齢は 30.7 歳である。

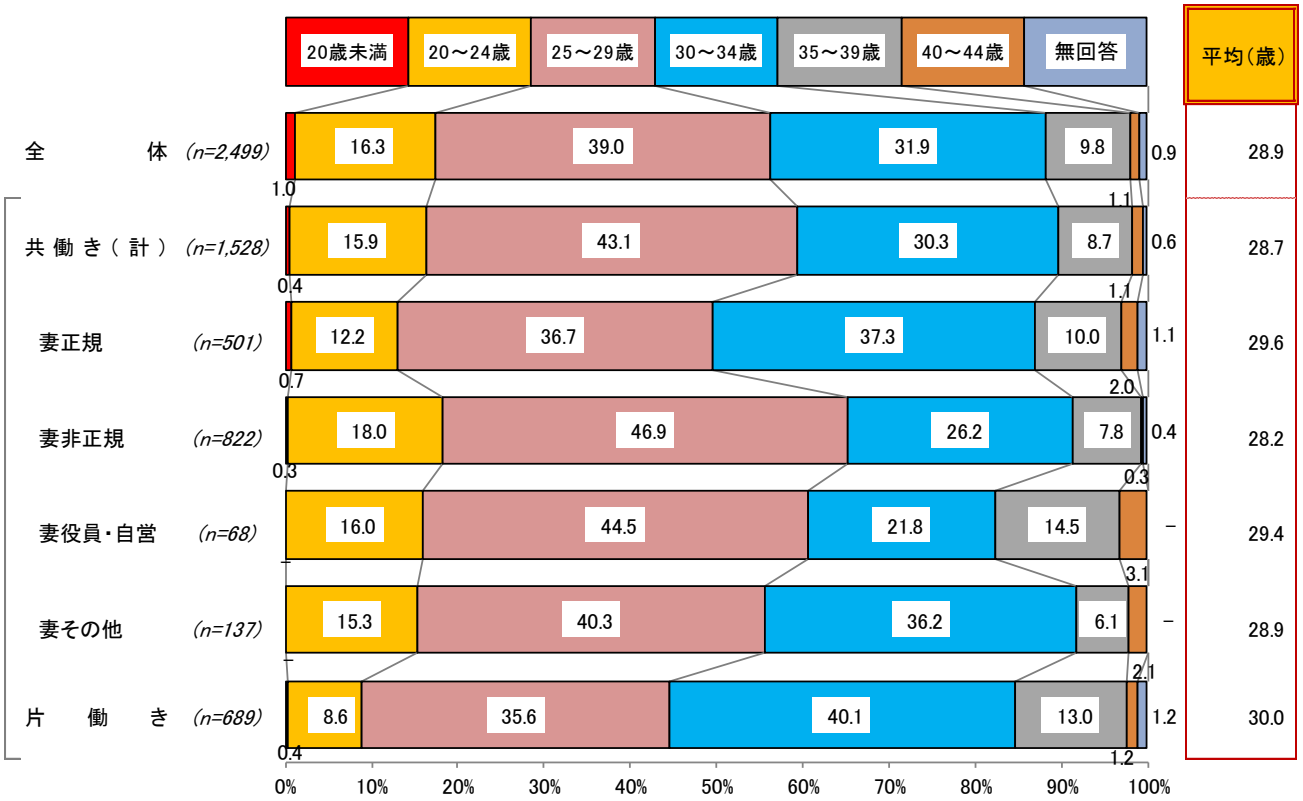
図表 3-13-9　第一子出産年齢（子どもの人数別）



共働き状況別にみると（図表 3-13-10）、片働き世帯では「30～34 歳」（40.1%）での出産が 4 割で、平均出産年齢は 30.0 歳と他の層よりも高い。妻が正規雇用者の共働きの平均出産年齢は 29.6 歳である。

一方、妻が非正規雇用者の共働きでは、半数近くが「25～29 歳」（46.9%）に出産しており、平均第一子出産年齢は 28.2 歳と最も低くなっている。

図表 3-13-10　第一子出産年齢（共働き状況別）



## (14) 配偶者（パートナー）との育児分担

【お子さんのいる方にお聞きします。お子さんのいない方は、問４０へお進みください。】

問３８　日ごろ、配偶者（パートナー）との育児の分担はどのようにしていますか。全体を 100%としてお答えください。

図表 3-14-1

(%)

| | | 0% | 1 ～ 9% | 10% 台 | 20% 台 | 30% 台 | 40% 台 | 50% 台 | 60% 台 | 70% 台 | 80% 台 | 90% 台 | 100% | 無回答 | 平均（%） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全体 | (n=3,900) | 1.6 | 3.5 | 10.2 | 7.3 | 7.5 | 3.1 | 7.4 | 4.5 | 9.2 | 15.0 | 20.3 | 8.6 | 1.9 | 59.6 |
| 男性 | (n=1,370) | 4.2 | 9.0 | 27.5 | 19.5 | 19.9 | 7.2 | 8.7 | 0.3 | 0.7 | 0.5 | 0.5 | 0.9 | 1.3 | 23.2 |
| 女性 | (n=2,499) | 0.1 | 0.4 | 0.7 | 0.7 | 0.7 | 0.9 | 6.6 | 6.8 | 13.9 | 22.8 | 31.1 | 12.9 | 2.2 | 79.8 |

子どものいる者（3,900 人）に、日ごろの配偶者（パートナー）との育児分担について聞いたところ（図表 3-14-1）、「90%台」が 20.3%で最も多く、次いで「80%台」（15.0%）、「10%台」（10.2%）、「70%台」（9.2%）と回答は分散しており、平均分担割合は 6 割（59.6%）となっている。

男女別にみると（図表 3-14-1）、男性は「10%台」（27.5%）、「30%台」（19.9%）、「20%台」（19.5%）で、平均すると 23.2%程度分担している。これに対して、女性は「90%台」が 31.1%で最も多く、次いで「80%台」（22.8%）、「70%台」（13.9%）と、平均 79.8%を分担しており、男女差が大きい。

〈参考：全国調査〉

全国調査で子どものいる者（702 人）の日ごろの配偶者（パートナー）との育児分担は、男性では「30%台」（23.6%）、「10%台」（22.9%）、「20%台」（18.2%）が中心で平均 25.1%の分担となっており、府民調査よりやや分担割合が高い。

一方、女性では「90%台」が 32.9%で最も多く、平均 81.3%を分担しており、男女の差が大きくなっている。府民調査と比較すると、育児の分担割合は、府民調査よりやや高くなっている。

**参考 3-14　配偶者（パートナー）との育児分担**

(%)

| | | 0% | 1～9% | 10%台 | 20%台 | 30%台 | 40%台 | 50%台 | 60%台 | 70%台 | 80%台 | 90%台 | 100% | 無回答 | 平均（%） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全体 | (n=702) | 1.6 | 3.4 | 9.5 | 8.0 | 10.0 | 5.1 | 8.7 | 3.7 | 6.7 | 13.5 | 19.4 | 9.3 | 1.1 | 57.9 |
| 男性 | (n=292) | 3.8 | 7.2 | 22.9 | 18.2 | 23.6 | 11.3 | 10.3 | 0.3 | 0.3 | － | 0.3 | 0.7 | 1.0 | 25.1 |
| 女性 | (n=410) | － | 0.7 | － | 0.7 | 0.2 | 0.7 | 7.6 | 6.1 | 11.2 | 23.2 | 32.9 | 15.4 | 1.2 | 81.3 |

性・年代別にみると（図表 3-14-2）、女性は年代による差が小さく、いずれの年代でも 80%程度の分担をしている。一方、男性では、40～44 歳の育児分担割合が男性の中ではやや高く、平均すると 24.1%である。

図表 3-14-2　配偶者（パートナー）との育児分担（性・年代別）

(%)

| | | | 0% | 1 ～ 9% | 10% 台 | 20% 台 | 30% 台 | 40% 台 | 50% 台 | 60% 台 | 70% 台 | 80% 台 | 90% 台 | 100% | 無回答 | 平均（%） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全体 | | (n=3,900) | 1.6 | 3.5 | 10.2 | 7.3 | 7.5 | 3.1 | 7.4 | 4.5 | 9.2 | 15.0 | 20.3 | 8.6 | 1.9 | 59.6 |
| 男性 | 20 ～ 24 歳 | (n=6) | － | 23.7 | 5.0 | 54.9 | 0.8 | 15.6 | － | － | － | － | － | － | － | 21.5 |
| 男性 | 25 ～ 29 歳 | (n=79) | 2.9 | 1.2 | 34.5 | 31.2 | 16.5 | 3.5 | 8.1 | － | － | － | 0.3 | 0.0 | 1.7 | 21.2 |
| 男性 | 30 ～ 34 歳 | (n=255) | 1.6 | 7.5 | 32.9 | 18.1 | 21.5 | 7.9 | 7.3 | 0.4 | － | － | 1.2 | 0.4 | 1.4 | 22.9 |
| 男性 | 35 ～ 39 歳 | (n=429) | 2.6 | 10.5 | 26.1 | 22.1 | 20.8 | 6.9 | 8.2 | 0.2 | 1.1 | － | 0.3 | 0.4 | 0.8 | 22.7 |
| 男性 | 40 ～ 44 歳 | (n=596) | 6.9 | 9.1 | 25.4 | 15.8 | 19.4 | 7.5 | 10.1 | 0.4 | 0.8 | 1.3 | 0.2 | 1.7 | 1.6 | 24.1 |
| 女性 | 20 ～ 24 歳 | (n=33) | － | － | － | 4.9 | － | 0.2 | 4.7 | 5.3 | 7.5 | 13.9 | 25.8 | 29.8 | 7.9 | 83.4 |
| 女性 | 25 ～ 29 歳 | (n=194) | － | － | － | － | 1.6 | － | 6.3 | 8.3 | 17.8 | 25.5 | 29.9 | 7.2 | 3.4 | 79.6 |
| 女性 | 30 ～ 34 歳 | (n=487) | 0.1 | 0.0 | 0.4 | 0.4 | 0.2 | 0.3 | 8.0 | 7.6 | 18.5 | 25.6 | 30.4 | 7.4 | 1.0 | 78.7 |
| 女性 | 35 ～ 39 歳 | (n=805) | 0.0 | 1.1 | 1.1 | 0.8 | 0.6 | 1.0 | 5.0 | 7.6 | 11.1 | 25.1 | 31.4 | 12.8 | 2.4 | 79.8 |
| 女性 | 40 ～ 44 歳 | (n=974) | 0.2 | 0.2 | 0.8 | 0.6 | 1.1 | 1.3 | 7.5 | 5.4 | 13.5 | 19.3 | 31.6 | 16.2 | 2.3 | 80.1 |

性・地域別にみると（図表 3-14-3）、男性では相楽東部居住者で「40%台」（21.0%）という者が 2 割台だが、平均すると丹後居住者の分担割合が 27.1%と、最も高くなっている。一方、女性では、乙訓 80.8%、京都市 80.5%など、いずれの地域でも 8 割前後を分担している。

**図表 3-14-3　配偶者（パートナー）との育児分担（性・地域別）**

(%)

| | | | 0% | 1 ～ 9% | 10% 台 | 20% 台 | 30% 台 | 40% 台 | 50% 台 | 60% 台 | 70% 台 | 80% 台 | 90% 台 | 100% | 無回答 | 平均（%） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全体 | | (n=3,900) | 1.6 | 3.5 | 10.2 | 7.3 | 7.5 | 3.1 | 7.4 | 4.5 | 9.2 | 15.0 | 20.3 | 8.6 | 1.9 | 59.6 |
| 男性 | 京都市 | (n=408) | 4.3 | 8.6 | 29.6 | 19.5 | 20.2 | 6.7 | 8.0 | 0.2 | 0.7 | − | 0.3 | 1.0 | 1.0 | 22.3 |
| | 丹後 | (n=181) | 5.1 | 6.3 | 20.0 | 14.3 | 22.2 | 14.6 | 13.1 | 0.4 | 1.5 | 0.3 | 0.3 | 0.5 | 1.5 | 27.1 |
| | 中丹 | (n=137) | 7.0 | 2.0 | 32.0 | 15.4 | 20.4 | 6.4 | 7.9 | − | 1.8 | 0.9 | 0.9 | 1.6 | 3.5 | 24.7 |
| | 南丹 | (n=106) | 3.5 | 21.3 | 23.1 | 14.0 | 13.4 | 11.0 | 8.6 | 1.2 | − | 0.6 | − | 0.3 | 3.0 | 21.1 |
| | 乙訓 | (n=123) | 5.6 | 6.8 | 23.9 | 21.1 | 21.4 | 8.9 | 6.8 | − | 0.9 | 1.4 | 0.9 | 2.5 | − | 25.5 |
| | 学研都市 | (n=148) | 0.9 | 11.1 | 23.6 | 15.5 | 24.1 | 8.1 | 12.8 | 1.1 | 0.7 | 1.6 | 0.7 | − | − | 26.1 |
| | 相楽東部 | (n=62) | 3.1 | 7.4 | 21.0 | 19.6 | 16.1 | 21.0 | 6.8 | − | − | − | 1.2 | − | 3.8 | 25.3 |
| | 山城北 | (n=198) | 3.7 | 10.6 | 23.9 | 25.8 | 17.0 | 5.0 | 9.2 | − | − | 1.5 | 0.8 | 0.7 | 1.9 | 22.9 |
| 女性 | 京都市 | (n=724) | 0.1 | 0.5 | 0.5 | 0.8 | 0.3 | 0.8 | 6.2 | 6.6 | 13.1 | 22.6 | 32.3 | 13.7 | 2.3 | 80.5 |
| | 丹後 | (n=279) | − | 0.0 | 1.0 | 1.5 | 1.7 | 0.8 | 6.1 | 8.2 | 17.0 | 22.9 | 24.2 | 12.5 | 4.0 | 77.7 |
| | 中丹 | (n=231) | 0.2 | − | 0.5 | 0.5 | 1.2 | 0.5 | 9.1 | 8.5 | 16.2 | 23.5 | 25.2 | 11.6 | 2.9 | 77.6 |
| | 南丹 | (n=208) | − | 0.9 | 1.9 | 0.3 | 1.1 | − | 6.9 | 7.3 | 13.5 | 25.2 | 25.2 | 13.5 | 4.2 | 78.2 |
| | 乙訓 | (n=254) | 0.4 | − | 0.5 | 0.4 | 0.5 | − | 5.1 | 9.1 | 14.1 | 22.3 | 33.6 | 11.8 | 2.0 | 80.8 |
| | 学研都市 | (n=289) | − | 0.2 | 0.6 | 0.2 | 1.1 | 1.7 | 7.4 | 7.4 | 17.0 | 22.4 | 33.7 | 7.2 | 1.2 | 78.5 |
| | 相楽東部 | (n=94) | 1.3 | 1.2 | − | − | − | 2.1 | 8.9 | 9.2 | 20.3 | 19.2 | 19.3 | 13.1 | 5.5 | 75.7 |
| | 山城北 | (n=401) | 0.0 | 0.3 | 1.4 | 0.4 | 1.6 | 1.8 | 7.0 | 4.5 | 13.2 | 23.6 | 30.8 | 13.9 | 1.4 | 79.6 |

性・就労状況別にみると（図表 3-14-4）、女性では、学生以外のその他無職で育児分担が 82.9%と、他の就労状況に比べ高い。一方、女性の正規雇用者は、育児分担が 75.2%と、女性の中では育児分担割合がやや低い。

これに対して、男性では就労状況による差はみられず、いずれも 2 割台である。

図表 3-14-4　配偶者（パートナー）との育児分担（性・就労状況別）

(%)

| | | | 0% | 1 ～ 9% | 10% 台 | 20% 台 | 30% 台 | 40% 台 | 50% 台 | 60% 台 | 70% 台 | 80% 台 | 90% 台 | 100% | 無回答 | 平均（%） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全体 | | (n=3,900) | 1.6 | 3.5 | 10.2 | 7.3 | 7.5 | 3.1 | 7.4 | 4.5 | 9.2 | 15.0 | 20.3 | 8.6 | 1.9 | 59.6 |
| 男性 | 正規雇用 | (n=1,039) | 4.3 | 8.8 | 27.2 | 19.7 | 20.9 | 7.4 | 8.3 | 0.1 | 0.7 | 0.3 | 0.3 | 0.8 | 1.1 | 22.9 |
| 男性 | 非正規雇用 | (n=77) | － | 4.7 | 33.9 | 31.8 | 9.7 | 2.8 | 9.7 | － | 1.0 | 0.2 | 1.9 | 3.2 | 0.9 | 25.0 |
| 男性 | その他有職 | (n=228) | 5.0 | 12.3 | 28.4 | 13.8 | 18.9 | 7.2 | 9.8 | 1.1 | － | 0.5 | 0.5 | 0.9 | 1.7 | 22.6 |
| 男性 | 学生 | (n=1) | － | － | 100.0 | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | 10.0 |
| 男性 | その他無職 | (n=17) | 9.4 | － | 12.6 | 18.2 | 11.7 | － | 16.0 | － | 5.4 | 15.5 | 1.4 | － | 9.9 | 37.5 |
| 女性 | 正規雇用 | (n=588) | 0.4 | 0.2 | 0.3 | 1.1 | 1.9 | 2.8 | 9.0 | 12.4 | 12.5 | 22.7 | 23.2 | 10.7 | 2.7 | 75.2 |
| 女性 | 非正規雇用 | (n=943) | 0.1 | 0.6 | 1.3 | 1.0 | 0.4 | 0.6 | 8.0 | 5.9 | 14.0 | 18.9 | 28.7 | 17.7 | 2.5 | 79.7 |
| 女性 | その他有職 | (n=225) | － | 0.5 | 0.3 | 0.4 | 0.1 | 0.1 | 10.5 | 8.4 | 10.7 | 23.6 | 31.4 | 10.9 | 3.1 | 79.3 |
| 女性 | 学生 | (n=6) | － | － | － | － | － | － | － | 37.4 | 4.9 | 5.7 | － | 23.7 | 28.3 | 75.5 |
| 女性 | その他無職 | (n=720) | － | 0.4 | 0.5 | － | 0.5 | 0.2 | 2.6 | 3.3 | 16.0 | 27.3 | 38.8 | 9.2 | 1.2 | 82.9 |

性・共働き状況別にみると（図表 3-14-5）、男性で妻が正規雇用者の共働き（平均 28.4%）では育児分担が 3 割近いが、片働きでは、自分の分担が「10%台」という者が 36.5%で最も多く、平均分担割合（18.8%）は 2 割弱にとどまっている。

一方、女性でも、妻が正規雇用者の共働きの場合は平均 74.0%と、分担割合が高くなっている。妻が正規雇用者以外の共働きでは、女性は 8 割近い分担をしている。

**図表 3-14-5　配偶者（パートナー）との育児分担（性・共働き状況別）**

(%)

| | | | 0% | 1 ～ 9% | 10% 台 | 20% 台 | 30% 台 | 40% 台 | 50% 台 | 60% 台 | 70% 台 | 80% 台 | 90% 台 | 100% | 無回答 | 平均（%） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全体 | | (n=3,614) | 1.2 | 3.7 | 10.7 | 7.7 | 7.9 | 3.3 | 7.7 | 4.7 | 9.7 | 15.7 | 21.3 | 5.6 | 0.6 | 58.4 |
| 男性 | 共働き（計） | (n=823) | 2.9 | 7.8 | 23.6 | 20.2 | 21.3 | 9.2 | 12.0 | 0.3 | 0.7 | 0.3 | 0.7 | 0.4 | 0.7 | 25.0 |
| | 妻正規 | (n=283) | 0.2 | 5.4 | 19.1 | 18.9 | 25.6 | 12.4 | 14.9 | 0.4 | 0.2 | 0.5 | 0.3 | 0.7 | 1.4 | 28.4 |
| | 妻非正規 | (n=404) | 5.1 | 9.7 | 24.9 | 21.9 | 18.6 | 7.2 | 9.6 | 0.3 | 0.9 | 0.2 | 1.1 | 0.3 | 0.4 | 23.0 |
| | 妻役員・自営 | (n=32) | 3.1 | 16.5 | 18.5 | 17.8 | 29.1 | 7.5 | 7.5 | － | － | － | － | － | － | 21.8 |
| | 妻その他 | (n=104) | 1.2 | 3.5 | 33.1 | 17.5 | 18.4 | 9.0 | 15.5 | － | 1.8 | － | － | － | － | 25.4 |
| | 片働き | (n=453) | 3.8 | 12.1 | 36.5 | 19.4 | 18.2 | 4.6 | 3.8 | 0.3 | 0.4 | 0.3 | 0.2 | 0.4 | 0.0 | 18.8 |
| 女性 | 共働き（計） | (n=1,528) | 0.0 | 0.3 | 0.9 | 1.1 | 1.0 | 1.1 | 9.3 | 9.1 | 14.6 | 22.5 | 30.1 | 9.1 | 0.9 | 77.1 |
| | 妻正規 | (n=501) | － | － | 0.0 | 1.2 | 2.1 | 2.7 | 9.8 | 14.4 | 14.1 | 24.8 | 26.4 | 3.7 | 0.7 | 74.0 |
| | 妻非正規 | (n=822) | 0.0 | 0.5 | 1.5 | 1.2 | 0.5 | 0.5 | 8.5 | 6.1 | 15.5 | 20.7 | 31.4 | 12.5 | 1.1 | 78.6 |
| | 妻役員・自営 | (n=68) | － | 1.5 | － | 0.4 | － | － | 18.3 | 11.2 | 10.3 | 17.2 | 29.2 | 9.0 | 2.8 | 75.4 |
| | 妻その他 | (n=137) | － | － | 0.5 | 0.5 | 0.1 | 0.1 | 7.6 | 8.2 | 12.6 | 29.0 | 35.2 | 6.1 | － | 79.5 |
| | 片働き | (n=689) | － | 0.6 | 0.5 | － | 0.6 | 0.8 | 3.0 | 3.9 | 16.4 | 27.1 | 39.3 | 7.3 | 0.4 | 81.8 |

性・子どもの人数別にみると（図表 3-14-6）、男女とも子どもの人数による大きな差はみられず、男性の平均分担は 2 割程度であるのに対して、女性は 8 割を分担している。

**図表 3-14-6　配偶者（パートナー）との育児分担（性・子どもの人数別）**

(%)

| | | | 0% | 1 ～ 9% | 10% 台 | 20% 台 | 30% 台 | 40% 台 | 50% 台 | 60% 台 | 70% 台 | 80% 台 | 90% 台 | 100% | 無回答 | 平均（%） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全体 | | (n=3,900) | 1.6 | 3.5 | 10.2 | 7.3 | 7.5 | 3.1 | 7.4 | 4.5 | 9.2 | 15.0 | 20.3 | 8.6 | 1.9 | 59.6 |
| 男性 | 1 人 | (n=440) | 3.7 | 7.9 | 28.0 | 18.8 | 19.5 | 7.7 | 9.3 | 0.0 | 0.7 | 0.2 | 0.7 | 0.5 | 2.9 | 23.3 |
| | 2 人 | (n=660) | 4.4 | 8.5 | 26.4 | 21.8 | 19.5 | 7.0 | 8.9 | 0.5 | 0.4 | 0.8 | 0.2 | 1.2 | 0.5 | 23.4 |
| | 3 人以上 | (n=270) | 4.6 | 12.6 | 29.7 | 13.8 | 21.7 | 6.5 | 6.8 | 0.2 | 1.8 | 0.4 | 0.8 | 1.0 | 0.1 | 22.4 |
| 女性 | 1 人 | (n=783) | 0.3 | 0.5 | 0.6 | 0.7 | 0.8 | 0.3 | 5.7 | 8.2 | 12.6 | 23.5 | 30.0 | 13.1 | 3.6 | 79.8 |
| | 2 人 | (n=1,180) | 0.1 | 0.6 | 0.6 | 0.5 | 0.6 | 1.4 | 7.6 | 6.1 | 13.5 | 24.7 | 31.6 | 11.1 | 1.6 | 79.4 |
| | 3 人以上 | (n=536) | 0.0 | 0.0 | 1.3 | 0.9 | 1.0 | 0.7 | 6.0 | 5.7 | 17.2 | 17.3 | 31.8 | 16.6 | 1.4 | 80.6 |

## (15) 保育サービスの利用経験

【お子さんのいる方にお聞きします。】

問３９　あなたは、これまでに保育サービスを利用したことがありますか。利用したことのあるものをいくつでもお選びください。

図表 3-15-1

(%)

| | | 認可保育所 | 学童保育（学童クラブ、放課後児童クラブ等） | 一時預かり | ファミリー・サポート・センター | 事業所内保育所・院内保育所 | 「事業所内」以外の認可外保育所 | 認定こども園 | 病児保育 | 自治体独自の保育所（認証保育所など） | ベビーシッター | 病後児保育 | 家庭的保育（保育ママ） | その他 | 保育サービスを利用したことはない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全体 | (n=3,900) | 43.7 | 20.6 | 14.5 | 4.0 | 3.5 | 2.6 | 2.6 | 2.4 | 1.8 | 1.4 | 1.0 | 0.3 | 2.6 | 34.4 | 4.0 |
| 男性 | (n=1,370) | 40.7 | 18.4 | 10.1 | 3.2 | 2.7 | 2.1 | 3.0 | 1.5 | 2.3 | 0.8 | 0.3 | 0.2 | 1.7 | 37.8 | 4.4 |
| 女性 | (n=2,499) | 45.3 | 21.7 | 16.9 | 4.3 | 3.8 | 2.9 | 2.3 | 3.0 | 1.4 | 1.6 | 1.4 | 0.3 | 3.1 | 32.6 | 3.8 |

子どものいる者（3,900 人）がこれまでに利用したことのある保育サービスとしては（図表 3-15-1）、「認可保育所」が 43.7%で最も多くあげられ、次いで「学童保育（学童クラブ、放課後児童クラブ等）」が 20.6%となっている。

「保育サービスを利用したことはない」という者は 34.4%で、6 割以上が何らかの保育サービスを利用した経験がある。

男女別にみると（図表 3-15-1）、「認可保育所」（男性 40.7%、女性 45.3%）と「一時預かり」（同 10.1%、16.9%）は、男性より女性に多くあげられている。「保育サービスを利用したことはない」（同 37.8%、32.6%）という者は、女性より男性に多くなっている。

〈参考：全国調査〉

全国調査で子どものいる者（702 人）が、これまでに利用したことのある保育サービスとしては、「認可保育所」が 37.2%で最も多くあげられ、次いで「学童保育」が 22.8%である。

「保育サービスを利用したことはない」という者は 39.3%で、約 6 割が何らかの保育サービスを利用したこと経験がある。

男女別にみると、女性の方が利用率が高い傾向があり、男性は 45.2%が「保育サービスを利用したことはない」と回答している。

府民調査と比較すると、「認可保育園」の利用経験者は、男女とも全国調査より府民調査の方が、やや多くなっている。

**参考 3-15　保育サービスの利用経験**

(%)

| | | 認可保育所 | 学童保育（学童クラブ、放課後児童クラブ等） | 一時預かり | 認定こども園 | 「事業所内」以外の認可外保育所 | ファミリー・サポート・センター | 病児保育 | 事業所内保育所・院内保育所 | 自治体独自の保育所（認証保育所など） | 病後児保育 | 家庭的保育（保育ママ） | ベビーシッター | その他 | 保育サービスを利用したことはない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全体 | (n=702) | 37.2 | 22.8 | 12.5 | 6.0 | 3.1 | 2.8 | 2.4 | 1.9 | 1.7 | 1.4 | 0.9 | 0.4 | 1.1 | 39.3 | 2.3 |
| 男性 | (n=292) | 34.2 | 18.2 | 7.5 | 4.5 | 2.4 | 1.4 | 2.1 | 2.4 | 2.4 | 0.7 | 0.3 | 0.3 | 0.7 | 45.2 | 2.7 |
| 女性 | (n=410) | 39.3 | 26.1 | 16.1 | 7.1 | 3.7 | 3.9 | 2.7 | 1.5 | 1.2 | 2.0 | 1.2 | 0.5 | 1.5 | 35.1 | 2.0 |

性・年代別にみると（図表 3-15-2）、「認可保育所」「学童保育」「一時預かり」などは、男女とも年代の高い層ほど、多く利用されている傾向がある。

男女とも 25～29 歳の年代では、「保育サービスを利用したことはない」（男性 51.4%、46.8%）という者が 5 割前後となっている。

図表 3-15-2　保育サービスの利用経験（性・年代別）

(%)

| | | | 認可保育所 | 学童保育（学童クラブ、放課後児童クラブ等） | 一時預かり | ファミリー・サポート・センター | 事業所内保育所・院内保育所 | 「事業所内」以外の認可外保育所 | 認定こども園 | 病児保育 | 自治体独自の保育所（認証保育所など） | ベビーシッター | 病後児保育 | 家庭的保育（保育ママ） | その他 | 保育サービスを利用したことはない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全体 | | (n=3,900) | 43.7 | 20.6 | 14.5 | 4.0 | 3.5 | 2.6 | 2.6 | 2.4 | 1.8 | 1.4 | 1.0 | 0.3 | 2.6 | 34.4 | 4.0 |
| 男性 | 20～24 歳 | (n=6) | 0.8 | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | 99.2 | － |
| | 25～29 歳 | (n=79) | 29.1 | 11.5 | 2.9 | 1.9 | 4.9 | 2.6 | 1.9 | 2.4 | － | 0.9 | 2.4 | － | 4.2 | 51.4 | 1.7 |
| | 30～34 歳 | (n=255) | 36.9 | 9.8 | 12.2 | 2.7 | 3.8 | 2.3 | 2.8 | 2.2 | 0.8 | 0.4 | 0.3 | － | 1.5 | 39.5 | 4.8 |
| | 35～39 歳 | (n=429) | 42.2 | 21.4 | 11.2 | 3.9 | 3.0 | 2.9 | 2.8 | 2.4 | 2.0 | 0.6 | 0.2 | 0.6 | 2.2 | 33.8 | 5.5 |
| | 40～44 歳 | (n=596) | 43.5 | 21.4 | 9.4 | 3.2 | 1.9 | 1.4 | 3.5 | 0.3 | 3.7 | 1.2 | 0.2 | 0.0 | 1.2 | 37.2 | 3.7 |
| 女性 | 20～24 歳 | (n=33) | 27.7 | － | 4.1 | 2.0 | 3.6 | 4.6 | － | 1.7 | － | － | － | － | － | 50.4 | 12.2 |
| | 25～29 歳 | (n=194) | 34.3 | 5.5 | 12.5 | 1.3 | 4.0 | 1.9 | 1.6 | 0.1 | 0.6 | － | 1.2 | － | 7.7 | 46.8 | 2.4 |
| | 30～34 歳 | (n=487) | 40.9 | 10.9 | 18.0 | 3.1 | 5.2 | 2.5 | 1.6 | 3.1 | 0.9 | 1.9 | 1.4 | － | 2.9 | 36.2 | 6.4 |
| | 35～39 歳 | (n=805) | 49.2 | 23.8 | 17.4 | 4.3 | 4.7 | 2.9 | 3.2 | 3.4 | 1.7 | 1.7 | 1.4 | 0.3 | 2.7 | 29.1 | 2.9 |
| | 40～44 歳 | (n=974) | 47.2 | 29.6 | 17.4 | 5.7 | 2.3 | 3.2 | 2.2 | 3.1 | 1.7 | 1.8 | 1.5 | 0.7 | 2.7 | 30.1 | 3.2 |

性・地域別にみると（図表 3-15-3）、「認可保育所」は、男女とも丹後地域（男性 60.6%、女性 66.2%）と相楽東部（同 66.7%、60.6%）の各居住者で 6 割を上回っている。「学童保育」は、男性の学研都市居住者（27.6%）と女性の南丹（28.4%）及び相楽東部居住者（28.0%）で 3 割近くあげられ、やや多い。また、「一時預かり」は、女性の山城北（20.2%）、乙訓（20.1%）、相楽東部（19.1%）、学研都市（18.7%）の各地域居住者に 2 割前後あげられている。

「病児保育」は、女性の山城北居住者（7.8%）で 1 割近くあげられている。

**図表 3-15-3　保育サービスの利用経験（性・地域別）**

(%)

| | | | 認可保育所 | 学童保育（学童クラブ、放課後児童クラブ等） | 一時預かり | ファミリー・サポート・センター | 事業所内保育所・院内保育所 | 「事業所内」以外の認可外保育所 | 認定こども園 | 病児保育 | 自治体独自の保育所（認証保育所など） | ベビーシッター | 病後児保育 | 家庭的保育（保育ママ） | その他 | 保育サービスを利用したことはない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全体 | | (n=3,900) | 43.7 | 20.6 | 14.5 | 4.0 | 3.5 | 2.6 | 2.6 | 2.4 | 1.8 | 1.4 | 1.0 | 0.3 | 2.6 | 34.4 | 4.0 |
| 男性 | 京都市 | (n=408) | 38.8 | 17.2 | 12.0 | 3.3 | 2.6 | 2.1 | 3.0 | 2.1 | 2.2 | 0.9 | 0.2 | － | 1.7 | 40.1 | 2.9 |
| 男性 | 丹後 | (n=181) | 60.6 | 20.1 | 4.3 | 2.4 | 8.3 | 1.9 | 8.7 | 0.4 | 5.7 | 2.4 | － | 0.4 | 3.4 | 15.2 | 4.2 |
| 男性 | 中丹 | (n=137) | 47.2 | 14.8 | 9.9 | 3.7 | 5.3 | 1.8 | 1.6 | 1.3 | 2.6 | － | － | － | 0.9 | 30.2 | 7.9 |
| 男性 | 南丹 | (n=106) | 42.2 | 17.0 | 6.1 | 5.0 | 2.1 | 0.3 | 0.3 | － | 5.0 | － | － | － | 2.7 | 32.1 | 10.4 |
| 男性 | 乙訓 | (n=123) | 43.5 | 18.0 | 6.3 | 5.8 | 4.5 | 10.7 | 9.8 | － | 1.4 | 2.2 | 1.6 | 0.3 | 0.3 | 37.9 | 4.7 |
| 男性 | 学研都市 | (n=148) | 49.1 | 27.6 | 13.1 | 3.2 | 2.2 | 1.5 | 1.8 | 2.3 | 2.4 | 1.3 | 1.4 | － | － | 35.3 | 2.1 |
| 男性 | 相楽東部 | (n=62) | 66.7 | 20.3 | 5.6 | － | 3.1 | 1.2 | － | － | 14.9 | － | － | － | 3.1 | 12.9 | 1.2 |
| 男性 | 山城北 | (n=198) | 32.7 | 19.6 | 5.5 | 1.7 | 0.1 | 0.1 | 0.8 | 0.1 | 1.6 | － | － | 1.3 | 3.3 | 42.2 | 7.4 |
| 女性 | 京都市 | (n=724) | 43.7 | 20.8 | 16.7 | 3.7 | 2.7 | 3.3 | 2.4 | 1.8 | 0.7 | 2.7 | 1.1 | 0.3 | 3.5 | 35.4 | 4.0 |
| 女性 | 丹後 | (n=279) | 66.2 | 23.4 | 6.3 | 0.5 | 7.1 | 2.6 | 7.1 | 0.7 | 3.9 | － | － | 0.7 | 3.2 | 16.3 | 5.0 |
| 女性 | 中丹 | (n=231) | 56.0 | 26.5 | 17.1 | 5.6 | 6.0 | 2.3 | 2.6 | 2.6 | 1.0 | － | 0.7 | 0.5 | 4.9 | 22.5 | 1.5 |
| 女性 | 南丹 | (n=208) | 53.7 | 28.4 | 11.9 | 4.6 | 5.3 | 1.2 | 1.5 | 3.8 | 4.3 | － | 1.9 | － | 1.2 | 20.3 | 6.1 |
| 女性 | 乙訓 | (n=254) | 46.6 | 25.4 | 20.1 | 6.1 | 4.2 | 7.3 | 2.4 | 4.6 | 3.3 | 0.7 | 4.8 | － | 2.1 | 35.3 | 2.0 |
| 女性 | 学研都市 | (n=289) | 38.2 | 22.1 | 18.7 | 4.1 | 4.7 | 3.4 | 0.4 | 1.6 | 2.0 | 1.9 | 1.4 | 0.8 | 2.1 | 35.3 | 4.2 |
| 女性 | 相楽東部 | (n=94) | 60.6 | 28.0 | 19.1 | 0.8 | 1.3 | 2.1 | － | － | 15.1 | － | 0.8 | － | 2.1 | 12.6 | 4.2 |
| 女性 | 山城北 | (n=401) | 39.9 | 17.4 | 20.2 | 5.7 | 5.1 | 0.1 | 1.3 | 7.8 | 1.6 | － | 1.6 | 0.4 | 2.2 | 34.4 | 4.0 |

共働き状況別にみると（図表 3-15-4）、「認可保育所」は、妻が正規雇用者の共働きで 70.7%、妻が非正規雇用者の共働きで 52.1%が利用している。「学童保育」も、妻が正規雇用者（29.6%）もしくは非正規雇用者（25.4%）の共働き世帯で 3 割近くが利用している。

これに対して、片働きでは過半数が、「保育サービスを利用したことはない」（54.6%）と回答している。

**図表 3-15-4　保育サービスの利用経験（共働き状況別）**

(%)

| | | 認可保育所 | 学童保育 | 一時預かり | ファミリー・サポート・センター | 事業所内保育所・院内保育所 | 「事業所内」以外の認可外保育所 | 認定こども園 | 病児保育 | 自治体独自の保育所 | ベビーシッター | 病後児保育 | 家庭的保育（保育ママ） | その他 | 保育サービスを利用したことはない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全体 | (n=3,900) | 43.7 | 20.6 | 14.5 | 4.0 | 3.5 | 2.6 | 2.6 | 2.4 | 1.8 | 1.4 | 1.0 | 0.3 | 2.6 | 34.4 | 4.0 |
| 共働き（計） | (n=2,351) | 56.2 | 25.8 | 14.1 | 4.6 | 4.7 | 3.6 | 2.5 | 3.5 | 2.3 | 1.5 | 1.5 | 0.5 | 2.1 | 25.5 | 2.5 |
| 妻正規 | (n=784) | 70.7 | 29.6 | 9.5 | 5.6 | 7.9 | 2.5 | 2.4 | 6.2 | 2.0 | 2.0 | 1.9 | 0.3 | 1.8 | 17.7 | 2.3 |
| 妻非正規 | (n=1,226) | 52.1 | 25.4 | 16.3 | 4.4 | 3.6 | 3.9 | 2.5 | 2.4 | 2.8 | 0.7 | 1.4 | 0.6 | 2.3 | 26.9 | 2.4 |
| 妻役員・自営 | (n=100) | 45.7 | 21.8 | 19.3 | 4.0 | 4.0 | 9.1 | 1.7 | － | 0.3 | 7.3 | － | － | 3.2 | 27.6 | 4.6 |
| 妻その他 | (n=241) | 35.8 | 16.6 | 14.7 | 2.4 | 0.0 | 2.7 | 3.5 | 2.5 | 1.7 | 1.6 | 1.4 | 0.3 | 1.1 | 42.6 | 2.8 |
| 片働き | (n=1,142) | 17.3 | 7.7 | 16.3 | 3.4 | 1.3 | 1.2 | 2.6 | 0.5 | 0.7 | 1.2 | 0.1 | 0.1 | 3.6 | 54.6 | 5.0 |

性・長子年齢別にみると（図表 3-15-5）、「認可保育所」は男女とも長子が 3 歳以上になると、利用経験が 4 割以上になる。また、「学童保育」は、男女とも長子が 6 歳以上で利用経験 3 割前後、「一時預かり」は、女性で長子が 3～11 歳（3～5 歳 23.1%、6～11 歳 21.2%）の年代になると利用経験が 2 割台となっている。

長子が 0～2 歳の層では、「保育サービスを利用したことはない」（男性 57.3%、女性 54.8%）という者が過半数である。

**図表 3-15-5　保育サービスの利用経験（性・長子年齢別）**

(%)

| | | | 認可保育所 | 学童保育 | 一時預かり | ファミリー・サポート・センター | 事業所内保育所・院内保育所 | 「事業所内」以外の認可外保育所 | 認定こども園 | 病児保育 | 自治体独自の保育所 | ベビーシッター | 病後児保育 | 家庭的保育（保育ママ） | その他 | 保育サービスを利用したことはない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全体 | | (n=3,900) | 43.7 | 20.6 | 14.5 | 4.0 | 3.5 | 2.6 | 2.6 | 2.4 | 1.8 | 1.4 | 1.0 | 0.3 | 2.6 | 34.4 | 4.0 |
| 男性 | 長子0～2歳 | (n=249) | 24.7 | 5.2 | 6.9 | 2.8 | 2.9 | 0.9 | 0.9 | 1.4 | 1.4 | 0.7 | － | 1.0 | 1.0 | 57.3 | 4.4 |
| 男性 | 長子3～5歳 | (n=272) | 47.9 | 6.1 | 15.1 | 7.1 | 4.4 | 4.8 | 3.7 | 2.0 | 0.5 | － | 1.0 | 0.1 | 3.8 | 28.3 | 2.7 |
| 男性 | 長子6～11歳 | (n=475) | 38.5 | 28.0 | 12.9 | 2.5 | 2.1 | 1.5 | 2.9 | 2.3 | 3.1 | 1.0 | 0.4 | － | 1.4 | 36.3 | 3.6 |
| 男性 | 長子12～14歳 | (n=182) | 44.4 | 24.3 | 6.0 | 2.1 | 2.9 | 1.1 | 4.8 | － | 3.3 | 1.4 | － | － | 1.3 | 37.1 | 6.6 |
| 男性 | 長子15歳以上 | (n=182) | 56.5 | 29.8 | 2.5 | 0.4 | 1.2 | 2.6 | 3.7 | － | 4.4 | 1.7 | － | 0.1 | 0.7 | 28.9 | 4.8 |
| 女性 | 長子0～2歳 | (n=428) | 19.9 | 1.6 | 8.8 | 2.3 | 3.1 | 1.9 | 0.6 | 3.3 | 0.1 | 2.1 | 1.5 | － | 5.5 | 54.8 | 7.9 |
| 女性 | 長子3～5歳 | (n=404) | 49.3 | 1.8 | 23.1 | 3.9 | 5.7 | 4.1 | 2.8 | 3.4 | 1.8 | 0.9 | 1.2 | － | 3.8 | 27.4 | 2.7 |
| 女性 | 長子6～11歳 | (n=833) | 49.8 | 33.1 | 21.2 | 6.0 | 3.9 | 3.8 | 2.4 | 2.6 | 1.7 | 2.6 | 1.8 | 0.3 | 2.6 | 28.5 | 1.7 |
| 女性 | 長子12～14歳 | (n=358) | 50.8 | 34.6 | 14.7 | 4.0 | 3.2 | 1.2 | 3.0 | 2.9 | 2.0 | 0.6 | 1.9 | 1.2 | 1.9 | 25.1 | 5.6 |
| 女性 | 長子15歳以上 | (n=460) | 56.9 | 31.9 | 12.8 | 3.2 | 3.2 | 2.2 | 3.2 | 2.8 | 1.6 | 0.8 | 0.4 | 0.5 | 1.6 | 26.8 | 2.9 |

性・親の居住地別にみると（図表 3-15-6）、「認可保育所」利用経験者は、男女とも親と同居している層（男性 47.8%、女性 51.8%）で 5 割前後である。親と別居している女性では、「一時預かり」の利用経験者が 24.5%と多くなっている。

**図表 3-15-6　保育サービスの利用経験（性・親の居住地別）**

(%)

| | | | 認可保育所 | 学童保育 | 一時預かり | ファミリー・サポート・センター | 事業所内保育所・院内保育所 | 「事業所内」以外の認可外保育所 | 認定こども園 | 病児保育 | 自治体独自の保育所 | ベビーシッター | 病後児保育 | 家庭的保育（保育ママ） | その他 | 保育サービスを利用したことはない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全体 | | (n=3,900) | 43.7 | 20.6 | 14.5 | 4.0 | 3.5 | 2.6 | 2.6 | 2.4 | 1.8 | 1.4 | 1.0 | 0.3 | 2.6 | 34.4 | 4.0 |
| 男性 | 同居 | (n=356) | 47.8 | 15.0 | 7.6 | 1.5 | 2.2 | 1.1 | 1.7 | 0.2 | 4.6 | 0.7 | 0.4 | － | 0.5 | 30.3 | 7.1 |
| 男性 | 近居 | (n=631) | 41.9 | 20.7 | 10.0 | 1.9 | 2.6 | 2.0 | 3.3 | 1.0 | 2.1 | 0.6 | 0.4 | 0.1 | 1.5 | 37.6 | 4.2 |
| 男性 | 別居 | (n=362) | 34.3 | 17.8 | 11.5 | 6.6 | 3.5 | 2.3 | 3.3 | 2.7 | 1.7 | 1.3 | 0.2 | 0.6 | 2.9 | 42.2 | 3.3 |
| 男性 | 親はいない | (n=5) | 80.4 | 3.5 | 3.4 | － | － | － | 12.6 | － | － | － | － | － | － | － | － |
| 女性 | 同居 | (n=653) | 51.8 | 20.5 | 9.6 | 1.2 | 2.7 | 1.8 | 2.8 | 1.8 | 1.1 | 1.0 | 1.0 | 0.5 | 3.2 | 28.6 | 6.4 |
| 女性 | 近居 | (n=1,157) | 44.9 | 22.8 | 15.1 | 2.5 | 4.0 | 2.4 | 1.6 | 2.7 | 1.1 | 0.8 | 0.6 | 0.1 | 2.6 | 35.1 | 3.7 |
| 女性 | 別居 | (n=651) | 40.7 | 21.0 | 24.5 | 9.7 | 4.5 | 4.4 | 3.0 | 4.4 | 2.1 | 3.3 | 3.1 | 0.6 | 3.6 | 32.2 | 2.0 |
| 女性 | 親はいない | (n=16) | 83.4 | 19.3 | 20.0 | － | 1.0 | 1.0 | － | － | 0.3 | － | － | － | 15.9 | － | 1.3 |

## (16) 充実を希望する子育て支援サービス

【全員の方にお聞きします。】

問４０　妊娠中や小学生以下の子どもを持つ親を対象とした子育て支援サービスとして、どのようなことを充実させたらよいと思いますか。あてはまるものを５つまでお選びください。

図表 3-16-1

(%)

| | | 子どもを遊ばせる場や機会の提供 | 一時預かりの実施 | 病児保育・病後児保育サービスの実施 | 子育て支援に関する情報提供 | 育児の不安や悩みの相談窓口 | 親のリフレッシュの場や機会の提供 | 初めての出産を控える女性や男性、夫婦を対象にした講座や育児体験 | 地域のサークル活動やネットワークづくりの支援 | 子どもの学習や幼児教育のプログラム提供 | 子どもの健康や栄養、生活リズムなどに関する子育て勉強会 | 父親を対象とした育児講習・育児相談 | その他 | 特にない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全体 | (n=7,593) | 58.6 | 49.6 | 38.3 | 36.9 | 35.8 | 30.2 | 26.1 | 20.6 | 19.9 | 19.6 | 14.5 | 3.9 | 5.3 | 3.0 |
| 男性 | (n=2,996) | 55.9 | 43.2 | 31.3 | 36.1 | 35.4 | 27.6 | 25.7 | 22.3 | 20.8 | 20.1 | 14.5 | 3.6 | 7.0 | 3.7 |
| 女性 | (n=4,519) | 60.5 | 53.8 | 42.9 | 37.5 | 36.1 | 32.0 | 26.5 | 19.6 | 19.4 | 19.4 | 14.5 | 4.1 | 4.1 | 2.3 |

対象者自身の子どもの有無にかかわらず、充実を希望する妊娠中や小学生以下の子どもを持つ親を対象とした子育て支援サービスを聞いたところ（図表 3-16-1）、「子どもを遊ばせる場や機会の提供」が 58.6%で最も多くあげられた。以下、「一時預かりの実施」（49.6%）、「病児保育・病後児保育サービスの実施」（38.3%）、「子育て支援に関する情報提供」（36.9%）、「育児の不安や悩みの相談窓口」（35.8%）、「親のリフレッシュの場や機会の提供」（30.2%）などの順にあげられている。

「特にない」という者は 5.3%にとどまり、9 割以上が、なんらかの子育て支援サービスの充実を希望している。

男女別にみると（図表 3-16-1）、「一時預かりの実施」（男性 43.2%、女性 53.8%）と「病児保育・病後児保育サービスの実施」（同 31.3%、42.9%）は男性より女性に多くあげられている。そのほかの項目に大きな男女差はみられない。

〈参考：全国調査〉

全国調査でも、「子どもを遊ばせる場や機会の提供」が 57.0%で最も多くあげられ、以下、「一時預かりの実施」（43.0%）、「育児の不安や悩みの相談窓口」（40.5%）、「病児保育・病後児保育サービスの実施」（36.9%）、「子育て支援に関する情報提供」（35.8%）、「親のリフレッシュの場や機会の提供」（34.5%）などの順にあげられている。

男女別にみると、「子どもを遊ばせる場や機会の提供」（男性 52.9%、女性 60.5%）、「一時預かりの実施」（同 38.7%、女性 46.6%）と「病児保育・病後児保育サービスの実施」（同 32.4%、40.7%）、「親のリフレッシュの場や機会の提供」（同 30.8%、37.6%）などは、いずれも男性より女性に多くあげられている。

府民調査と比較すると、男性では「育児の不安や悩みの相談窓口」が、全国調査で府民調査より多くあげられている。一方、女性では、「一時預かりの実施」は府民調査の方が、「親のリフレッシュの場や機会の提供」は全国調査の方が、それぞれ多くあげている。

**参考 3-16　充実を希望する子育て支援サービス**

(%)

| | | 子どもを遊ばせる場や機会の提供 | 一時預かりの実施 | 育児の不安や悩みの相談窓口 | 病児保育・病後児保育サービスの実施 | 子育て支援に関する情報提供 | 親のリフレッシュの場や機会の提供 | 初めての出産を控える女性や男性、夫婦を対象にした講座や育児体験 | 地域のサークル活動やネットワークづくりの支援 | 子どもの学習や幼児教育のプログラム提供 | 子どもの健康や栄養、生活リズムなどに関する子育て勉強会 | 父親を対象とした育児講習・育児相談 | その他 | 特にない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全体 | (n=1,226) | 57.0 | 43.0 | 40.5 | 36.9 | 35.8 | 34.5 | 26.4 | 20.7 | 19.5 | 19.2 | 15.6 | 1.5 | 8.1 | 0.6 |
| 男性 | (n=558) | 52.9 | 38.7 | 41.9 | 32.4 | 35.3 | 30.8 | 29.2 | 20.1 | 20.4 | 19.4 | 15.9 | 1.3 | 9.9 | 0.4 |
| 女性 | (n=668) | 60.5 | 46.6 | 39.4 | 40.7 | 36.2 | 37.6 | 24.1 | 21.3 | 18.7 | 19.2 | 15.3 | 1.6 | 6.6 | 0.7 |

性・年代別にみると（図表 3-16-2）、全体で第 1 位にあげられた「子どもを遊ばせる場や機会の提供」は、女性の 30 歳代（30～34 歳 64.9%、35～39 歳 62.0%）で 6 割を上回って、特に多くあげられている。また、「病児保育・病後児保育サービスの実施」は女性の 40～44 歳で 46.6%である。

20 歳代の女性では、「育児の不安や悩みの相談窓口」（20～24 歳 42.6%、25～29 歳 42.4%）と「初めての出産を控える女性や男性、夫婦を対象にした講座や育児体験」（同 44.5%、40.8%）に対する要望が 4 割以上と、他の性・年代層より多くあげられている。一方、男性の 20～24 歳では、同年代の女性と同様に「育児の不安や悩みの相談窓口」（41.5%）が 4 割以上あげられ、「地域のサークル活動やネットワークづくりの支援」（26.9%）への期待も 3 割近い。

図表 3-16-2　充実を希望する子育て支援サービス（性・年代別）

(%)

| | | | 子どもを遊ばせる場や機会の提供 | 一時預かりの実施 | 病児保育・病後児保育サービスの実施 | 子育て支援に関する情報提供 | 育児の不安や悩みの相談窓口 | 親のリフレッシュの場や機会の提供 | 初めての出産を控える女性や男性、夫婦を対象にした講座や育児体験 | 地域のサークル活動やネットワークづくりの支援 | 子どもの学習や幼児教育のプログラム提供 | 子どもの健康や栄養、生活リズムなどに関する子育て勉強会 | 父親を対象とした育児講習・育児相談 | その他 | 特にない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全体 | | (n=7,593) | 58.6 | 49.6 | 38.3 | 36.9 | 35.8 | 30.2 | 26.1 | 20.6 | 19.9 | 19.6 | 14.5 | 3.9 | 5.3 | 3.0 |
| 男性 | 20～24歳 | (n=392) | 52.3 | 38.7 | 30.1 | 34.0 | 41.5 | 25.8 | 33.7 | 26.9 | 16.3 | 24.3 | 18.4 | 2.9 | 8.2 | 4.6 |
| 男性 | 25～29歳 | (n=402) | 56.1 | 46.5 | 35.7 | 38.7 | 33.9 | 28.3 | 32.2 | 22.3 | 19.6 | 22.7 | 16.2 | 3.6 | 6.4 | 3.5 |
| 男性 | 30～34歳 | (n=583) | 59.4 | 43.2 | 28.1 | 37.7 | 29.9 | 26.9 | 28.3 | 23.7 | 21.7 | 24.1 | 16.2 | 4.5 | 6.2 | 3.3 |
| 男性 | 35～39歳 | (n=720) | 57.7 | 45.5 | 32.7 | 33.2 | 34.0 | 30.6 | 22.3 | 18.7 | 23.7 | 20.0 | 13.8 | 3.6 | 5.2 | 2.9 |
| 男性 | 40～44歳 | (n=886) | 53.9 | 41.9 | 30.7 | 37.6 | 38.5 | 26.1 | 20.4 | 22.6 | 20.5 | 14.5 | 11.4 | 3.0 | 9.0 | 4.2 |
| 女性 | 20～24歳 | (n=505) | 58.3 | 49.1 | 35.1 | 39.0 | 42.6 | 27.1 | 44.5 | 17.9 | 14.7 | 23.7 | 21.0 | 2.2 | 4.1 | 2.3 |
| 女性 | 25～29歳 | (n=689) | 59.9 | 55.3 | 43.8 | 41.0 | 42.4 | 30.0 | 40.8 | 21.7 | 18.6 | 24.6 | 19.9 | 2.3 | 2.0 | 1.8 |
| 女性 | 30～34歳 | (n=871) | 64.9 | 55.2 | 43.6 | 40.6 | 32.9 | 36.7 | 24.8 | 21.0 | 20.2 | 20.6 | 16.0 | 5.5 | 2.8 | 2.2 |
| 女性 | 35～39歳 | (n=1,147) | 62.0 | 52.8 | 41.6 | 36.3 | 32.5 | 33.1 | 20.3 | 19.6 | 23.8 | 17.7 | 10.6 | 4.9 | 4.0 | 2.0 |
| 女性 | 40～44歳 | (n=1,292) | 57.3 | 54.9 | 46.6 | 33.8 | 35.4 | 30.9 | 17.9 | 18.3 | 17.2 | 15.5 | 11.6 | 4.0 | 6.4 | 2.7 |

性・地域別にみると（図表 3-16-3）、「子どもを遊ばせる場や機会の提供」は、いずれの地域でも上位にあげられているが、女性の乙訓居住者で 64.4%と、特に要望が強くなっている。「一時預かりの実施」と「病児保育・病後児保育サービスの実施」は女性の京都市（一時預かり 56.0%、病児保育 44.5%）と乙訓居住者（同 55.1%、43.1%）で要望が強くなっている。「病児保育・病後児保育サービスの実施」への要望は、女性の山城北地域居住者（44.0%）でも多くあげられている。

「育児の不安や悩みの相談窓口」は男女とも相楽東部（男性 42.2%、女性 40.2%）と女性の山城北地域居住者（42.9%）で 4 割以上あげられている。また、女性の相楽東部居住者では、「地域のサークル活動やネットワークづくりの支援」（26.2%）と「子どもの健康や栄養、生活リズムなどに関する子育て勉強会」（25.1%）への期待も大きい。

**図表 3-16-3　充実を希望する子育て支援サービス（性・地域別）**

(%)

| | | | 子どもを遊ばせる場や機会の提供 | 一時預かりの実施 | 病児保育・病後児保育サービスの実施 | 子育て支援に関する情報提供 | 育児の不安や悩みの相談窓口 | 親のリフレッシュの場や機会の提供 | 初めての出産を控える女性や男性、夫婦を対象にした講座や育児体験 | 地域のサークル活動やネットワークづくりの支援 | 子どもの学習や幼児教育のプログラム提供 | 子どもの健康や栄養、生活リズムなどに関する子育て勉強会 | 父親を対象とした育児講習・育児相談 | その他 | 特にない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全体 | | (n=7,593) | 58.6 | 49.6 | 38.3 | 36.9 | 35.8 | 30.2 | 26.1 | 20.6 | 19.9 | 19.6 | 14.5 | 3.9 | 5.3 | 3.0 |
| 男性 | 京都市 | (n=905) | 56.5 | 47.0 | 30.9 | 36.0 | 34.6 | 26.6 | 25.4 | 22.8 | 22.6 | 20.1 | 13.9 | 3.9 | 7.4 | 3.0 |
| 男性 | 丹後 | (n=368) | 48.8 | 38.6 | 28.9 | 38.1 | 37.1 | 28.5 | 27.7 | 22.3 | 21.4 | 18.2 | 15.8 | 3.1 | 6.6 | 4.3 |
| 男性 | 中丹 | (n=266) | 52.1 | 44.3 | 29.6 | 41.1 | 39.8 | 30.1 | 28.7 | 20.9 | 21.0 | 22.8 | 13.4 | 3.3 | 7.3 | 4.3 |
| 男性 | 南丹 | (n=252) | 53.2 | 35.5 | 30.3 | 38.3 | 36.3 | 27.4 | 27.8 | 22.6 | 14.8 | 18.4 | 14.6 | 0.9 | 5.0 | 5.9 |
| 男性 | 乙訓 | (n=259) | 59.1 | 40.1 | 26.9 | 37.1 | 33.6 | 27.1 | 25.2 | 22.2 | 21.3 | 19.6 | 15.2 | 1.3 | 6.8 | 4.5 |
| 男性 | 学研都市 | (n=278) | 56.8 | 46.5 | 36.1 | 33.4 | 34.7 | 30.1 | 23.1 | 21.5 | 17.8 | 18.6 | 15.6 | 3.0 | 6.7 | 1.8 |
| 男性 | 相楽東部 | (n=156) | 50.7 | 40.0 | 25.6 | 30.4 | 42.2 | 23.0 | 21.9 | 23.8 | 21.7 | 20.6 | 11.7 | 3.7 | 7.9 | 2.2 |
| 男性 | 山城北 | (n=477) | 58.6 | 32.3 | 34.3 | 33.9 | 37.0 | 29.7 | 25.8 | 21.3 | 18.6 | 21.2 | 16.3 | 4.8 | 6.0 | 4.8 |
| 女性 | 京都市 | (n=1,478) | 61.1 | 56.0 | 44.5 | 37.3 | 34.7 | 31.0 | 28.5 | 19.9 | 19.6 | 19.8 | 15.2 | 4.8 | 3.9 | 1.8 |
| 女性 | 丹後 | (n=458) | 52.1 | 44.2 | 33.8 | 40.7 | 36.2 | 32.7 | 24.2 | 18.8 | 17.4 | 19.6 | 14.7 | 2.1 | 4.3 | 4.2 |
| 女性 | 中丹 | (n=374) | 62.4 | 49.8 | 37.5 | 35.7 | 33.9 | 35.7 | 22.5 | 15.5 | 20.4 | 19.0 | 11.4 | 2.7 | 4.2 | 3.8 |
| 女性 | 南丹 | (n=374) | 51.4 | 46.1 | 39.1 | 32.9 | 37.4 | 32.3 | 25.3 | 23.7 | 21.3 | 21.5 | 15.1 | 4.6 | 6.7 | 2.7 |
| 女性 | 乙訓 | (n=429) | 64.4 | 55.1 | 43.1 | 38.0 | 38.7 | 35.4 | 24.3 | 21.6 | 15.8 | 19.6 | 15.0 | 2.9 | 3.0 | 1.9 |
| 女性 | 学研都市 | (n=447) | 60.0 | 53.2 | 37.8 | 38.7 | 33.5 | 29.9 | 24.0 | 21.9 | 19.1 | 17.0 | 9.9 | 3.4 | 4.2 | 3.4 |
| 女性 | 相楽東部 | (n=230) | 55.6 | 49.7 | 36.3 | 37.0 | 40.2 | 32.1 | 26.5 | 26.2 | 17.7 | 25.1 | 11.3 | 2.8 | 4.8 | 2.4 |
| 女性 | 山城北 | (n=689) | 61.0 | 51.5 | 44.0 | 40.0 | 42.9 | 33.0 | 22.9 | 17.9 | 19.2 | 17.6 | 14.9 | 3.1 | 4.5 | 2.6 |

性・子どもの有無別にみると（図表 3-16-4）、男性では、子どものいない層で、「育児の不安や悩みの相談窓口」（未婚 42.8%、既婚 40.1%）、「初めての出産を控える女性や男性、夫婦を対象にした講座や育児体験」（同 33.4%、45.0%）、「子どもの健康や栄養、生活リズムなどに関する子育て勉強会」（同 23.1%、25.5%）、「父親を対象とした育児講習・育児相談」（同 18.4%、18.7%）などが多くあげられている。一方、子どものいる層では、「子どもを遊ばせる場や機会の提供」（65.9%）と「子どもの学習や幼児教育のプログラム提供」（26.0%）が、子どものいない層より多くあげられている。

女性で、子どものいない層に多くあげられているのは、「一時預かりの実施」（同 58.1%、62.0%）、「育児の不安や悩みの相談窓口」（同 48.2%、36.5%）、「初めての出産を控える女性や男性、夫婦を対象にした講座や育児体験」（同 41.6%、40.6%）、「子どもの健康や栄養、生活リズムなどに関する子育て勉強会」（同 22.9%、23.7%）、「父親を対象とした育児講習・育児相談」（同 19.0%、18.7%）などである。一方、子どものいる層では、「子どもを遊ばせる場や機会の提供」（67.3%）、「親のリフレッシュの場や機会の提供」（36.6%）、「子どもの学習や幼児教育のプログラム提供」（23.9%）などが、子どものいない層より多くあげられている。

「一時預かりの実施」と「病児保育・病後児保育サービスの実施」は、婚姻状況にかかわらず、男性より女性で要望が強い。

**図表 3-16-4　充実を希望する子育て支援サービス（性・子どもの有無別）**

(%)

| | | | | 子どもを遊ばせる場や機会の提供 | 一時預かりの実施 | 病児保育・病後児保育サービスの実施 | 子育て支援に関する情報提供 | 育児の不安や悩みの相談窓口 | 親のリフレッシュの場や機会の提供 | 初めての出産を控える女性や男性、夫婦を対象にした講座や育児体験 | 地域のサークル活動やネットワークづくりの支援 | 子どもの学習や幼児教育のプログラム提供 | 子どもの健康や栄養、生活リズムなどに関する子育て勉強会 | 父親を対象とした育児講習・育児相談 | その他 | 特にない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全体 | | | (n=7,593) | 58.6 | 49.6 | 38.3 | 36.9 | 35.8 | 30.2 | 26.1 | 20.6 | 19.9 | 19.6 | 14.5 | 3.9 | 5.3 | 3.0 |
| 男性 | 子どもはいない | 未婚 | (n=1,200) | 49.2 | 45.3 | 31.6 | 35.7 | 42.8 | 25.7 | 33.4 | 22.4 | 17.3 | 23.1 | 18.4 | 2.1 | 10.2 | 3.1 |
| 男性 | 子どもはいない | 既婚 | (n=299) | 51.7 | 54.9 | 38.0 | 42.6 | 40.1 | 29.4 | 45.0 | 22.2 | 15.7 | 25.5 | 18.7 | 4.5 | 4.3 | 1.1 |
| 男性 | 子どもがいる | | (n=1,370) | 65.9 | 41.1 | 30.9 | 35.7 | 29.4 | 30.9 | 15.1 | 23.0 | 26.0 | 16.6 | 10.8 | 4.9 | 5.1 | 0.9 |
| 女性 | 子どもはいない | 未婚 | (n=1,391) | 54.0 | 58.1 | 45.6 | 40.7 | 48.2 | 28.0 | 41.6 | 20.7 | 13.6 | 22.9 | 19.0 | 3.3 | 5.2 | 1.1 |
| 女性 | 子どもはいない | 既婚 | (n=479) | 53.0 | 62.0 | 49.9 | 42.3 | 36.5 | 25.4 | 40.6 | 17.1 | 15.9 | 23.7 | 18.7 | 3.1 | 5.7 | 1.1 |
| 女性 | 子どもがいる | | (n=2,499) | 67.3 | 51.1 | 40.6 | 34.9 | 29.2 | 36.6 | 14.4 | 19.9 | 23.9 | 16.4 | 11.3 | 4.8 | 3.4 | 1.1 |

性・親の居住地別にみると（図表 3-16-5）、いずれの層でも「子どもを遊ばせる場や機会の提供」は上位にあげられているが、男女とも親と近居している層（男性 63.0%、女性 65.8%）で 6 割を上回って、特に要望が強い。「一時預かりの実施」と「病児保育・病後児保育サービスの実施」は、女性で親と別居している層（一時預かり 61.3%、病児保育 46.5%）での要望が強い。

一方、親と同居している層では、男女とも「育児の不安や悩みの相談窓口」（男性 39.5%、女性 40.6%）への要望が、近居や別居の層よりも強い。女性で親と同居している層では「初めての出産を控える女性や男性、夫婦を対象にした講座や育児体験」（32.5%）への期待も大きくなっている。

**図表 3-16-5　充実を希望する子育て支援サービス（性・親の居住地別）**

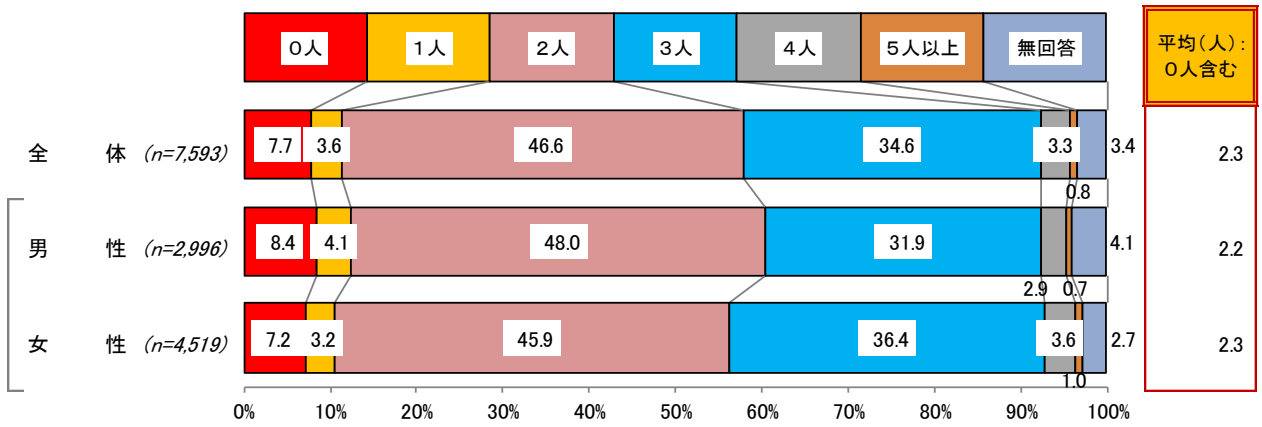
(%)

| | | | 子どもを遊ばせる場や機会の提供 | 一時預かりの実施 | 病児保育・病後児保育サービスの実施 | 子育て支援に関する情報提供 | 育児の不安や悩みの相談窓口 | 親のリフレッシュの場や機会の提供 | 初めての出産を控える女性や男性、夫婦を対象にした講座や育児体験 | 地域のサークル活動やネットワークづくりの支援 | 子どもの学習や幼児教育のプログラム提供 | 子どもの健康や栄養、生活リズムなどに関する子育て勉強会 | 父親を対象とした育児講習・育児相談 | その他 | 特にない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全体 | | (n=7,593) | 58.6 | 49.6 | 38.3 | 36.9 | 35.8 | 30.2 | 26.1 | 20.6 | 19.9 | 19.6 | 14.5 | 3.9 | 5.3 | 3.0 |
| 男性 | 同居 | (n=1,387) | 50.7 | 37.9 | 27.3 | 33.7 | 39.5 | 27.1 | 29.0 | 21.5 | 17.4 | 20.9 | 15.9 | 3.0 | 9.0 | 6.3 |
| 男性 | 近居 | (n=817) | 63.0 | 41.1 | 32.4 | 35.7 | 32.6 | 30.3 | 19.4 | 22.5 | 23.4 | 19.0 | 12.7 | 3.9 | 5.7 | 1.0 |
| 男性 | 別居 | (n=724) | 57.7 | 53.4 | 35.8 | 39.9 | 34.3 | 26.2 | 29.0 | 23.9 | 23.4 | 21.4 | 14.2 | 3.9 | 5.6 | 1.6 |
| 男性 | 親はいない | (n=36) | 41.1 | 36.1 | 24.4 | 36.1 | 24.7 | 27.5 | 7.2 | 20.1 | 11.6 | 7.1 | 12.1 | 5.0 | 16.6 | 16.0 |
| 女性 | 同居 | (n=1,906) | 57.6 | 50.3 | 40.6 | 38.9 | 40.6 | 28.2 | 32.5 | 18.3 | 16.7 | 20.4 | 15.9 | 3.4 | 5.4 | 3.2 |
| 女性 | 近居 | (n=1,385) | 65.8 | 50.5 | 42.3 | 36.1 | 32.6 | 33.9 | 17.3 | 18.9 | 21.3 | 17.2 | 12.7 | 4.5 | 4.0 | 1.4 |
| 女性 | 別居 | (n=1,140) | 58.9 | 61.3 | 46.5 | 36.8 | 34.2 | 35.0 | 28.8 | 22.4 | 20.8 | 20.5 | 14.7 | 4.8 | 2.9 | 1.7 |
| 女性 | 親はいない | (n=37) | 41.8 | 64.5 | 50.5 | 42.7 | 48.4 | 30.9 | 25.3 | 13.6 | 21.7 | 16.9 | 23.3 | － | 1.7 | 4.3 |

## (17) 理想の子どもの人数

問４１　あなたにとって、理想的な子どもの数は、何人ですか。
　　子どもを持つつもりのない方は、「０」とご記入ください。

図表 3-17-1




理想の子どもの人数を聞いたところ（図表 3-17-1）、「2 人」が 46.6%で最も多く、次いで「3 人」（34.6%）となっている。一方、子どもを持つつもりのない人（「0 人」）は 7.7%で、理想の平均子ども人数は、2.3 人である。

男女別にみても（図表 3-17-1）、大きな差はみられない。

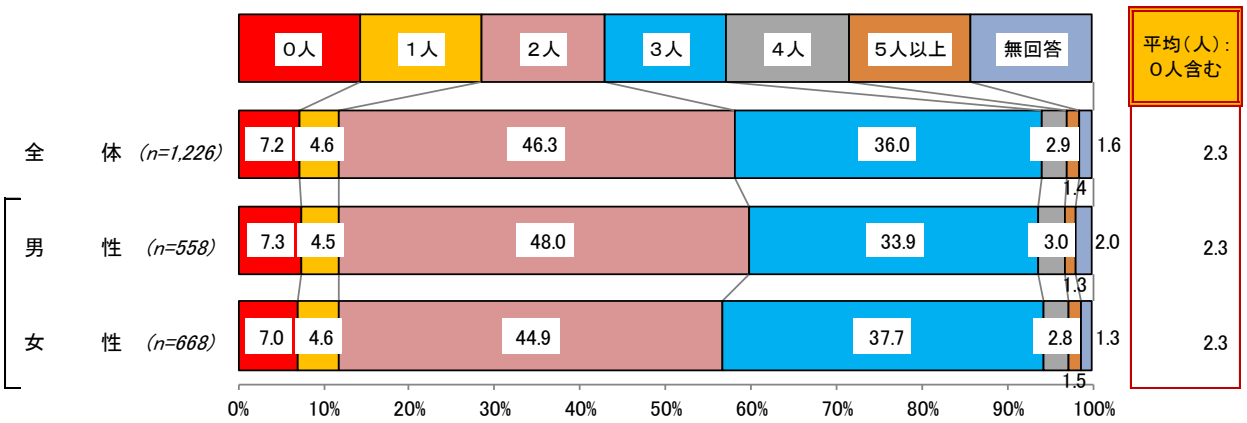
ちなみに、有配偶者の理想子ども数は、男性 2.4 人、女性 2.5 人である。

〈参考：全国調査〉

全国調査では、理想は「2 人」が 46.3%で最も多く、次いで「3 人」（36.0%）となっており、平均 2.3 人と、府民調査と同様である。

男女別の差はみられない。

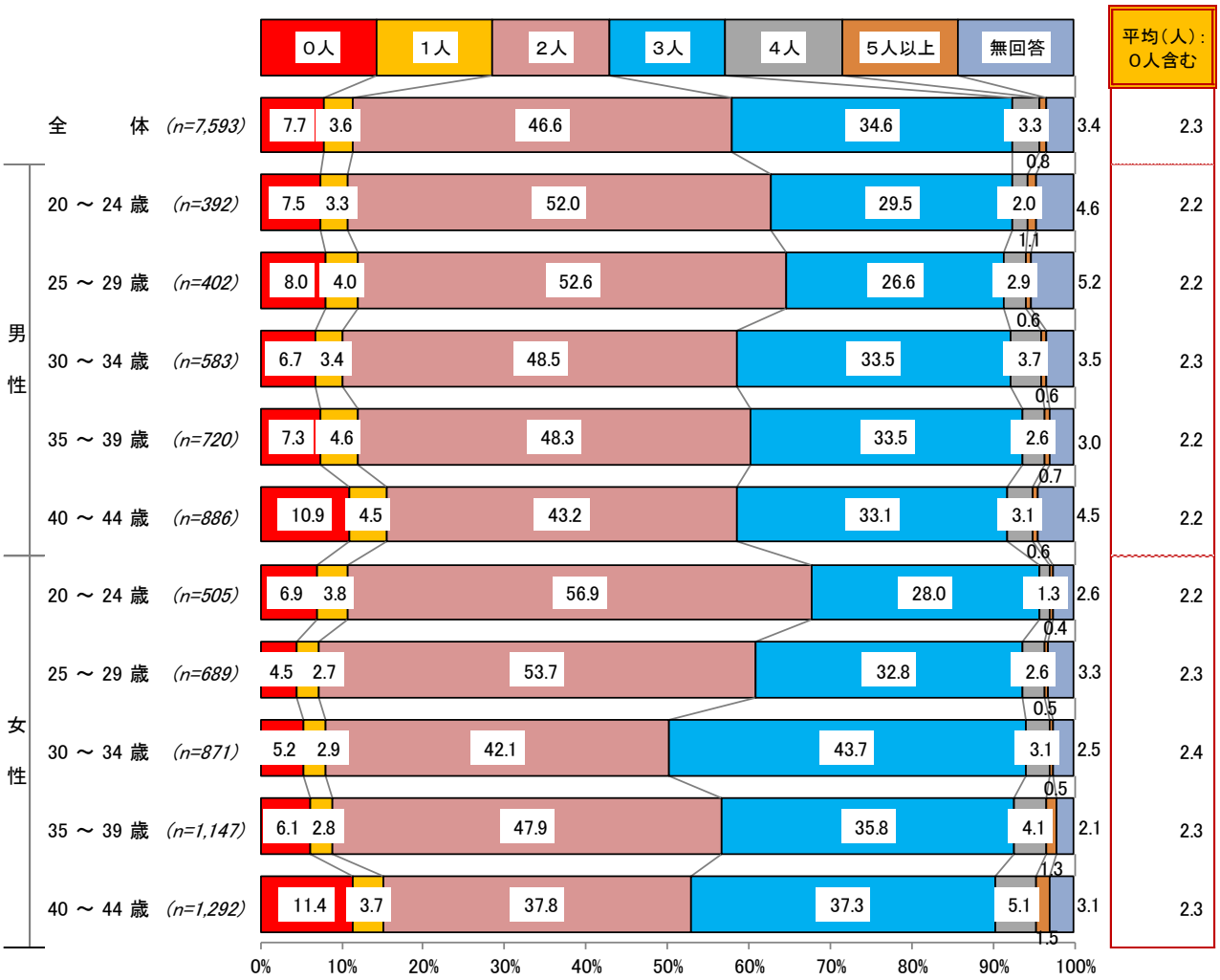
参考 3-17　理想の子どもの人数



性・年代別にみると（図表 3-17-2）、女性の 30～34 歳と 40～44 歳では、理想の子どもの人数を「3 人」（30～34 歳 43.7%、40～44 歳 37.3%）という者が、「2 人」（同 42.1%、37.8%）という者にほぼ並んでいる。特に女性の 30～34 歳の年代で、理想は「3 人」という者が 43.7%で、他の性・年代層より多くなっている。

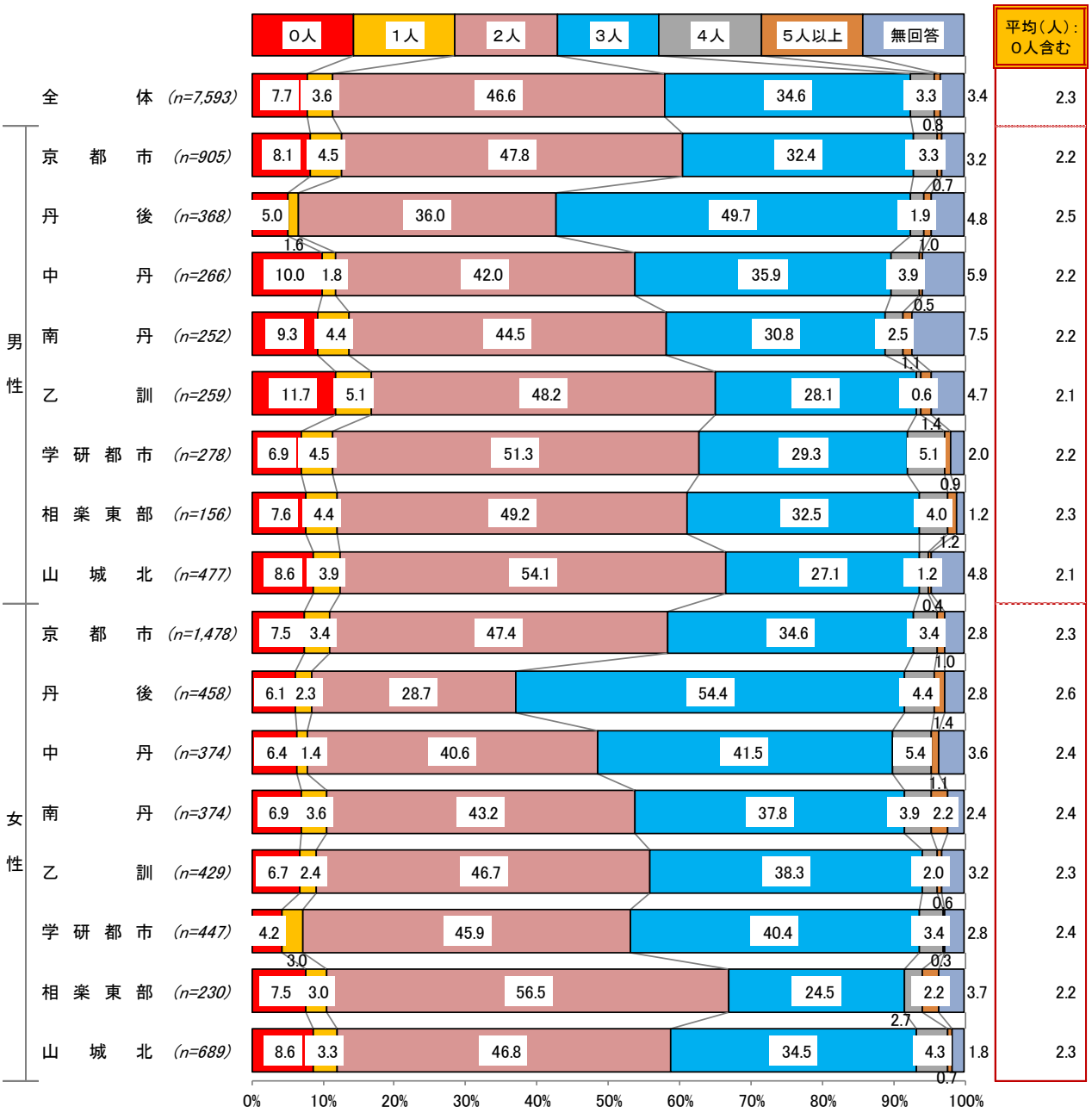
一方、男性ではいずれの年代も、理想は「2 人」という者が最も多く、年代による大きな差はみられない。

図表 3-17-2　理想の子どもの人数（性・年代別）



性・地域別にみると（図表 3-17-3）、男女とも丹後居住者は、理想の子どもの人数を「3 人」（男性 49.7%、女性 54.4%）という者が最も多い。女性の中丹居住者でも、「3 人」（41.5%）という者が「2 人」（40.6%）をわずかに上回っている。

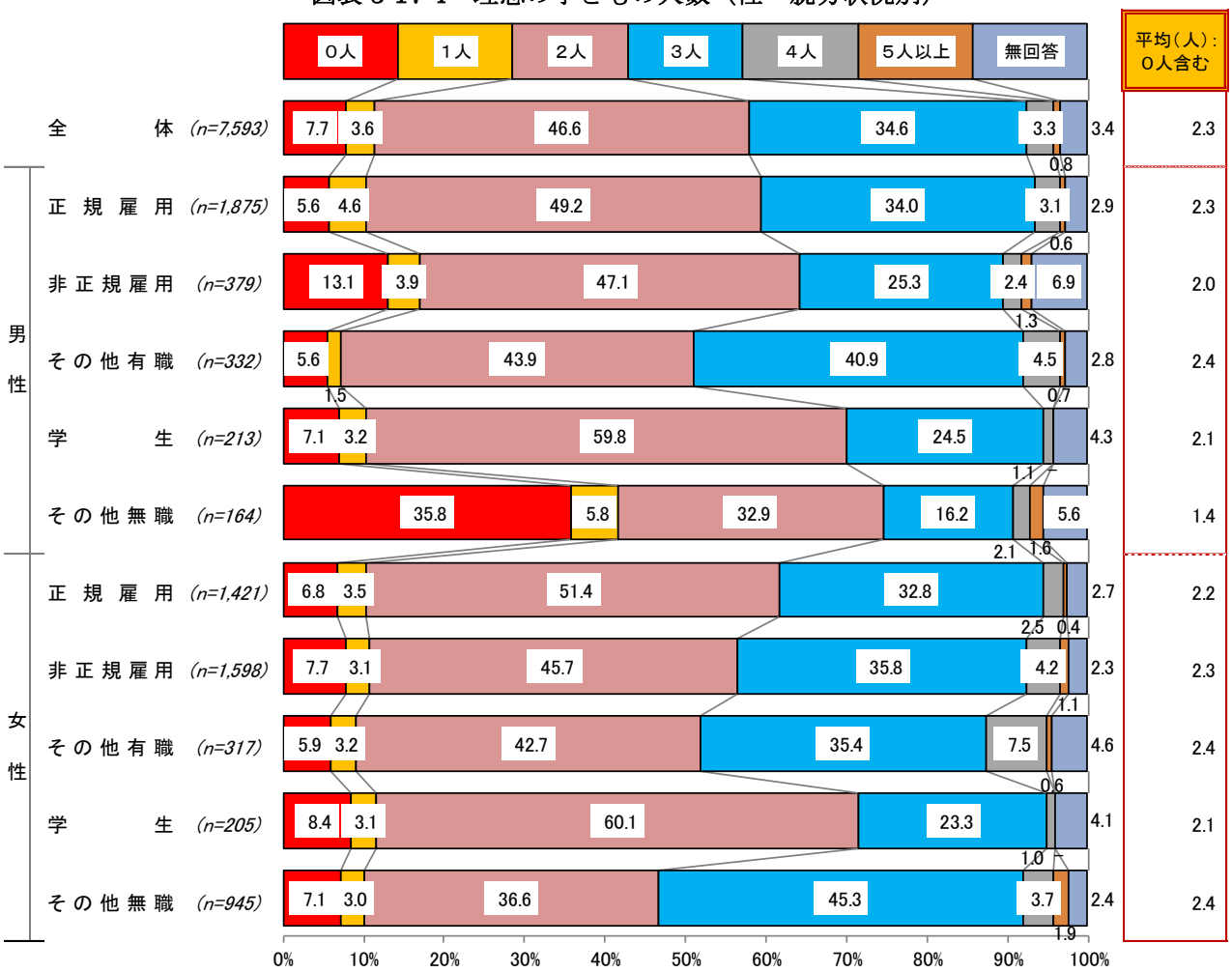
図表 3-17-3　理想の子どもの人数（性・地域別）



性・就労状況別にみると（図表 3-17-4）、女性で学生以外のその他無職で、理想の子どもの人数は「3 人」という者が 45.3%と、「2 人」（36.6%）を上回っている。これに対して、男性のその他無職では、「0 人」と回答した子供を持つつもりのない者（35.8%）が最も多くなっている。

男性では、自営業や内職を含むその他有職層で、「2 人」（43.9%）と「3 人」（40.9%）を理想とする者がともに 4 割台となっている。

図表 3-17-4　理想の子どもの人数（性・就労状況別）

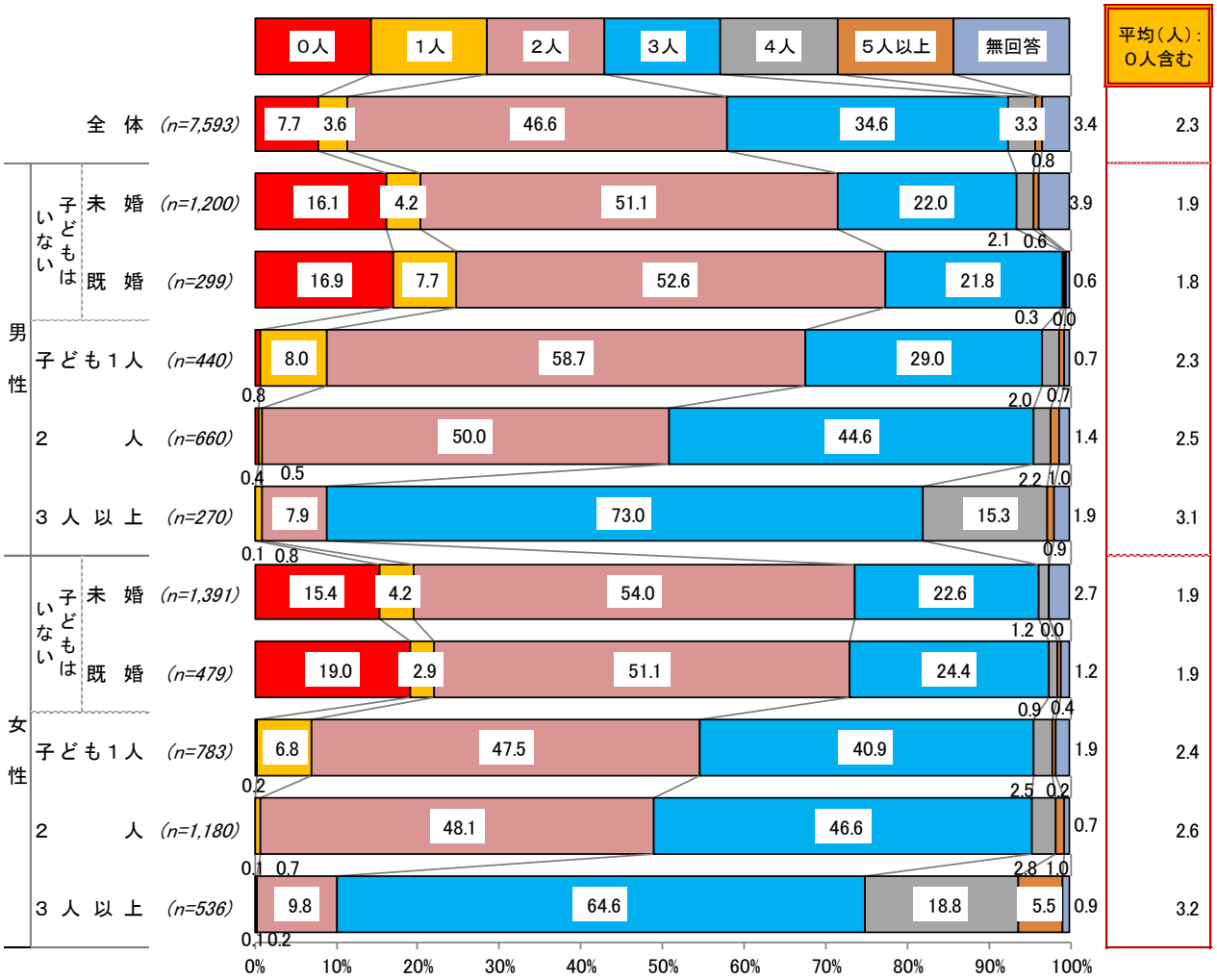


性・子どもの人数別にみると（図表 3-17-5）、実際の子どもの人数に応じて理想の子どもの人数も多くなる傾向があり、3 人以上子どものいる者では、理想は「3 人」とする人が男性 73.0%、女性 64.6%と多数を占め、次いで「4 人」（男性 15.3%、女性 18.8%）という者が多くなっている。

現在子どもが 2 人いる者のほぼ半数は、男女とも、理想人数も「2 人」（男性 50.0%、女性 48.1%）と回答しているが、次いで「3 人」（同 44.6%、46.6%）という者も 4 割を上回っている。

婚姻状況にかかわらず、男女とも子どものいない層でも、理想は「2 人」という者が過半数を占め、「3 人」も 2 割以上いる。

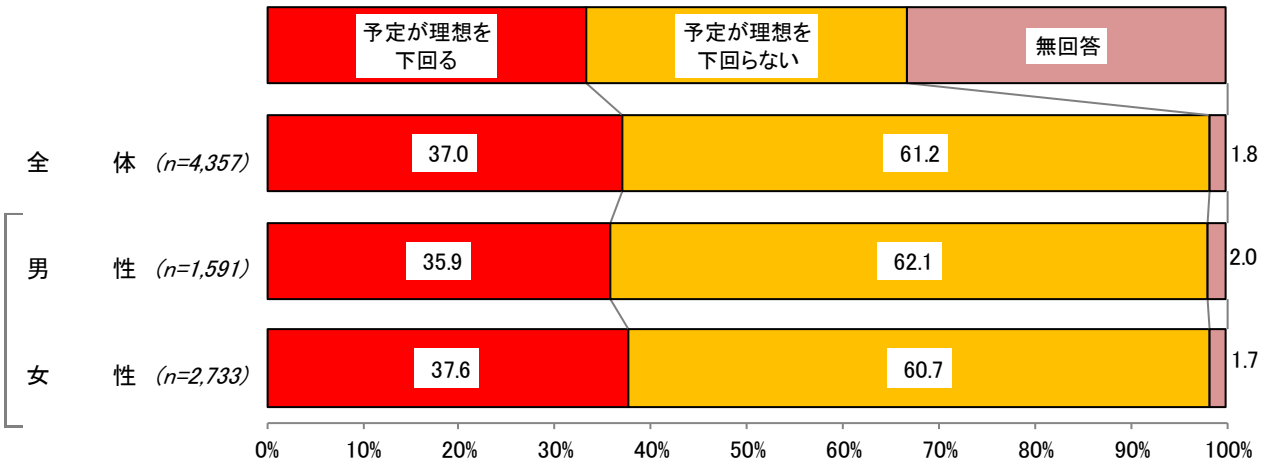
図表 3-17-5　理想の子どもの人数（性・子どもの人数別）



既婚者（4,357 人）について、現在の子どもの人数と理想の子どもの人数から、予定と理想の差をみると（図表 3-17-6）、同数を含む「予定が理想を下回らない」者は 61.2％で、「予定が理想を下回る」者（37.0％）は 4 割近い。

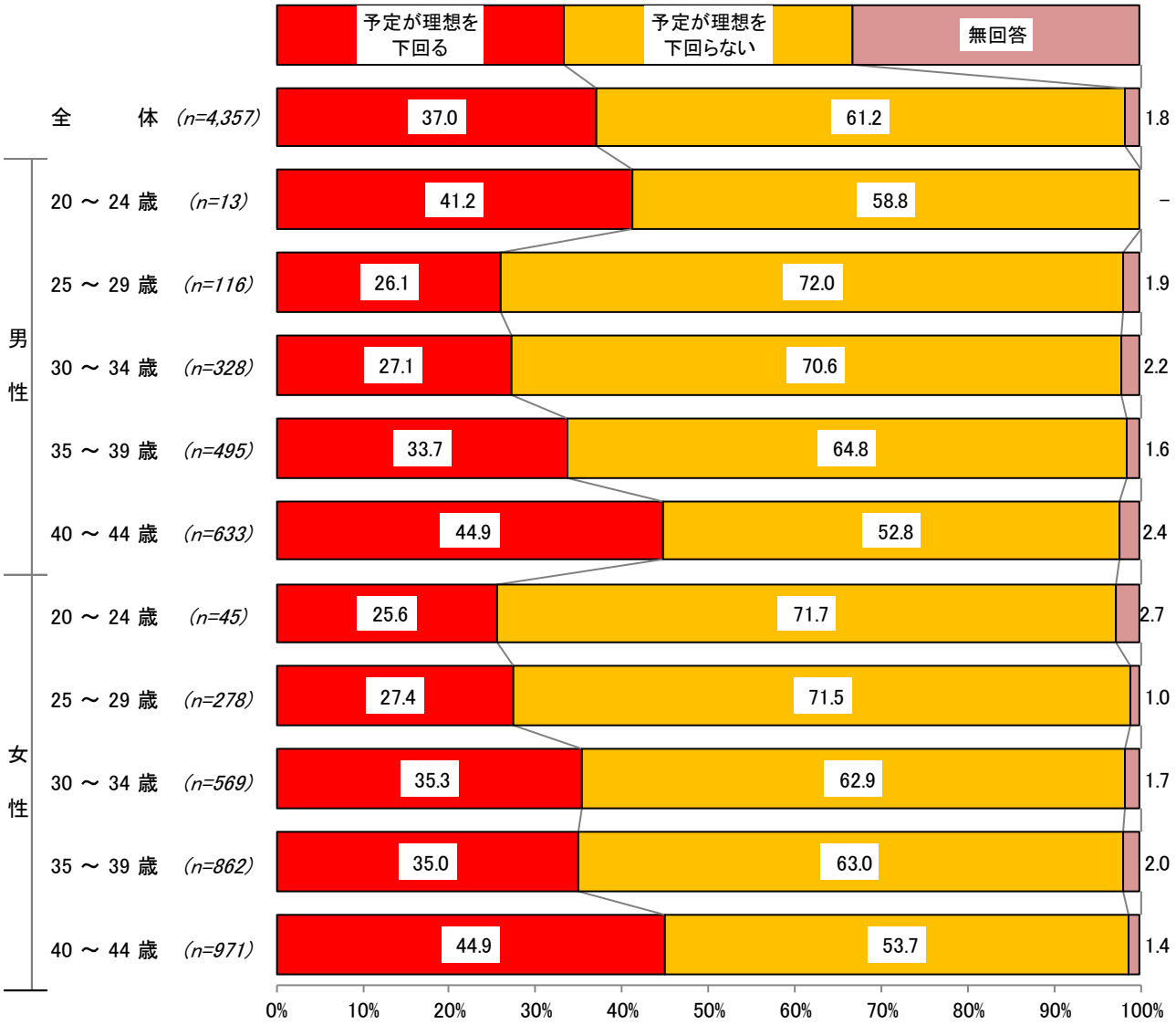
男女別にみても（図表 3-17-6）、大きな差はみられない。

図表 3-17-6　予定と理想の子ども数（男女別）



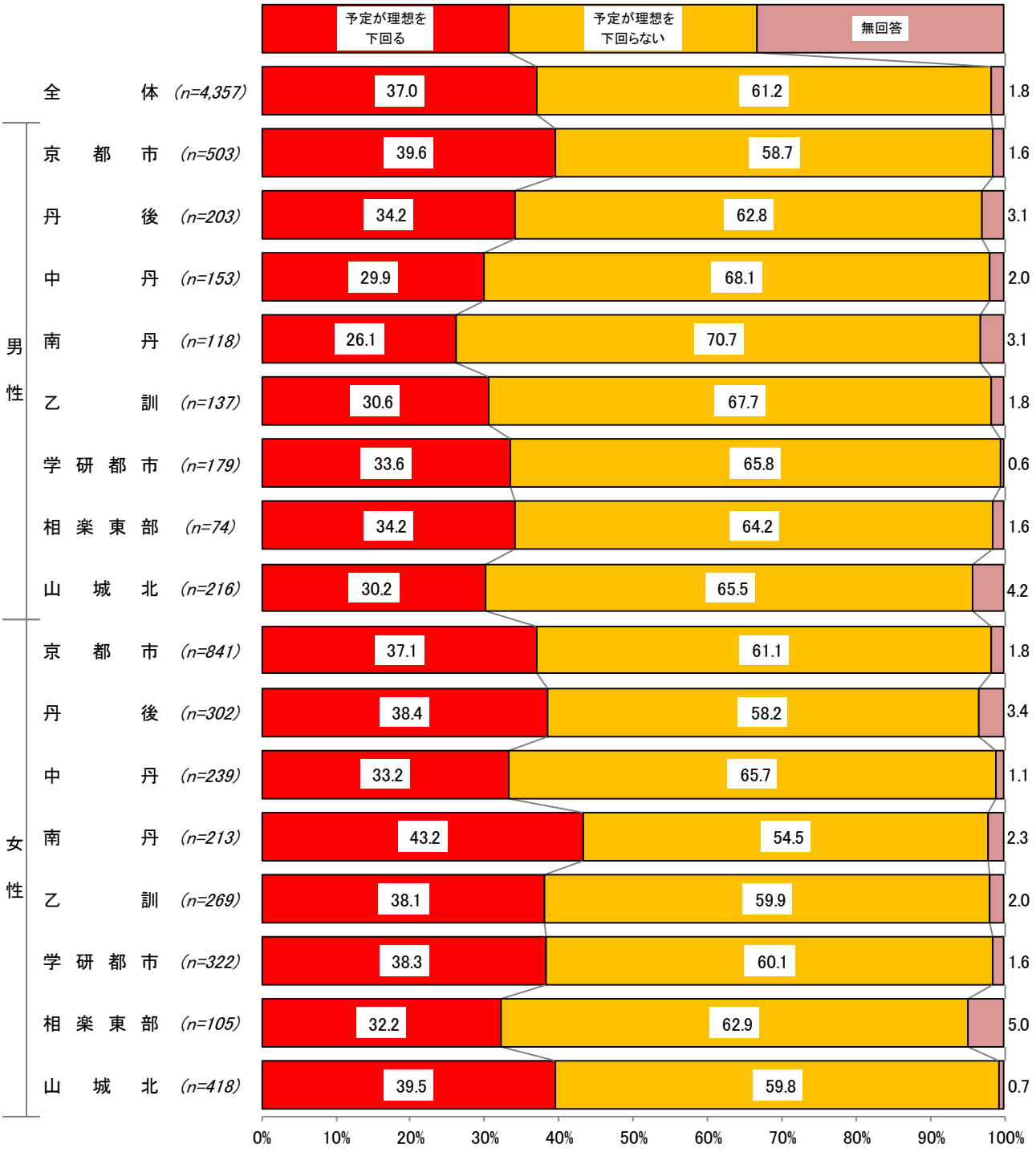
性・年代別にみると（図表 3-17-7）、「予定が理想を下回る」という者は、男女とも年代が高くなるほど多く、男女とも 40～44 歳の年代では 44.9%となっている。

図表 3-17-7　予定と理想の子ども数（性・年代別）



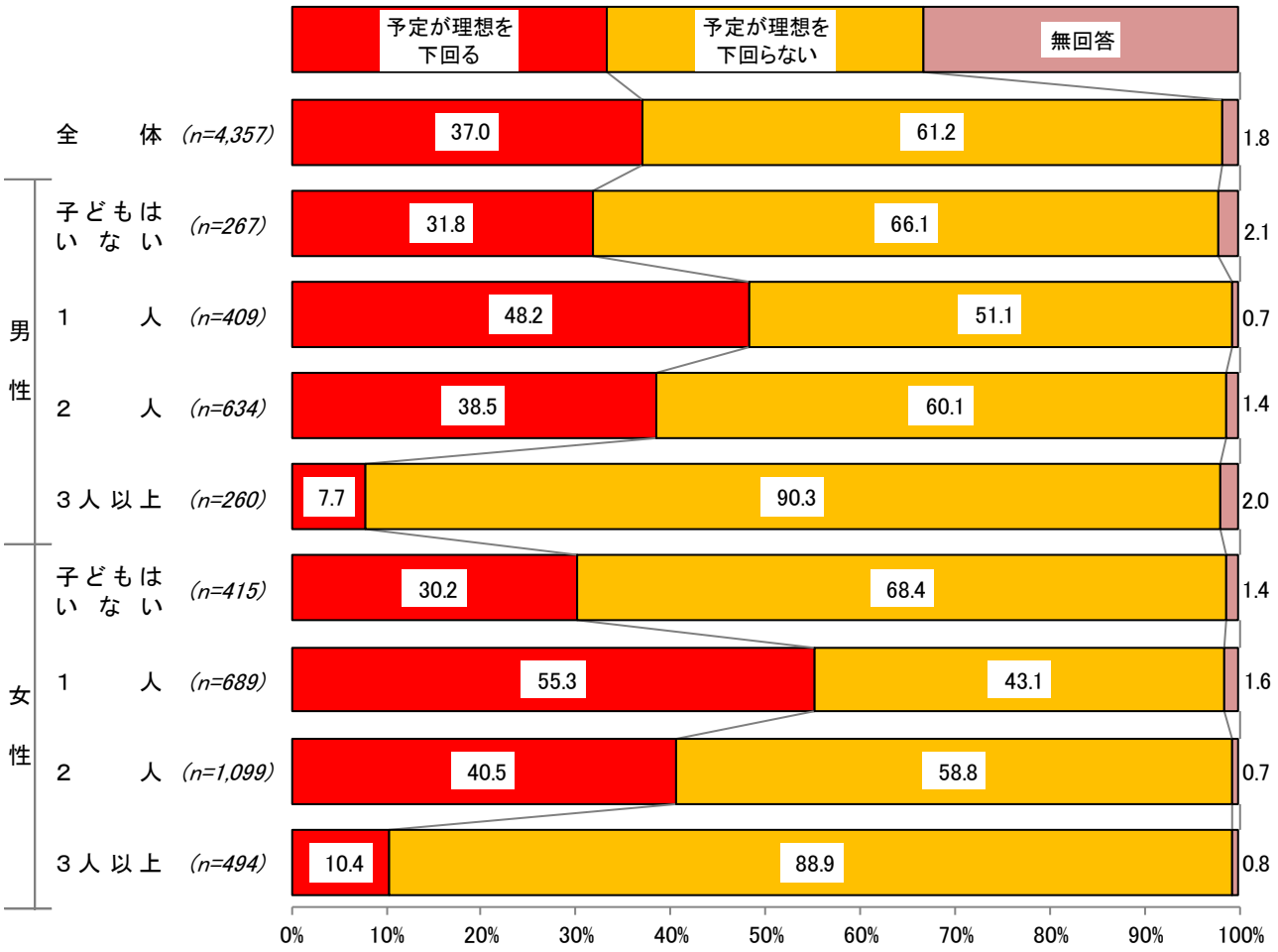
性・地域別にみると（図表 3-17-8）、女性の南丹地域居住者に、「予定が理想を下回る」（43.2%）という者が他の地域より多くなっている。

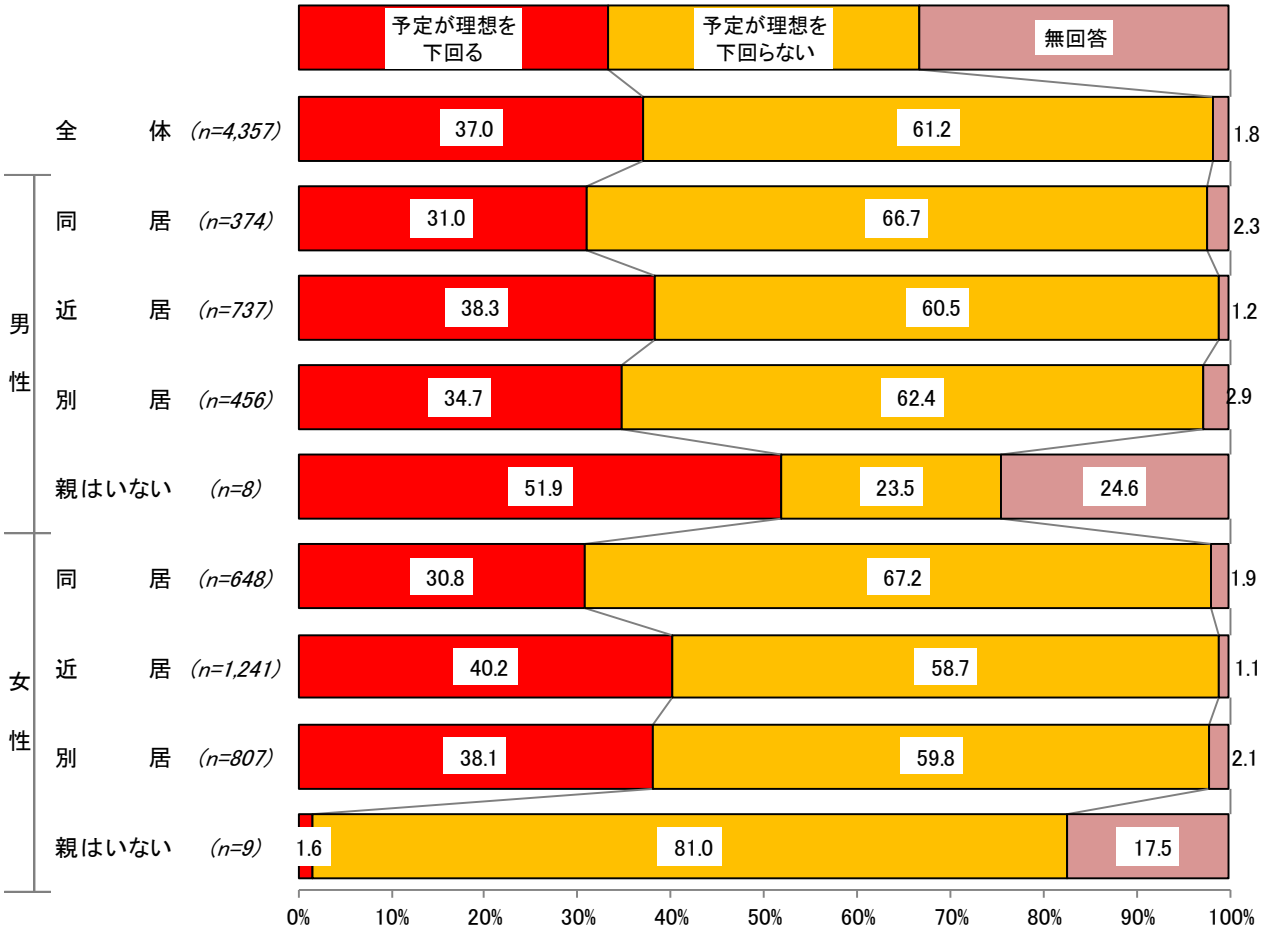
図表 3-17-8　予定と理想の子ども数（性・地域別）



性・子どもの人数別にみると（図表 3-17-9）、現在子どもが 1 人いる女性は、過半数が「予定が理想を下回る」（55.3%）と回答している。一方、男女とも、子どもが 3 人以上いる場合は、「予定が理想を下回らない」（男性 90.3%、女性 88.9%）という者が 9 割前後となっている。

図表 3-17-9　予定と理想の子ども数（性・子どもの人数別）



性・親の居住地別にみると（図表 3-17-10）、男女とも親と同居している層で「予定が理想を下回る」者（男性 31.0%、女性 30.8%）は 3 割程度で、近居（同 38.3%、40.2%）や別居（同 34.7%、38.1%）の方が理想の子どもの人数に届かない者が多くなっている。

図表 3-17-10　予定と理想の子ども数（性・親の居住地別）